

Ⅱ．本編(分野別の実態把握と評価分析)

Ⅱ. 本編（分野別の実態把握と評価分析）

1. 市民利用施設

コミュニティ関連施設

(1) 施設状況

① 概要

- 本市では、「コミュニティ施設」と「公民館」を総称し、「コミュニティ関連施設」と呼んでいる。
- 「コミュニティ施設」は、市民のコミュニティ活動のための施設として、「さいたま市コミュニティ施設条例」により、有料（利用者負担）の施設として設置したもので、市民・スポーツ文化局が所管している。「コミュニティセンター」が17施設あるほか、大型の複合施設である「プラザ（地域中核施設）」が3施設ある。
- 「公民館」は、社会教育法に基づき、地域の住民のために教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進等を推進する施設として、「さいたま市公民館条例」により、基本的に無料（税負担）の施設として設置したもので、教育委員会が所管している。市全体を統括する「生涯学習総合センター」、各区の地区公民館を総括する「拠点公民館」（10館）、地区生涯学習事業を推進する「地区公民館」（48館）がある。
- 施設配置の考え方については、「公共施設適正配置方針」（平成15年（2003年）3月策定、平成18年（2006年）3月追補）において、コミュニティ施設と公民館の類似した機能（生涯学習機能、貸しスペース機能、コミュニティ機能など）に着目し、「コミュニティ関連施設」として一括検討する方向が示されている。すなわち、生涯学習総合センターを市レベル、コミュニティ施設を行政区レベル、公民館を地区レベルの施設と位置付け、生涯学習総合センターは1館、コミュニティ施設は行政区ごとの整備水準等に配慮して設置、公民館は自治会連合会地区ごとに最低1館を目標として設置などとした。平成22年度（2010年度）末現在、コミュニティ施設については全10区に1館以上設置済みであり、公民館等が未設置の自治会連合会地区は5地区（南区・西地区、岩槻区川通地区・柏崎地区・新和地区・河合地区）となっている。
- なお、平成19年（2007年）3月に、さいたま市コミュニティ関連施設検討会議から、「コミュニティ関連施設の今後のあり方について－提言－」を受けており、生涯学習機能・地域交流機能・地域支援機能の3つのコア機能に基づいて一体的に整理・再編すること、市民と行政の協働による管理運営を行うことなどの方向性が示され、今後の検討課題となっている。
- 善前公民館は、平成22年（2010年）9月1日開設された。
- 領家公民館・尾間木公民館は、建替事業中のため、仮施設で運営している。

図表1 施設一覧

施設分類	施設名	延床面積 (㎡)	建築 年	開設 年	併設施設			具体的内容
					支所等	図書館	その他	
コミュニティ施設	プラザイースト	13,881	H8	H9		●	●	東浦和図書館・女・男プラザ
	プラザウエスト	12,637	H15	H17	●	●	●	桜図書館・桜区役所
	プラザノース	13,247	H17	H20	●	●		北図書館・視聴覚ライブラリー・北区役所
	馬宮コミュニティセンター	3,775	H14	H14		●	●	馬宮図書館・馬宮荘・馬宮児童センター・放課後児童クラブ
	西部文化センター	4,544	H1	H2	●	●		大宮西部図書館三橋分館・三橋支所
	宮原コミュニティセンター	2,888	H11	H12		●		宮原図書館
	高鼻コミュニティセンター	2,060	S47	H16				
	大宮工房館	1,692	H10	H10				
	東大宮コミュニティセンター	2,900	S56	S57	●		●	東大宮支所・見沼消防署東大宮出張所
	七里コミュニティセンター	1,763	H12	H12		●		七里図書館
	片柳コミュニティセンター	4,625	H17	H18		●		片柳図書館
	与野本町コミュニティセンター	2,540	S55	S56			●	与野本町小学校体育館・プール
	上峰コミュニティホール	317	S58	S59				
	西与野コミュニティホール	873	H3	H4		●		与野図書館西分館
	下落合コミュニティセンター	992	H15	H15				
	浦和コミュニティセンター	4,222	H19	H19		●	●	中央図書館・市民活動サポートセンター・国際交流センター・浦和消費生活センター
	南浦和コミュニティセンター	587	H3	H3			●	南浦和公民館
	コミュニティセンターいわつき	2,671	S60	S61				
	岩槻駅東口コミュニティセンター	4,986	H8	H8	●	●	●	岩槻駅東口図書館・岩槻駅市民の窓口・子育て支援センターいわつき
	ふれあいプラザいわつき	2,180	H8	H10	●	●	●	東岩槻支所・岩槻東部図書館・老人憩いの家ふれあいプラザ
コミュニティ施設計(20施設)	83,379	—	—	6	12	9		
プラザ計(3施設)	39,765	—	—	2	3	2		
コミュニティセンター計(17施設)	43,614	—	—	4	9	7		
公民館	生涯学習総合センター	2,330	H16	S47		●	●	桜木公民館・桜木図書館・男女共同参画推進センター
	指扇公民館	740	S55	S30				
	大砂土公民館	630	S60	S24				
	桜木公民館	1,088	H16	S24		●	●	生涯学習総合センター・桜木図書館・男女共同参画推進センター
	大砂土東公民館	689	S54	S24				
	鈴谷公民館	2,088	H19	H19				
	田島公民館	1,773	H7	H7				
	岸町公民館	3,822	S54	S54				
	文蔵公民館	1,906	H11	H11			●	文蔵児童センター・放課後児童クラブ
	大古里公民館	1,250	H11	H11				
	岩槻本丸公民館	2,248	H1	H1				
	馬宮公民館	664	S57	S30	●			馬宮支所
	植水公民館	781	S63	S30	●			植水支所
	日進公民館	627	S61	S24				
	宮原公民館	609	S55	S24				
	植竹公民館	606	S52	S27				
大宮南公民館	628	S55	S24					
大宮中部公民館	637	S53	S24					
大宮北公民館	629	S58	S24					
三橋公民館	940	H12	S24			●	三橋小学校	

施設分類	施設名	延床面積 (㎡)	建築年	開設年	併設施設			具体的内容
					支所等	図書館	その他	
公民館	地区公民館							
	大成公民館	630	S62	S24				
	大宮東公民館	612	H2	S29				
	片柳公民館	638	S56	S30	●			片柳支所
	七里公民館	632	S59	S30				
	春岡公民館	626	H2	S30	●			春岡支所
	大戸公民館	545	S46	S46				
	与野本町公民館	662	S47	S47				
	上落合公民館	1,428	S50	S50				
	下落合公民館	813	S54	S54				
	土合公民館	1,109	S61	S28	●			土合支所
	大久保公民館	729	S44	S44	●			大久保支所
	栄和公民館	688	H1	H1				
	大久保東公民館	2,146	H16	H16		●	●	桜図書館大久保東分館・大久保児童センター
	領家公民館	219	H22	S29				
	浦和南公民館	552	S43	S22				
	上木崎公民館	646	S54	S28				
	大東公民館	649	S55	S29				
	仲本公民館	545	S50	S40				
	針ヶ谷公民館	621	S53	S25				
	本太公民館	743	S56	S56			●	本太保育園
	仲町公民館	790	S57	S52				
	常盤公民館	1,001	S53	S53				
	北浦和公民館	680	S59	S59				
	南箇公民館	901	H6	H6				
	南浦和公民館	933	H3	S43			●	南浦和コミュニティセンター
	谷田公民館	895	S52	S21			●	大谷口保育園
	六辻公民館	639	S44	S24			●	南消防署
	西浦和公民館	686	S54	S47				
	別所公民館	629	S53	S53				
	東浦和公民館	814	H4	H4				
	善前公民館	997	H22	H22				
	三室公民館	608	S47	S22	●			三室支所
	尾間木公民館	313	H22	S48				
	原山公民館	622	S55	S55				
	美園公民館	1,685	S49	S49	●			美園支所
	岩槻本町公民館	888	S53	S53		●		岩槻図書館
	岩槻南部公民館	1,600	S62	S62				
	岩槻北部公民館	1,854	H3	H3				
	岩槻城址公民館	1,101	S38	S62				
公民館計(59施設)	57,550	—	—	8	4	9		
生涯学習総合センター(1施設)	2,330	—	—	0	1	1		
拠点公民館計(10施設)	16,233	—	—	0	1	2		
地区公民館計(48施設)	38,987	—	—	8	2	6		
コミュニティ関連施設計	140,929	—	—	14	16	18		

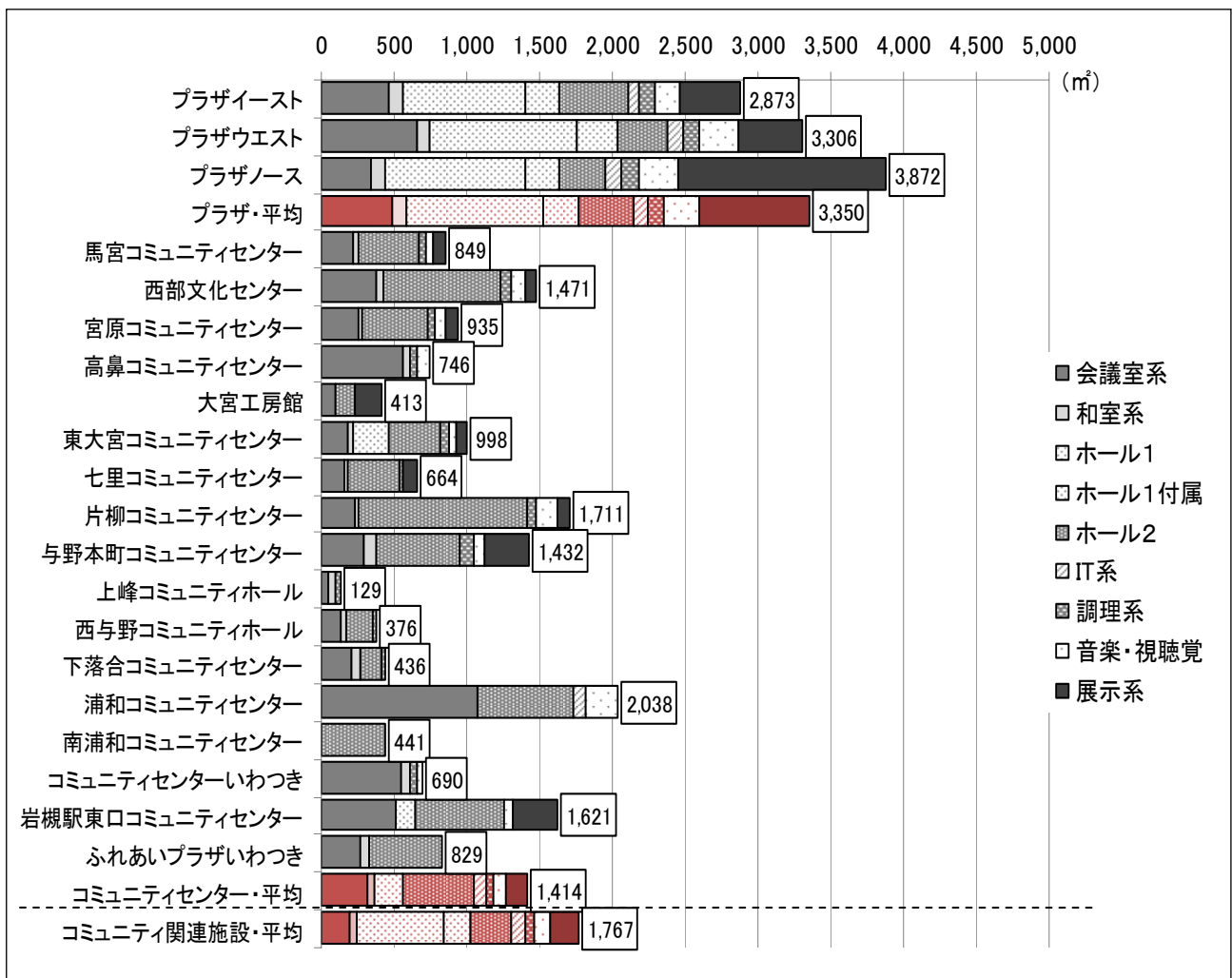
※ 建築年とは、建築着工年のことをいい、一番古い棟の年を記載している。

※ 領家公民館及び尾間木公民館は、建替えに伴う仮設の施設である。

② スペース構成

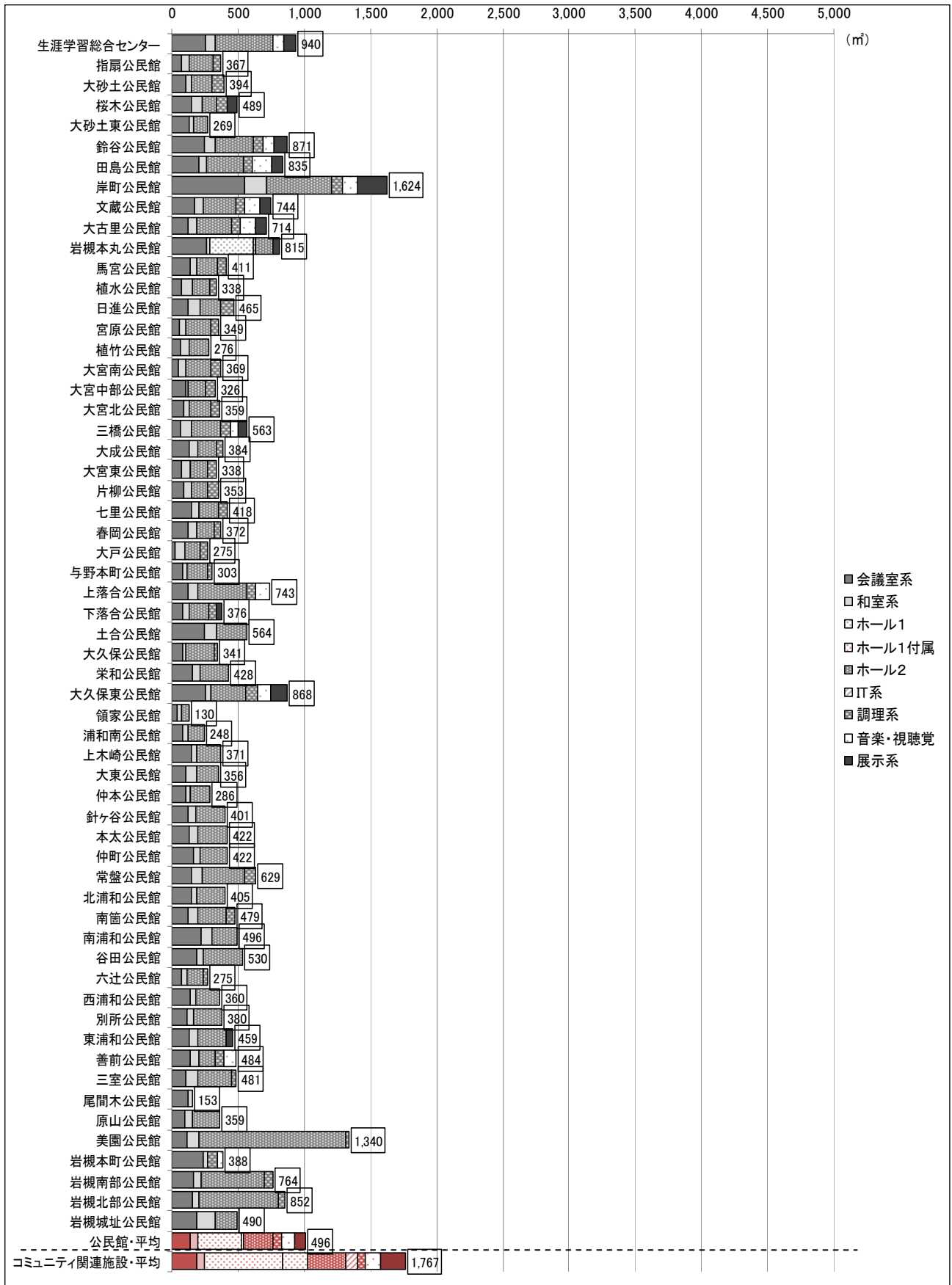
- プラザ1施設当たりの平均床面積は13,255㎡で、プラザ3施設はほぼ同等の規模である。
- プラザは、会議室系及びホール2（平土間）の割合が低い一方で、ホール1（舞台+固定椅子）の割合が高い。展示系も2割を占めている。
- コミュニティセンター1施設当たりの平均床面積は、2,566㎡となっている。317㎡（上峰コミュニティホール）から4,986㎡（岩槻駅東口コミュニティセンター）まででばらつきが大きい。
- コミュニティセンターについては、会議室系の割合がプラザに比較して2倍以上となっており、また、ホール2の割合もプラザの4倍となっている。
- 公民館の1施設当たりの平均床面積は975㎡となっている。545㎡（大戸公民館）から3,822㎡（岸町公民館）まででばらつきが大きい。
- 公民館は、会議室系及びホール2の割合が高く、また和室も1割強を占めている。特にホール2の割合が高い。
- コミュニティ関連施設全体では、1施設当たり平均1,783㎡（倉庫、機械室、通路等の共用スペース含む）となっている。

図表3 各施設別のスペース構成（プラザ・コミュニティセンター）



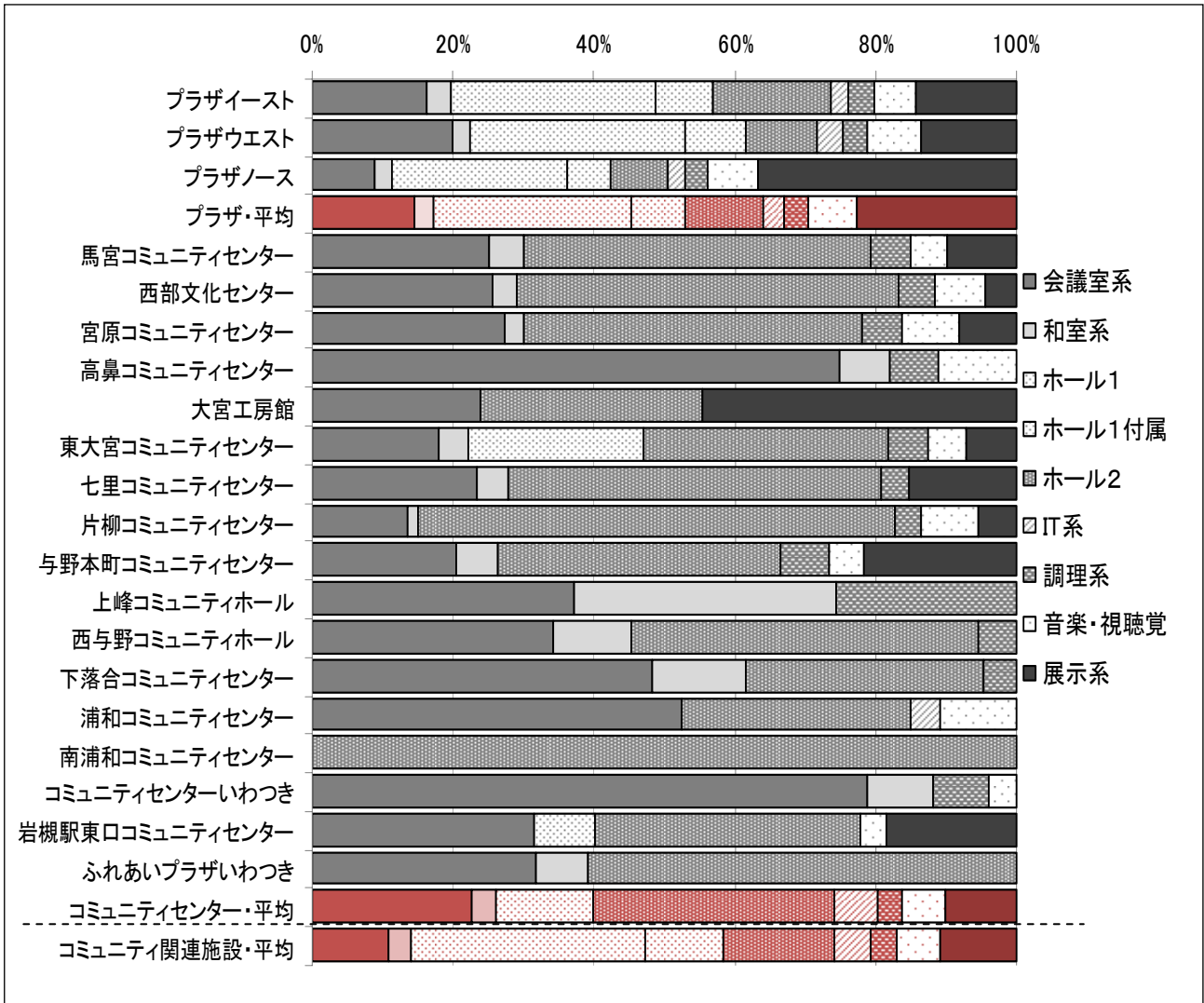
※倉庫、機械室、通路等の共用スペースを除く

図表4 各施設別のスペース構成（公民館）



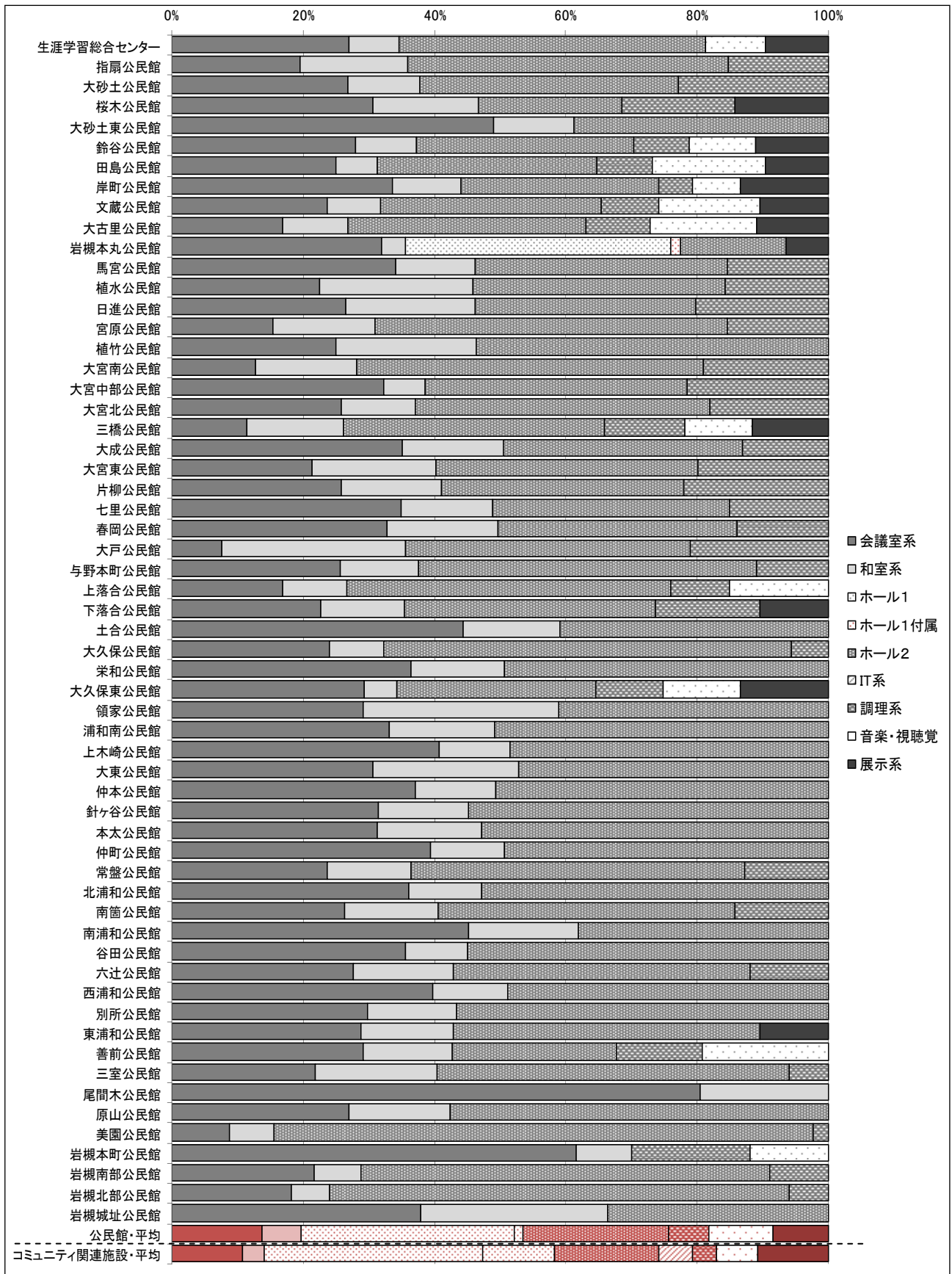
※倉庫、機械室、通路等の共用スペースを除く。

図表5 各施設別のスペース構成比（プラザ・コミュニティセンター）



※倉庫、機械室、通路等の共用スペースを除く。

図表6 各施設別のスペース構成比（公民館）



※倉庫、機械室、通路等の共用スペースを除く。

③ 政令市比較

- 人口1人当たりの延床面積は政令市平均が0.089㎡であるのに対し、0.116㎡とやや大きいですが、同水準である。

図表7 政令市比較

	延床面積 (㎡)	人口1人当 り延床面積 (㎡/人)	主な施設名
A市	149,296	0.144	市民センター、コミュニティセンター
B市	76,887	0.083	コミュニティセンター、公民館、市民センター等
C市	25,741	0.019	学習交流施設、会館等
D市	190,774	0.232	公民館、集会所、会館等
E市	12,576	0.015	公民館等
F市	145,424	0.126	公民館、集会所等
G市	40,447	0.041	市民センター、集会所等
H市	83,006	0.060	公民館、会館等
さいたま市	141,341	0.116	プラザ、コミュニティセンター、公民館
平均	96,166	0.089	

(資料) さいたま市「政令指定都市アンケート調査」

※上記調査は平成21年度(2009年度)に実施したため、さいたま市の延床面積は本白書のその他の部分の延床面積と一致しない。

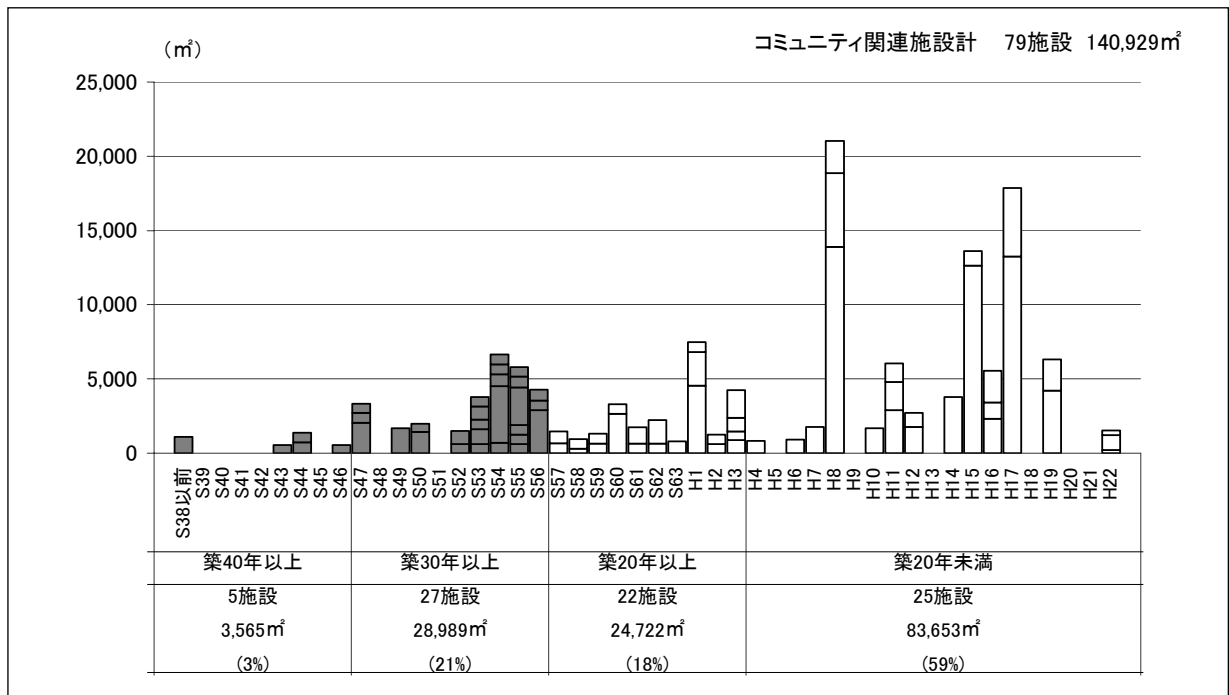
※人口1人当たり延床面積は、平成21年10月1日現在の人口を元に市で算出した計算値。

(2) 建物状況

① 老朽化状況

- コミュニティ施設については、プラザは、最も古いプラザイーストでも築15年であり、比較的新しい。コミュニティセンターは、最も古い高鼻コミュニティセンターは築39年であり、与野本町コミュニティセンターも築31年が経過している。
- 公民館については、59施設中29施設が築30年以上を経過しており、古い施設が多い。
- なお、老朽化状況の判断については、築年数だけでなく、劣化診断等も含めて判断することが求められる。
- コミュニティ関連施設全体では、築40年以上が5施設(3,565㎡)、築30年以上が27施設(28,989㎡)、築20年以上が22施設(24,722㎡)、築20年未満が25施設(83,653㎡)で59%と過半を占める。比較的新しく整備された施設は規模が大きいプラザ、コミュニティセンターが多いため、新しい施設の床面積が多い。

図表8 築年別整備状況



② 機能改善 (アスベスト)

- アスベスト対策については、公民館3館について、対応中である。

③ 機能改善 (バリアフリー)

- バリアフリー等への対応状況は、公民館(エレベーター・トイレ点字ブロック)を除き、おおむね整備されている。

④ 環境負荷低減

- 屋上緑化・壁面緑化(緑のカーテン含む)については、公民館では導入が進んでいるが、コミュニティ施設では未導入の施設が多い。自然エネルギー・太陽光発電、その他環境対応設備については、全般的に導入が進んでいない。

図表9 建物状況（プラザ・コミュニティセンター）

施設名	①老朽化		②機能改善	③機能改善(バリアフリー)						④環境負荷低減			⑤維持管理費(千円)		
	建築年	経過年数	機能改善 (アスベスト対策)	車いす用 エレベーター	身障者用 トイレ	車いす用 スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロー ク	自然エネルギー 太陽光発電	屋上緑 化・壁面 緑化	環境対応 設備	光熱水費	修繕料	建物管理 委託料
プラザイースト	H8	15	●	●	●	●	●	●	●	×	×	●	27,349	9,546	80,128
プラザウエスト	H15	8	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	35,999	22,952	91,177
プラザノース	H17	6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	63,779	3,922	296,003
馬宮コミュニティセンター	H14	9	●	●	●	-	●	●	●	●	×	●	12,805	9,682	23,703
西部文化センター	H1	22	●	●	●	-	●	●	●	▲	●	▲	14,467	11,528	27,525
宮原コミュニティセンター	H11	12	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	7,714	492	19,713
高鼻コミュニティセンター	S47	39	●	×	×	×	●	●	×	×	×	×	4,086	2,344	6,633
大宮工房館	H10	13	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	2,935	476	4,173
東大宮コミュニティセンター	S56	30	●	●	●	-	●	●	●	×	×	×	6,449	2,046	6,214
七里コミュニティセンター	H12	11	●	●	●	●	●	●	●	●	●	×	4,625	833	8,465
片柳コミュニティセンター	H17	6	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	9,744	1,045	23,902
与野本町コミュニティセンター	S55	31	●	-	●	-	●	-	●	×	×	×	8,142	2,175	4,765
上峰コミュニティホール	S58	28	●	×	×	-	●	●	×	×	×	×	876	147	1,613
西与野コミュニティホール	H3	20	●	●	●	-	●	●	●	×	×	×	2,554	421	1,854
下落合コミュニティセンター	H15	8	●	●	●	-	●	●	●	×	×	×	1,987	354	3,062
浦和コミュニティセンター	H19	4	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●		505	19,110
南浦和コミュニティセンター	H3	20	●	×	●	-	●	●	●	×	●	×	1,228	2,582	4,111
コミュニティセンターいわつき	S60	26	●	●	●	-	●	●	●	×	×	×	4,904	704	8,106
岩槻駅東口コミュニティセンター	H8	15	●	●	●	-	●	●	●	×	×	×	7,182	394	20,271
ふれあいプラザいわつき	H8	15	●	●	●	●	●	●	●	×	×	●	11,192	1,667	9,972

※ 「●…対応済」、「▲…対応中」、「-…対応不要」、「×…未対応」を表している。

図表10 建物状況（公民館）

施設名	①老朽化		②機能改善	③機能改善（バリアフリー）						④環境負荷低減			⑤維持管理費（千円）		
	建築年	経過年数	機能改善（アスペクト対策）	車いす用エレベータ	身障者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	自然エネルギー・太陽光発電	屋上緑化・壁面緑化	環境対応設備	光熱水費	修繕料	建物管理委託料
生涯学習総合センター	H16	7	●	●	●	●	●	×	●	×	×	●	3,028		1,981
指扇公民館	S55	31	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	2,029	1,423	5,461
大砂土公民館	S60	26	●	×	●	●	●	×	×	×	×	×	1,354	473	2,927
桜木公民館	H16	6	●	●	●	●	●	●	●	×	×	●	1,413	11	1,932
大砂土東公民館	S54	32	●	×	●	×	●	×	×	×	×	×	1,761	1,362	2,673
鈴谷公民館	H19	4	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	6,151	5,126	9,478
田島公民館	H7	16	●	●	●	●	●	×	×	×	×	×	3,074	527	7,497
岸町公民館	S54	32	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×	6,954	2,540	14,700
文蔵公民館	H11	12	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	3,408	153	5,768
大古里公民館	H11	12	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	2,855	1,157	7,253
岩槻本丸公民館	H1	22	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	4,200	694	10,827
馬宮公民館	S57	29	●	×	●	●	●	×	×	×	×	×	1,672	678	2,813
植水公民館	S63	23	●	×	●	●	●	×	×	×	×	×	1,280	16	2,703
日進公民館	S61	25	●	×	●	●	●	×	×	×	×	×	1,325	62	2,884
宮原公民館	S55	31	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,685	647	4,539
植竹公民館	S52	34	●	×	×	●	●	×	×	×	×	×	2,413	215	3,019
大宮南公民館	S55	31	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,551	400	2,678
大宮中部公民館	S53	33	●	×	×	●	×	●	×	×	×	×	2,001	640	2,626
大宮北公民館	S58	28	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,627	194	2,736
三橋公民館	H12	11	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	993	607	3,932
大成公民館	S62	24	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,383		2,721
大宮東公民館	H2	21	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,139	117	2,396
片柳公民館	S56	30	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,304	2,186	2,326
七里公民館	S59	27	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,347	130	2,890
春岡公民館	H2	21	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,356	175	3,787
大戸公民館	S46	40	●	×	×	×	●	●	×	×	×	×	1,557	105	2,796
与野本町公民館	S47	39	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,830	594	3,460
上落合公民館	S50	36	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	4,308	109	7,585
下落合公民館	S54	32	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×	1,691	1,763	4,613
土合公民館	S61	25	▲	×	●	●	●	●	×	×	×	×	3,381	124	5,895
大久保公民館	S44	42	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,639	399	3,287
栄和公民館	H1	22	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,555	424	1,688
大久保東公民館	H16	7	●	●	●	●	●	●	●	●	×	×	7,077	140	9,259
領家公民館	H22	1	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	528	127	1,435
浦和南公民館	S43	43	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,172	138	3,282
上木崎公民館	S54	32	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,411	233	2,996
大東公民館	S55	31	●	×	×	●	●	●	●	×	×	×	1,109	1,112	3,678
仲本公民館	S50	36	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,265	759	3,242
針ヶ谷公民館	S53	33	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,838	259	4,060
本太公民館	S56	30	●	×	×	●	●	●	●	×	×	×	2,481	387	4,045
仲町公民館	S57	29	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	2,214	224	6,122
常盤公民館	S53	33	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	2,128	236	4,029
北浦和公民館	S59	27	▲	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,748	405	3,966
南筒公民館	H6	17	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	2,533	1,257	4,326
南浦和公民館	H3	20	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,576	200	2,261
谷田公民館	S52	34	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	2,493	582	3,940
六辻公民館	S44	42	●	×	●	×	●	●	×	×	×	×	2,011	305	2,700
西浦和公民館	S54	32	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,402	292	3,214
別所公民館	S53	33	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,584	4	3,631
東浦和公民館	H4	19	▲	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,425	1,897	4,281
善前公民館	H22	1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1,401		2,691
三室公民館	S47	39	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,387	414	3,239
尾間木公民館	H22	1	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,536	125	2,710
原山公民館	S55	31	●	×	×	●	●	●	×	×	×	×	1,501	479	5,442
美園公民館	S49	37	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	1,904	489	5,834
岩槻本町公民館	S53	33	●	×	×	×	●	●	×	×	×	×		520	3,604
岩槻南部公民館	S62	24	●	×	●	●	●	●	×	×	×	×	2,035	1,288	6,777
岩槻北部公民館	H3	20	●	●	●	●	●	●	×	×	×	×	3,044	662	7,063
岩槻城址公民館	S38	48	●	×	●	●	●	●	●	×	×	×	2,195	547	10,784

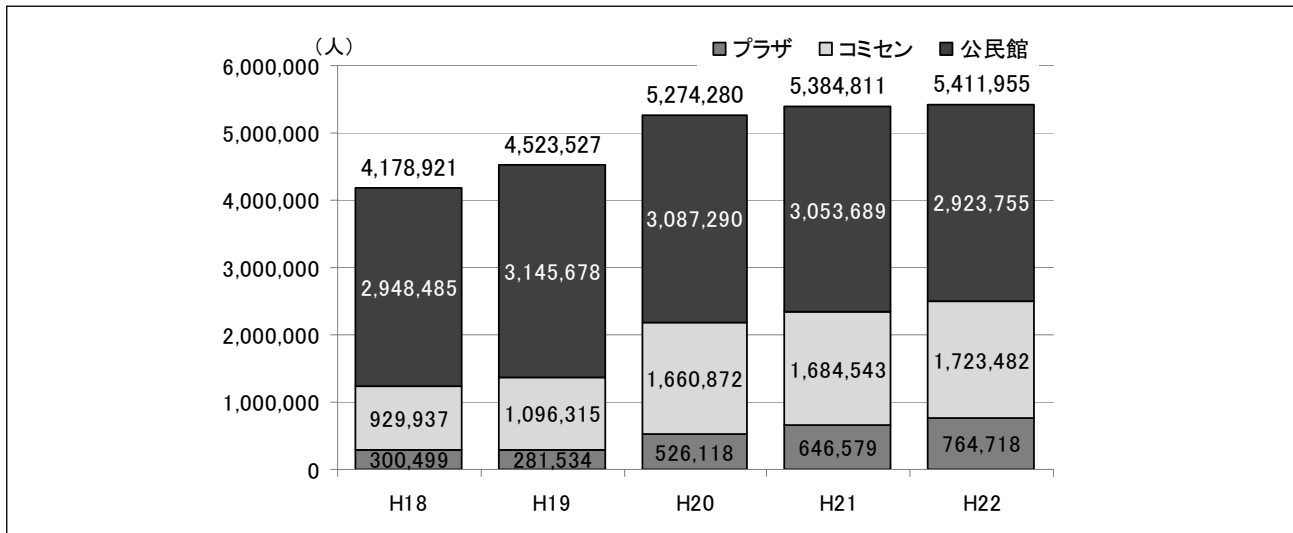
※ 「●…対応済」、「▲…対応中」、「一…対応不要」、「×…未対応」を表している。

(3) 利用状況

① 利用者数の推移

- プラザの利用者数は、増加傾向にある。
- コミュニティセンターの利用者数は、ほぼ横ばいで推移している。
- 公民館の利用者数は、ほぼ横ばいで推移している。
- コミュニティ関連施設全体では、ほぼ横ばいで推移している。

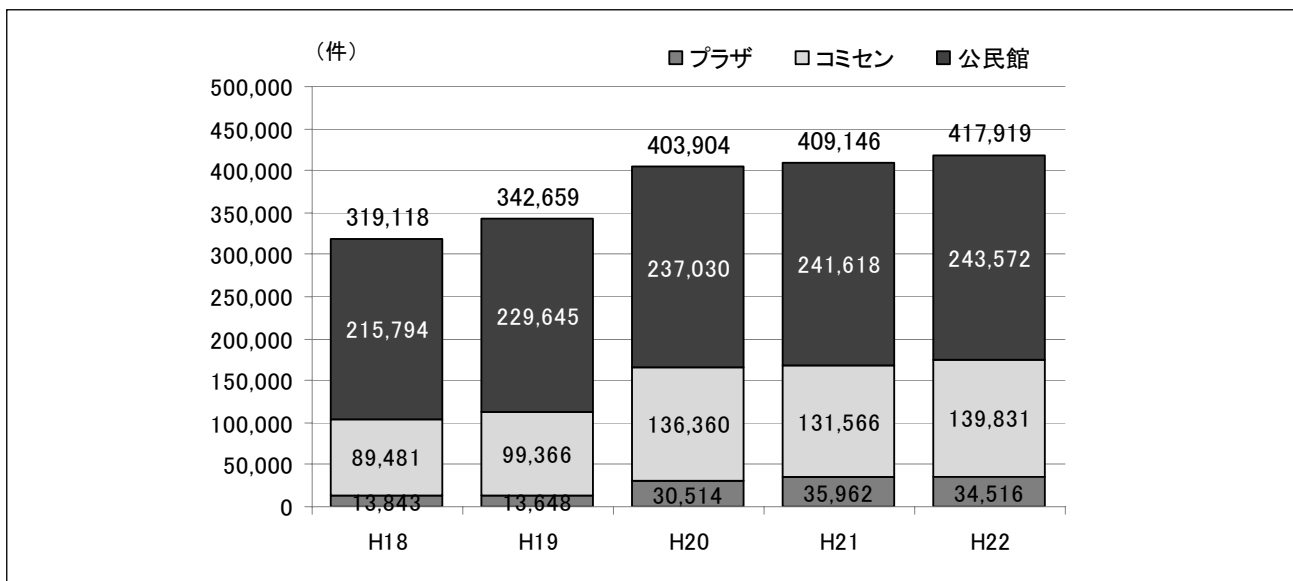
図表11 利用者数の推移



② 利用件数の推移

- プラザの利用件数は、増加傾向にある。
- コミュニティセンターの利用件数は、ほぼ横ばいで推移している。
- 公民館の利用件数は、ほぼ横ばいで推移している。
- コミュニティ関連施設全体では、微減傾向となっている。

図表12 利用件数の推移



③ 施設件数の推移

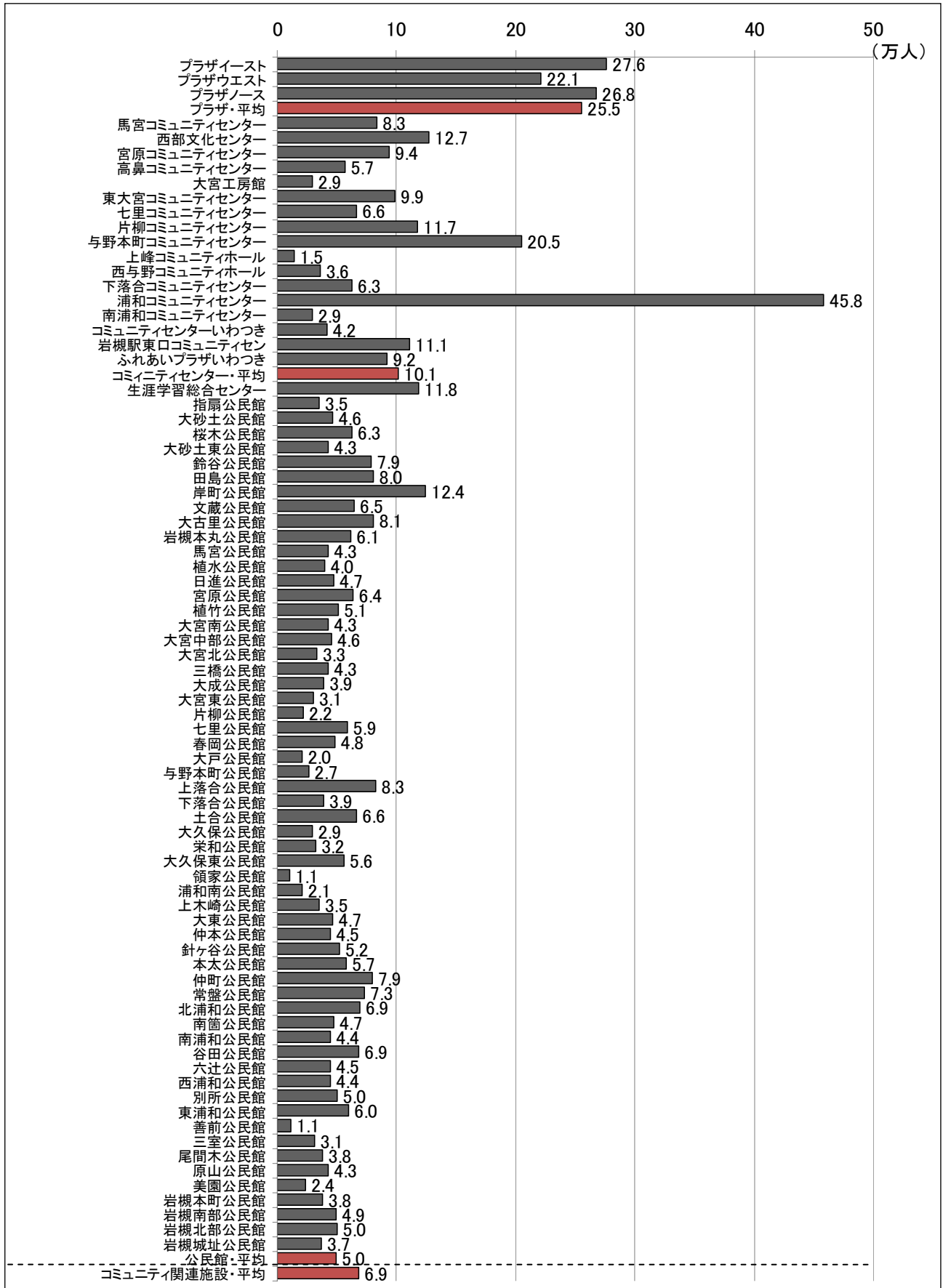
- コミュニティ関連施設数の推移は、次表のとおりである。

図表13 施設数の推移

	H18	H19	H20	H21	H22
プラザ	2	2	3	3	3
コミュニティセンター	16	17	17	17	17
公民館	57	58	58	58	59

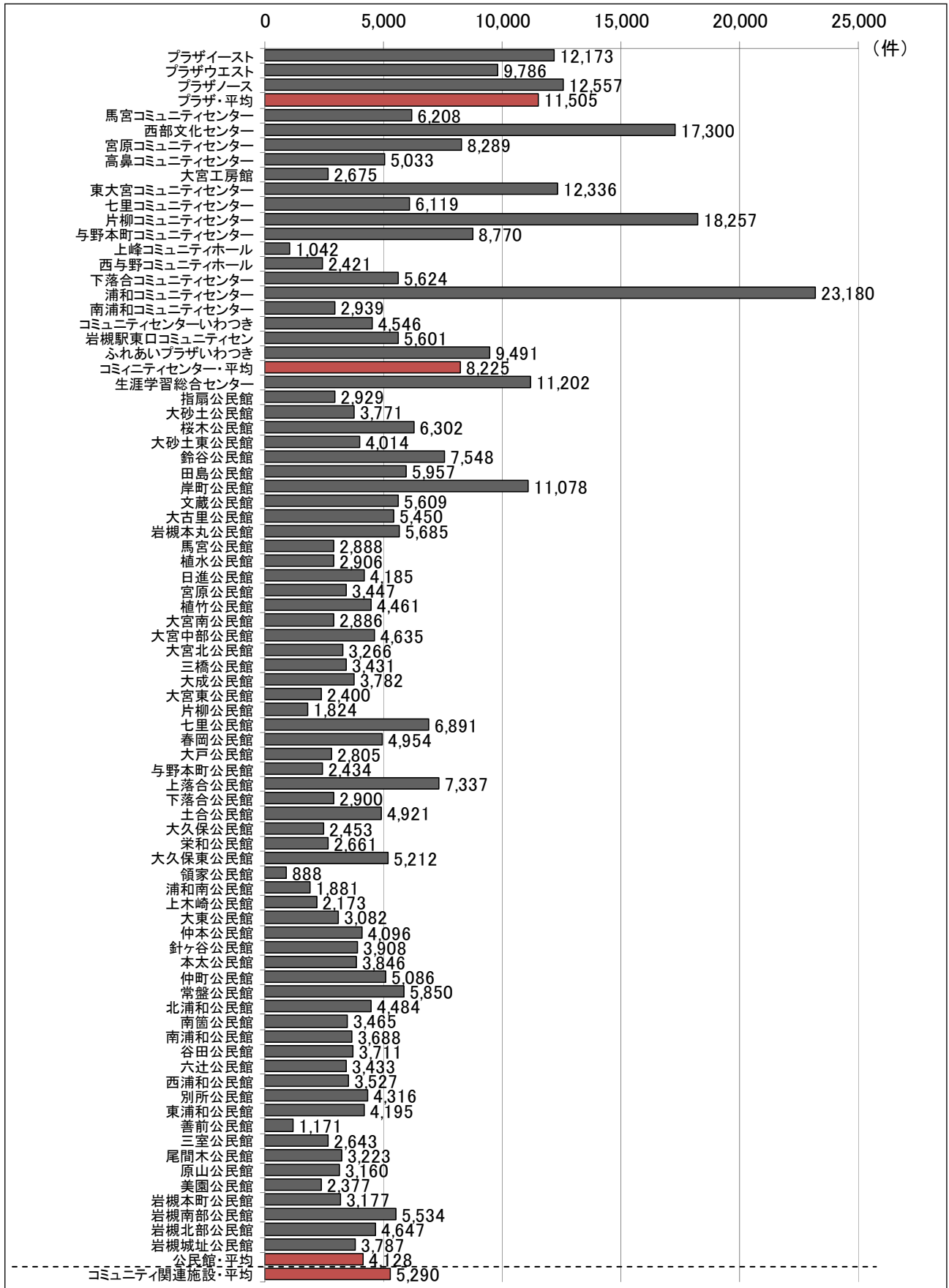
④ 年間利用者数

図表14 年間利用者数



⑤ 年間利用件数

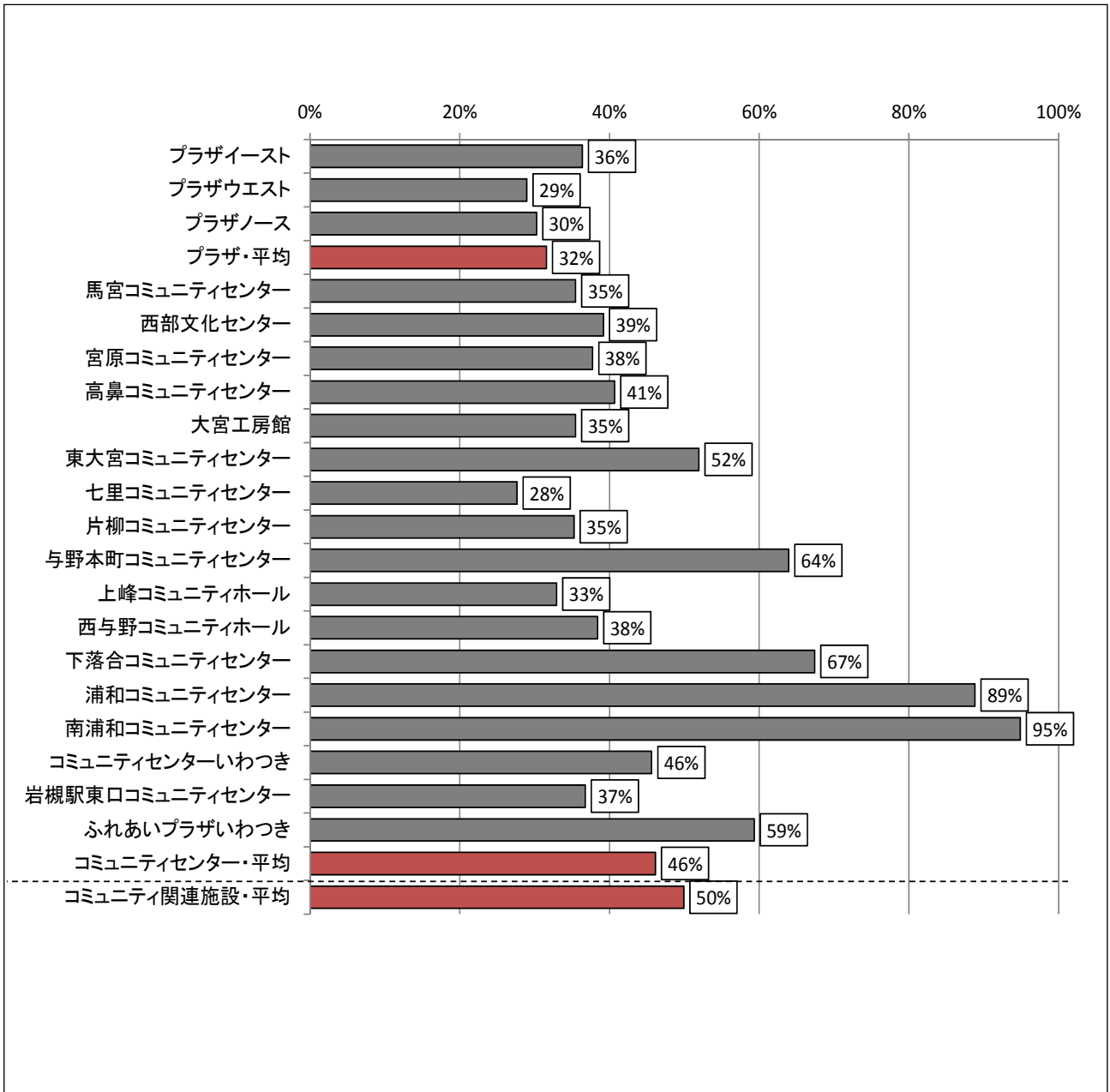
図表15 年間利用件数



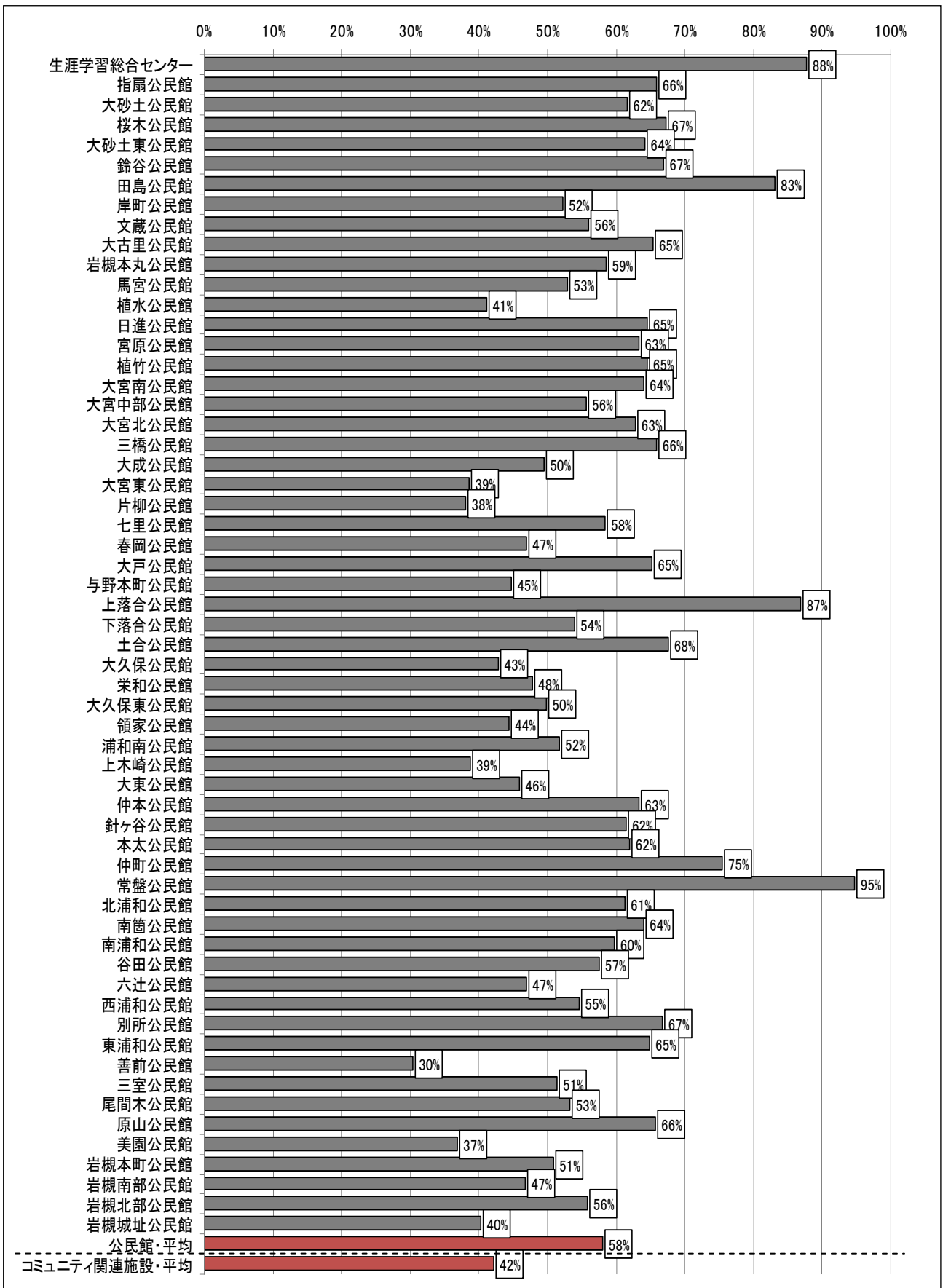
⑥ 稼働率

- プラザの平均稼働率は32%であり、各施設とも29~36%となっている。
- コミュニティセンターの平均稼働率は46%であり、施設別では28%~95%とかなりばらつきがある。
- 公民館の平均稼働率は58%であり、施設別では30%~95%とかなりばらつきがある。
- コミュニティ関連施設全体では、平均稼働率50%となっている。

図表16 稼働率（プラザ・コミュニティセンター）



図表17 稼働率（公民館）



(4) 運営状況

① 運営方式

- コミュニティ施設については、指定管理者制度を導入しており、指定管理者に包括的な管理運営を委託している。プラザイースト、プラザウエスト及びコミュニティセンターは、平成 20 年（2008 年）4 月 1 日より 3 年間の指定管理期間にて、財団法人さいたま市文化振興事業団に委託している。プラザノースは、P F I 方式による整備を行っており、整備と一体的な管理運営の委託として、平成 20 年（2008 年）5 月 1 日より 15 年間の長期にわたる指定管理期間にて、プラザノースマネジメント株式会社に委託している。
- 公民館については、市直営にて管理運営を行っている。

図表18 運営方式一覧

施設名	施設数	指定管理者	指定期間	(年)	選定
プラザノース	1	プラザノースマネジメント(株)	H20.5～ H35.3	15	入札(PFI)
プラザイースト、プラザウエスト	2	(財)さいたま市文化振興事業団	H20.4～H23.3	3	非公募
コミュニティセンター	17		H20.4～ H23.3	3	非公募
公民館	59	直営	—	—	—

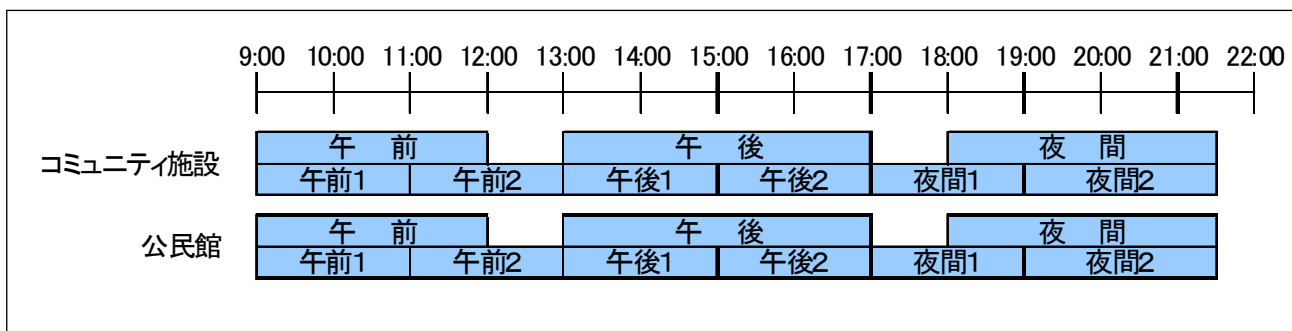
② 運営日数、運営時間

- 年間の運営日数は、プラザの平均が 336 日、コミュニティセンターは全施設 347 日であり、公民館の平均が 339 日である。
- 運営時間については、コミュニティ施設の基本的な利用時間区分は、午前・午後・夜間の 3 区分になっている。午前+午後、午後+夜間、全日での利用も可能である。また、一部体育室等のスペースでは、午前・午後・夜間をそれぞれ 2 区分に細分化し合計 6 区分にしている。
- 公民館の基本的な利用時間区分は、午前・午後・夜間の 3 区分になっている。特に体育室などについては、午後をさらに 2 区分に細分化している施設や、午前・午後・夜間をそれぞれ 2 区分に細分化し合計 6 区分にしている施設もある。なお、屋外施設は夜間の貸出しをしていない場合が多い。

図表19 運営日数

プラザ	コミュニティセンター	公民館
平均 336 日	全施設 347 日	平均 339 日

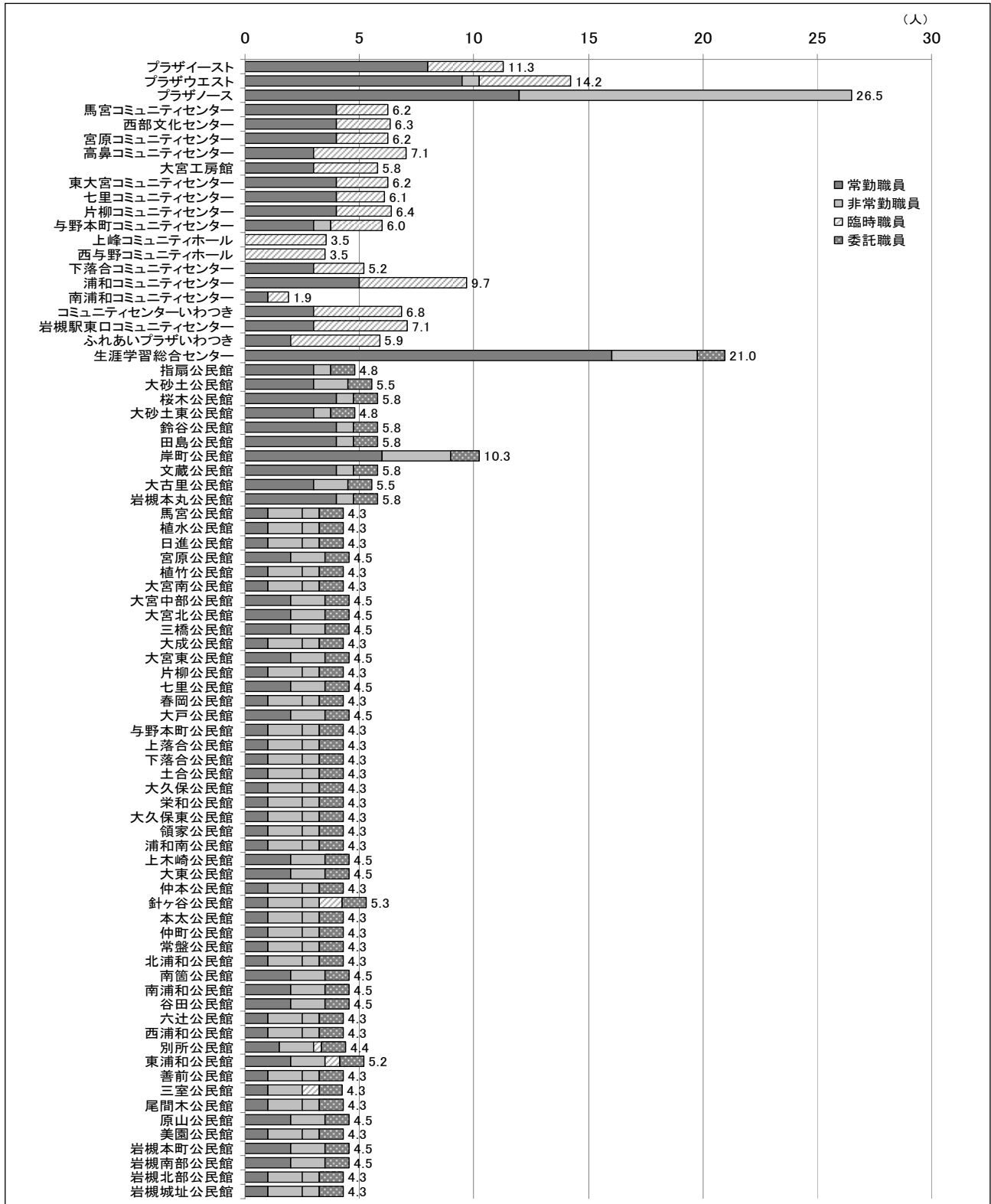
図表20 運営時間



③ 運営人員

- プラザは1施設当たり約11人～約27人、コミュニティセンターは1施設当たり約2人～約10人、公民館は1施設当たり約4人～約10人、生涯学習総合センターは21人の運営人員となっている。

図表21 運営人員



※常勤・非常勤職員は1日当たり7.5時間、臨時職員は1日当たり5時間

- ④ 利用1人当たり総コスト
「(6) コスト状況」参照

- ⑤ 利用1件当たり総コスト
「(6) コスト状況」参照

- ⑥ 床面積1㎡当たり総コスト
「(6) コスト状況」参照

- ⑦ 総コストに占める使用料等収入の割合
「(6) コスト状況」参照

(5) 防災状況

① 耐震性

- コミュニティ施設については、プラザは3施設すべてが新耐震基準である。コミュニティセンターは、旧耐震基準の施設が3施設、新耐震基準の施設が14施設である。旧耐震基準の3施設のうち、平成22年度末現在、耐震補強未実施の施設は与野本町コミュニティセンター1施設となっている。
- 公民館については、旧耐震基準の施設は32施設、新耐震基準の施設は27施設である。旧耐震基準の32施設のうち、平成22年度末現在、耐震補強未実施の施設は4施設となっている。

	旧耐震基準施設	新耐震基準施設
プラザ	0施設 (0%)	3施設 (100%)
コミュニティセンター	3施設 (18%)	14施設 (82%)
公民館	32施設 (54%)	27施設 (46%)

② 地域防災計画での位置付け

- コミュニティ施設では20施設中2施設（プラザイースト・南浦和コミュニティセンター）が避難場所に位置付けられている。
- 公民館では59施設中55施設とほとんどの施設が避難場所に位置付けられている。

③ 避難場所としての機能

- 避難場所となっている施設計57施設については、備蓄、調理設備、冷暖房設備がセットで整備されているものが50施設と多いが、簡易トイレやマンホールトイレ、代替電源設備が整ったところは1施設と少ない。プラザ・コミュニティセンターについては避難場所指定になっていない施設も代替電源設備が設置されている。

④ 耐風水害性

- コミュニティ施設は15施設、公民館は50施設とほとんどの施設で浸水深0mである。ただし、プラザウエスト、馬宮コミュニティセンターの2施設は、洪水ハザードマップにおける各施設の浸水深度が「浸水深2.0m～5.0m」のE判定となっている。

図表22 防災状況一覧（プラザ・コミュニティセンター）

施設名	耐震性		地域防災計画での位置付け					避難場所としての機能										耐風 水害 性
	耐震診 断	耐震補 強	災害 対策 本部	避難 場所	応急 給水 場所	医療 救護 所	拠点 備蓄 倉庫	避難 場所 運営 委員 会の 有無	備蓄 の有 無	通信 設備	簡易 トイレ	マン ホー ル トイレ	調理 設備	代替 電源 設備	冷暖 房設 備	入浴 施設	収容 可能 スペース (㎡)	
プラザイースト	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	○	○	-	A
プラザウエスト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	E
プラザノース	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A
馬宮コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	▲	419.1	E
西部文化センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	▲	597.8	D
宮原コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	A
高鼻コミュニティセンター	実施済	実施済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	A
大宮工房館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	D
東大宮コミュニティセンター	実施済	実施済	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	▲	▲	-	A
七里コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	A
片柳コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	▲	700	A
与野本町コミュニティセンター	実施済	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	A
上峰コミュニティホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	A
西与野コミュニティホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	A
下落合コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	A
浦和コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	437.7	A
南浦和コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	▲	▲	-	A
コミュニティセンターいわつき	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	A
岩槻駅東口コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A
ふれあいプラザいわつき	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	▲	▲	591	C

※「○…指定または保有」、「▲（冷暖房）…施設の一部に保有」、「▲（入浴施設）…シャワー（温水）のみ保有」を表している。

図表23 防災状況一覧（公民館）

施設名	耐震性		地域防災計画での位置付け					避難場所としての機能										耐風 水性
	耐震診 断	耐震補 強	災害 対策 本部	避難 場所	応急 給水 場所	医療 救護 所	拠点 備蓄 倉庫	避難 場所 運営 委員 の有 無	備蓄 の有 無	通信 設備	簡易 トイレ	マン ホール トイレ	調 理 設備	代 替 電源 設備	冷 暖 房 設 備	入 浴 設 施	収 容 可 能 ス ペ ース (m ²)	
生涯学習総合センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A
指扇公民館	実施済	未実施	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	D
大砂土公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
桜木公民館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	A
大砂土東公民館	実施済	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
鈴谷公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
田島公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	A
岸町公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	▲	-	A
文蔵公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	A
大古里公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
岩槻本丸公民館	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	270	B
馬宮公民館	不要	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	E
植水公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	E
日進公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
宮原公民館	実施済	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
植竹公民館	実施済	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	A
大宮南公民館	実施済	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
大宮中部公民館	実施済	未実施	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
大宮北公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
三橋公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
大成公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
大宮東公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
片柳公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
七里公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
春岡公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
大戸公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
与野本町公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	A
上落合公民館	実施済	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
下落合公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
土合公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
大久保公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
栄和公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
大久保東公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	-	A
領家公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
浦和南公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
上木崎公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
大東公民館	実施済	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
仲本公民館	実施済	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	B
針ヶ谷公民館	実施済	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
本太公民館	実施済	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
仲町公民館	実施済	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
常盤公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
北浦和公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
南筒公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
南浦和公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	A
谷田公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	A
六辻公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	B
西浦和公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	B
別所公民館	実施済	不要	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	B
東浦和公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
善前公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
三室公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
尾間木公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
原山公民館	実施済	未実施	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	A
美園公民館	実施済	実施済	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	880	A
岩槻本町公民館	未実施	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	A
岩槻南部公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	476	B
岩槻北部公民館	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	525	A
岩槻城址公民館	実施済	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A	

※「○…指定または保有」、「▲（冷暖房）…施設の一部に保有」、「▲（入浴施設）…シャワー（温水）のみ保有」を表している。

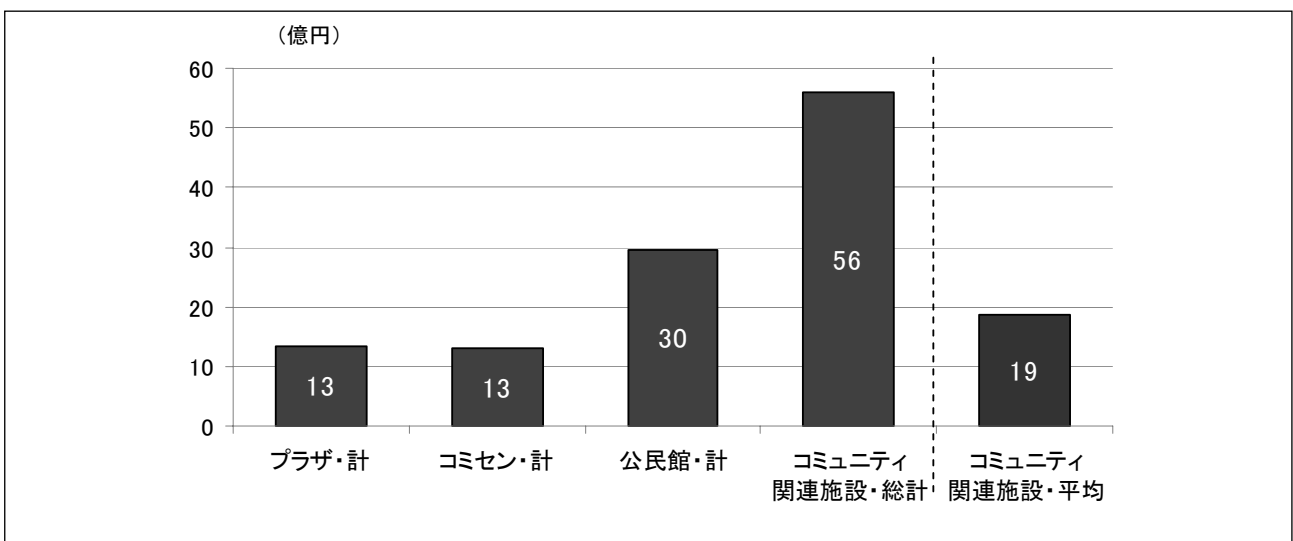
(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

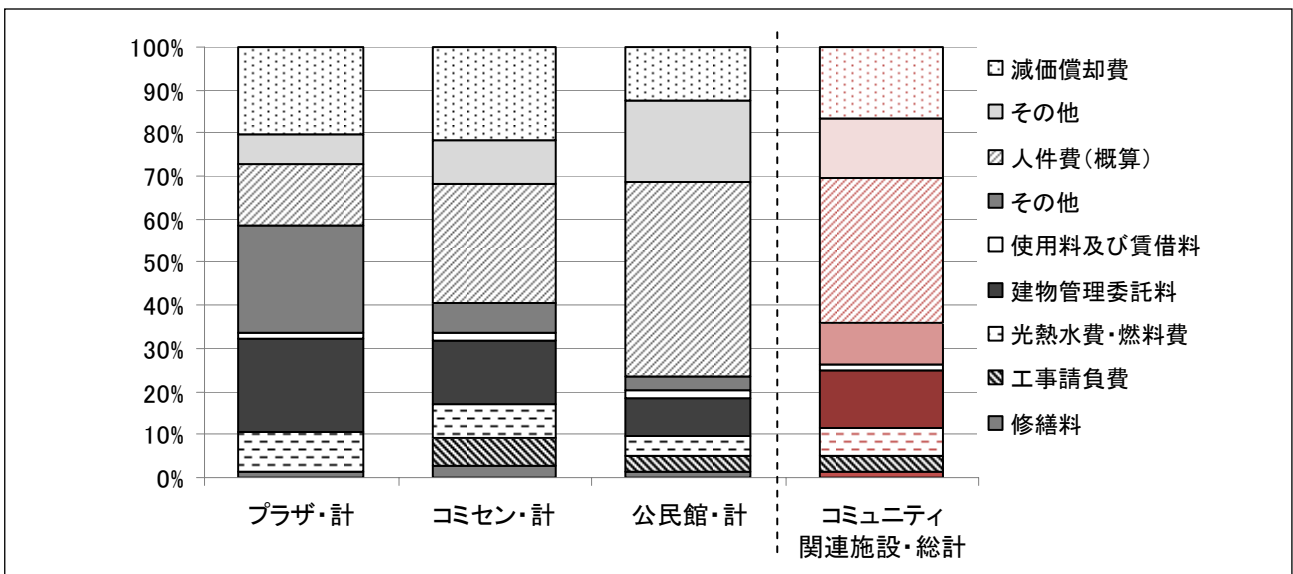
【コミュニティ関連施設】

- コミュニティ関連施設の総コストの総計は55億9,514万円である。1施設当たりでは、プラザは平均4億4,719万円、コミュニティセンターは平均7,661万円、公民館は平均5,002万円である。
- コミュニティ関連施設の総コスト55億9,514万円のうち、維持管理費は20億322万円、事業運営費は26億7,246万円、減価償却費は9億1,945万円である。また、55億9,514万円のうち、指定管理委託料は18億5,226万円(33.1%)となっている。
- 年間収入の合計は2億7,935万円(総コストの5.0%に相当)である。

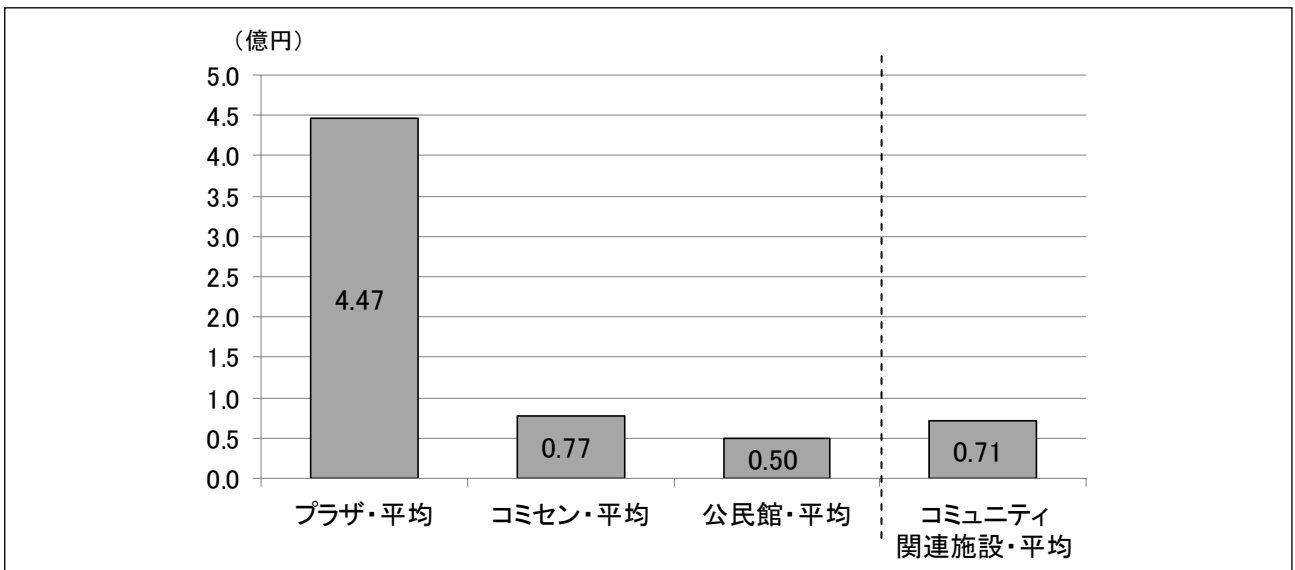
図表24 コミュニティ関連施設総コスト



図表25 コミュニティ関連施設総コスト (構成比)



図表26 コミュニティ関連施設1施設当たり平均総コスト



【施設別】

（プラザ）

- プラザの総コストの総計は13億4,158万円であり、1施設当たり平均は4億4,719万円である。
- 総コスト13億4,158万円のうち、維持管理費は7億8,544万円、事業運営費は2億8,200万円、減価償却費は2億7,414万円である。また、13億4,158万円のうち、指定管理委託料は10億1,219万円（75.4%）となっている。
- 施設別の総コストは、プラザウエストの3億3,247万円～プラザノース6億7,461万円となっている。
- 年間収入の合計は1億5,788万円（総コストの11.8%に相当）で、1施設当たり平均は5,263万円である。

（コミュニティセンター）

- コミュニティセンターの総コストの総計は13億238万円であり、1施設当たり平均は7,661万円である。
- 総コスト13億238万円のうち、維持管理費は5億2,603万円、事業運営費は4億9,663万円、減価償却費は2億7,971万円である。また、13億238万円のうち、指定管理委託料は8億4,007万円（64.5%）となっている。
- 施設別の総コストは、上峰コミュニティホールの1,627万円～西部文化センター1億6,821万円となっている。
- 年間収入の合計は1億1,362万円（総コストの8.7%に相当）で、1施設当たり平均は668万円である。

（公民館）

- 公民館の総コストの総計は29億5,117万円であり、1施設当たり平均は5,002万円である。
- 総コスト29億5,117万円のうち、維持管理費は6億9,175万円、事業運営費は18億9,383万円、減価償却費は3億6,560万円である。
- 施設別の総コストは、生涯学習センター7億457万円、その他公民館は栄和公民館の2,475万円～岸町公民館1億1,143万円となっている。
- 年間収入の合計は785万円（総コストの0.3%に相当）で、1施設当たり平均は13万円である。

図表27 施設別総コスト（プラザ）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(千円)

コストの部		プラザイースト	プラザウエスト	プラザノース	計
維持管理費	修繕料	9,544	2,952	3,922	16,418
	工事請負費	0	0	0	0
	光熱水費・燃料費	27,368	36,024	63,808	127,200
	建物管理委託料	80,128	91,177	120,823	292,128
	使用料及び賃借料	5,204	7,888	0	13,091
	その他	0	0	336,601	336,601
	維持管理費 計	122,243	138,040	525,154	785,438
事業費	人件費(概算)	58,742	68,573	66,180	193,495
	その他	42,183	45,380	945	88,509
	事業運営費 計	100,925	113,953	67,125	282,003
現金収支を伴うコスト 計		223,169	251,993	592,279	1,067,442

【収益の部】

使用料	48,323	39,873	48,824	137,020
その他	5,724	7,509	7,626	20,859
収益 計	54,047	47,382	56,450	157,879

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費	111,332	80,477	82,330	274,139
-------	---------	--------	--------	---------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	334,501	332,470	674,609	1,341,581
収支差額	280,454	285,088	618,159	1,183,701

(参考)

指定管理者委託料	234,610	337,644	439,932	1,012,186
----------	---------	---------	---------	-----------

I. 現金収支を伴うもの
【コストの部】

図表28 施設別総コスト（コミュニティセンター）

(千円)

コストの部		馬宮コミュニティセンター	西部文化センター	宮原コミュニティセンター	高鼻コミュニティセンター	大宮工房館	東大宮コミュニティセンター	七里コミュニティセンター	片柳コミュニティセンター
維持管理費	修繕料	9,682	11,528	492	2,344	476	2,046	833	1,045
	工事請負費	0	52,458	0	0	0	13,579	0	0
	光熱水費・燃料費	12,819	14,472	7,724	4,086	2,949	6,475	4,626	9,768
	建物管理委託料	23,703	27,525	19,713	6,633	4,173	6,214	8,465	23,902
	使用料及び賃借料	1,816	1,659	5,156	307	360	296	988	1,295
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	維持管理費計	48,020	107,641	33,085	13,369	7,958	28,609	14,913	36,009
営業運	人件費(概算)	22,870	25,917	28,066	16,937	21,983	23,357	27,313	28,365
	その他	9,627	6,889	5,754	11,745	6,085	7,226	5,121	10,136
	事業運営費計	32,497	32,805	33,820	28,682	28,067	30,583	32,434	38,501
現金収支を伴うコスト計		80,518	140,446	66,905	42,051	36,026	59,192	47,347	74,510

【収益の部】

使用料	6,014	7,184	7,574	3,589	2,803	5,088	5,461	9,833
その他	229	136	76	74	77	121	127	240
収益計	6,244	7,320	7,650	3,663	2,879	5,208	5,587	10,073

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費	23,544	27,763	17,647	12,587	10,337	17,718	10,771	33,938
-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	104,062	168,209	84,552	54,638	46,363	76,910	58,117	108,448
収支差額	97,818	160,888	76,901	50,975	43,484	71,701	52,530	98,376

(参考)

指定管理者委託料	82,908	77,627	65,682	40,691	36,480	48,054	47,978	75,999
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(千円)

コストの部		与野本町コミュニティセンター	上峰コミュニティホール	西与野コミュニティホール	下落合コミュニティセンター	浦和コミュニティセンター	南浦和コミュニティセンター	コミュニティセンターいわつき	岩槻駅東口コミュニティセンター	ふれあいプラザいわつき	計
維持管理費	修繕料	2,175	147	421	354	505	2,582	704	394	1,667	37,394
	工事請負費	0	0	0	0	0	0	19,268	0	0	85,304
	光熱水費・燃料費	8,166	876	2,554	1,987	0	1,228	4,904	7,182	11,192	101,008
	建物管理委託料	4,765	1,613	1,854	3,062	19,110	4,111	8,106	20,271	9,972	193,192
	使用料及び賃借料	307	36	24	304	3,792	227	291	1,862	361	19,080
	その他	0	0	0	5,346	43,993	0	393	40,322	0	90,054
	維持管理費計	15,414	2,672	4,852	11,054	67,399	8,148	33,666	70,031	23,192	526,032
営業運	人件費(概算)	27,137	4,195	4,120	20,930	34,235	9,491	23,755	26,753	18,908	364,329
	その他	4,337	7,462	6,725	7,021	7,135	3,657	9,155	13,081	11,148	132,305
	事業運営費計	31,474	11,656	10,845	27,951	41,370	13,148	32,910	39,834	30,056	496,634
現金収支を伴うコスト計		46,888	14,329	15,697	39,004	108,770	21,297	66,575	109,865	53,248	1,022,666

【収益の部】

使用料	9,967	584	2,275	4,000	24,542	822	4,868	12,449	4,033	111,086
その他	228	21	42	76	138	49	121	679	103	2,536
収益計	10,195	605	2,317	4,077	24,680	872	4,989	13,128	4,136	113,623

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費	15,518	1,936	5,331	6,059	25,797	3,588	16,317	30,462	20,401	279,714
-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	---------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	62,406	16,265	21,028	45,063	134,567	24,884	82,893	140,327	73,649	1,302,380
収支差額	52,211	15,660	18,712	40,987	109,887	24,013	77,904	127,199	69,513	1,188,758

(参考)

指定管理者委託料	46,079	14,719	18,844	34,313	54,170	23,668	46,901	65,980	59,980	840,073
----------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------

図表29 施設別総コスト（公民館）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(千円)

コストの部		生涯学習 総合セン ター	指扇公民 館	大砂土公 民館	桜木公民 館	大砂土東 公民館	鈴谷公民 館	田島公民 館	岸町公民 館	文蔵公民 館	大古里公 民館	岩槻本丸 公民館	馬宮公民 館	植水公民 館	日進公民 館	宮原公民 館
維持 管理 費	修繕料	0	1,423	473	11	1,362	5,126	527	2,540	153	1,157	694	678	16	62	647
	工事請負費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	光熱水費・燃料費	3,028	2,047	1,354	1,413	1,761	6,151	3,085	6,986	3,432	2,862	4,287	1,672	1,280	1,325	1,685
	建物管理委託料	1,981	5,461	2,927	1,932	2,673	9,478	7,497	14,700	5,768	7,253	10,827	2,813	2,703	2,884	4,539
	使用料及び賃借料	4,234	952	390	340	945	5,123	95	2,282	358	1,032	7,758	347	1,308	1,291	390
	その他	57,255	0	77	26,721	50	0	217	45	0	83	0	0	0	24	38
	維持管理費 計	66,498	9,882	5,221	30,417	6,792	25,879	11,422	26,552	9,711	12,388	23,566	5,510	5,307	5,587	7,298
営業 運	人件費(概算)	144,306	27,414	29,343	35,909	27,414	35,909	35,909	58,687	36,699	29,343	35,909	16,055	16,055	16,055	20,873
	その他	471,716	1,440	1,166	902	501	2,659	1,238	2,845	2,334	5,245	3,773	1,330	1,572	1,310	1,268
	事業運営費 計	616,022	28,854	30,509	36,811	27,915	38,568	37,146	61,532	39,033	34,588	39,681	17,385	17,627	17,365	22,141
現金収支を伴うコスト 計		682,521	38,735	35,731	67,228	34,707	64,447	48,568	88,084	48,744	46,976	63,247	22,895	22,934	22,952	29,440

【収益の部】

使用料	0	0	0	0	0	0	9	11	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,688	17	23	11	12	542	135	675	106	29	120	23	27	24	24	
収益 計	2,688	17	23	11	12	542	144	686	106	29	120	23	27	24	24	

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費	22,051	4,520	3,847	10,291	4,208	12,758	10,835	23,350	11,645	7,639	13,737	4,055	4,771	3,829	3,719
-------	--------	-------	-------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	-------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	704,572	43,256	39,578	77,519	38,915	77,205	59,403	111,434	60,389	54,614	76,985	26,950	27,704	26,781	33,159
収支差額	701,883	43,239	39,555	77,507	38,903	76,663	59,259	110,748	60,283	54,585	76,865	26,927	27,677	26,757	33,134

(参考)

指定管理者委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(千円)

コストの部		植竹公民 館	大宮南公 民館	大宮中部 公民館	大宮北公 民館	三橋公民 館	大成公民 館	大宮東公 民館	片柳公民 館	七里公民 館	春岡公民 館	大戸公民 館	与野本町 公民館	上落合公 民館	下落合公 民館	土合公民 館
維持 管理 費	修繕料	215	400	640	194	607	0	117	2,186	130	175	105	594	109	1,763	124
	工事請負費	0	0	0	0	0	3,318	0	39,900	0	0	18,486	0	0	1,779	0
	光熱水費・燃料費	2,413	1,551	2,001	1,627	993	1,383	1,139	1,333	1,399	1,395	1,557	1,830	5,331	2,801	3,417
	建物管理委託料	3,019	2,678	2,626	2,736	3,932	2,721	2,396	2,326	2,890	3,787	2,796	3,460	7,585	4,613	5,895
	使用料及び賃借料	390	312	320	330	333	324	308	825	340	337	724	398	118	252	41
	その他	85	100	64	0	0	0	95	0	25	0	0	36	170	100	0
	維持管理費 計	6,121	5,041	5,651	4,887	5,866	7,746	4,055	46,570	4,784	5,695	23,668	6,318	13,314	11,307	9,477
営業 運	人件費(概算)	16,055	16,055	20,873	20,873	20,873	16,055	20,873	16,055	20,873	16,055	20,873	15,951	16,055	16,055	16,055
	その他	1,262	1,091	1,155	969	1,047	1,043	998	528	267	292	1,172	908	1,160	1,194	1,623
	事業運営費 計	17,318	17,146	22,028	21,842	21,920	17,098	21,871	16,583	21,139	16,348	22,044	16,860	17,215	17,250	17,679
現金収支を伴うコスト 計		23,439	22,187	27,679	26,729	27,785	24,844	25,926	63,153	25,923	22,043	45,712	23,178	30,529	28,557	27,155

【収益の部】

使用料	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	7	0	15	0	0
その他	24	25	24	23	23	25	23	24	23	23	62	49	63	69	67	
収益 計	24	26	25	23	23	26	23	24	23	23	69	49	78	69	67	

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費	3,704	3,836	3,894	3,841	5,744	3,850	3,740	3,897	3,858	3,823	3,327	4,047	8,725	4,966	6,774
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	27,143	26,024	31,573	30,570	33,529	28,694	29,665	67,050	29,782	25,865	49,039	27,224	39,254	33,523	33,929
収支差額	27,119	25,998	31,548	30,547	33,506	28,668	29,642	67,026	29,759	25,842	48,970	27,176	39,176	33,454	33,862

(参考)

指定管理者委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

図表30 施設別総コスト

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(千円)

コストの部		大久保公民館	栄和公民館	大久保東公民館	領家公民館	浦和南公民館	上木崎公民館	大東公民館	仲本公民館	針ヶ谷公民館	本太公民館	仲町公民館	常盤公民館	北浦和公民館	南菫公民館	南浦和公民館
維持管理費	修繕料	399	424	140	127	138	233	1,112	759	259	387	224	236	405	1,257	200
	工事請負費	0	0	0	0	0	21,074	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	光熱水費・燃料費	1,665	1,555	7,077	535	1,172	1,452	1,336	1,265	1,838	2,481	2,214	2,128	1,748	2,533	1,576
	建物管理委託料	3,287	1,688	9,259	1,435	3,282	2,996	3,678	3,242	4,060	4,045	6,122	4,029	3,966	4,326	2,261
	使用料及び賃借料	108	43	275	4,863	305	161	2,603	32	184	214	32	161	184	253	195
	その他	0	0	0	22	26	124	0	0	0	0	0	93	0	32	0
	維持管理費 計	5,459	3,709	16,751	6,982	4,923	26,039	8,729	5,297	6,340	7,127	8,592	6,647	6,303	8,401	4,231
事業費	人件費(概算)	16,055	16,055	16,055	16,031	16,055	20,873	20,873	16,031	16,968	16,055	16,055	16,031	16,031	20,873	20,873
	その他	927	783	2,259	1,003	954	1,302	948	1,181	1,087	1,103	992	1,783	1,152	1,034	1,496
	事業運営費 計	16,982	16,838	18,314	17,034	17,009	22,175	21,821	17,212	18,056	17,158	17,048	17,814	17,183	21,907	22,369
現金収支を伴うコスト 計		22,442	20,547	35,065	24,017	21,933	48,214	30,550	22,509	24,396	24,285	25,639	24,462	23,486	30,308	26,600

【収益の部】

使用料	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	5	1	0	9	0
その他	634	85	155	32	79	173	128	55	86	66	48	131	136	57	23	23
収益 計	634	85	155	32	81	176	128	55	86	66	53	132	136	66	23	

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費	4,454	4,206	13,112	1,017	3,372	3,946	3,967	3,327	3,797	4,542	4,826	6,115	4,153	5,506	5,702
-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

III. 総括

コストの部合計(総コスト)	26,896	24,753	48,177	25,034	25,305	52,160	34,517	25,837	28,192	28,827	30,465	30,576	27,639	35,813	32,302
収支差額	26,262	24,668	48,022	25,002	25,223	51,984	34,388	25,782	28,106	28,762	30,412	30,444	27,503	35,748	32,279

(参考)

指定管理者委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(千円)

コストの部		谷田公民館	六辻公民館	西浦和公民館	別所公民館	東浦和公民館	三室公民館	尾間木公民館	原山公民館	美園公民館	岩槻本町公民館	岩槻南部公民館	岩槻北部公民館	岩槻城址公民館	善前公民館	計
維持管理費	修繕料	582	305	292	4	1,897	414	125	479	489	520	1,288	662	547	0	36,134
	工事請負費	0	0	3,444	0	0	14,692	0	11,100	6,119	0	0	0	0	0	119,911
	光熱水費・燃料費	2,493	2,011	1,402	1,584	1,425	1,418	1,575	1,501	1,924	0	3,028	3,077	2,198	1,401	128,151
	建物管理委託料	3,940	2,700	3,214	3,631	4,281	3,239	2,710	5,442	5,834	3,604	6,777	7,063	10,784	2,691	260,478
	使用料及び賃借料	257	229	209	239	191	110	3,125	129	86	51	49	56	1,021	103	47,668
	その他	91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,836	99,407
	維持管理費 計	7,363	5,244	8,561	5,459	7,794	19,873	7,536	18,651	14,451	4,174	11,142	10,859	14,550	18,031	691,748
事業費	人件費(概算)	20,873	16,055	16,055	16,601	20,873	12,378	16,055	20,873	16,055	20,849	20,873	16,031	16,031	14,149	1,340,179
	その他	1,572	1,847	1,678	1,584	1,575	561	505	613	633	860	1,095	1,706	1,016	6,391	553,646
	事業運営費 計	22,445	17,902	17,733	18,185	22,448	12,939	16,560	21,485	16,688	21,709	21,967	17,738	17,047	20,540	1,893,825
現金収支を伴うコスト 計		29,807	23,146	26,295	23,644	30,242	32,812	24,096	40,137	31,139	25,883	33,110	28,597	31,597	38,572	2,585,573

【収益の部】

使用料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	66
その他	162	38	48	157	85	23	23	23	22	22	65	59	100	59	28	7,784
収益 計	162	38	48	157	85	23	23	23	22	22	65	59	100	59	28	7,850

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費	5,468	3,903	4,193	3,842	4,972	3,712	1,985	3,800	10,295	5,425	9,776	11,325	6,724	8,858	365,600
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	---------

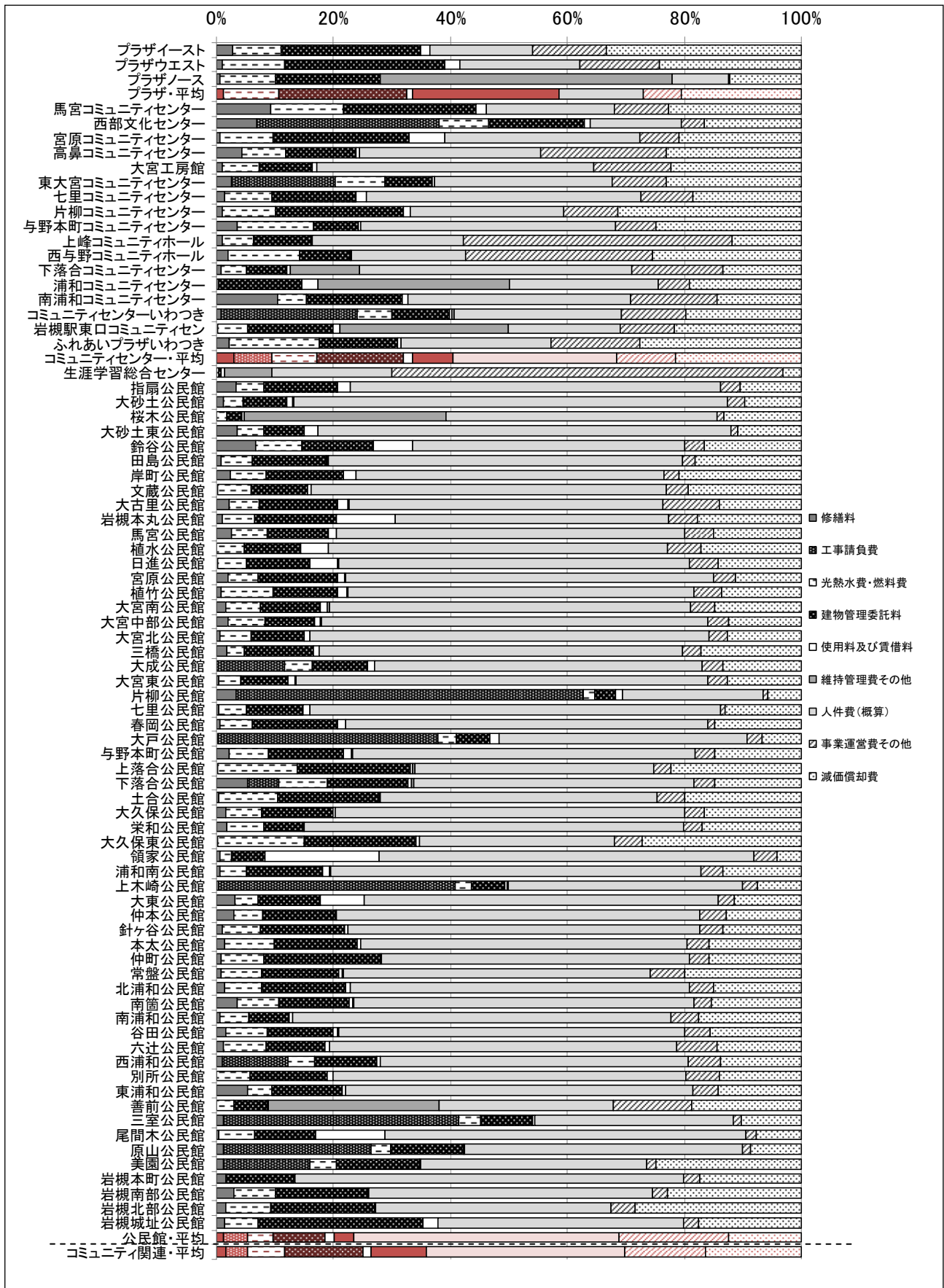
III. 総括

コストの部合計(総コスト)	35,276	27,049	30,488	27,486	35,213	36,523	26,081	43,936	41,434	31,308	42,886	39,921	38,321	47,429	2,951,174
収支差額	35,114	27,012	30,440	27,329	35,128	36,500	26,058	43,913	41,412	31,243	42,827	39,821	38,262	47,401	2,943,324

(参考)

指定管理者委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

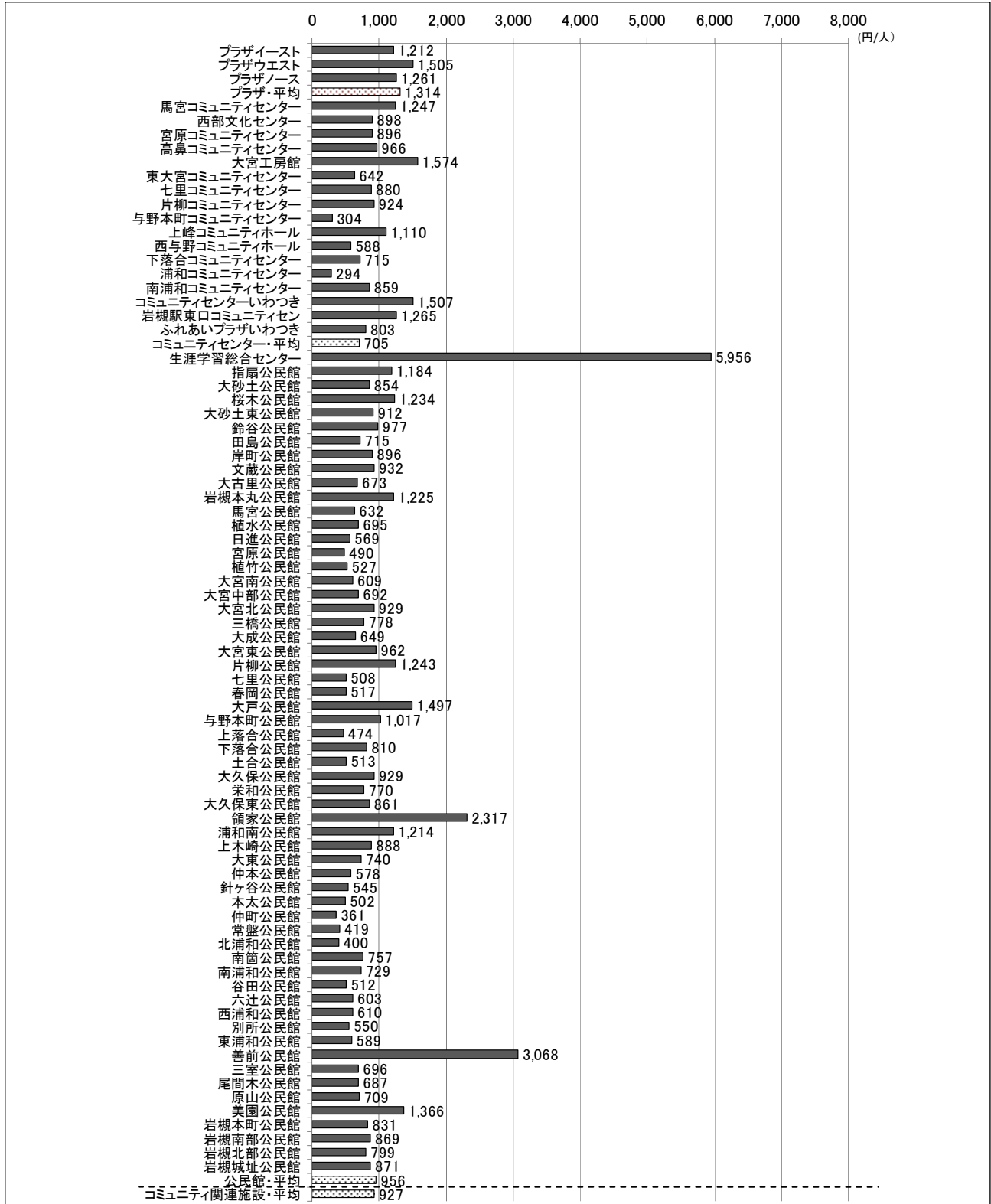
図表31 施設別総コスト（構成比）



② 利用当たり総コスト／床面積当たり総コスト

- プラザの利用 1 人当たり総コストは平均 1,314 円、コミュニティセンターの利用 1 人当たり総コストは平均 705 円、公民館の利用 1 人当たり総コストは平均 956 円である。
- コミュニティ関連施設全体の利用 1 人当たり総コストは平均 927 円である。

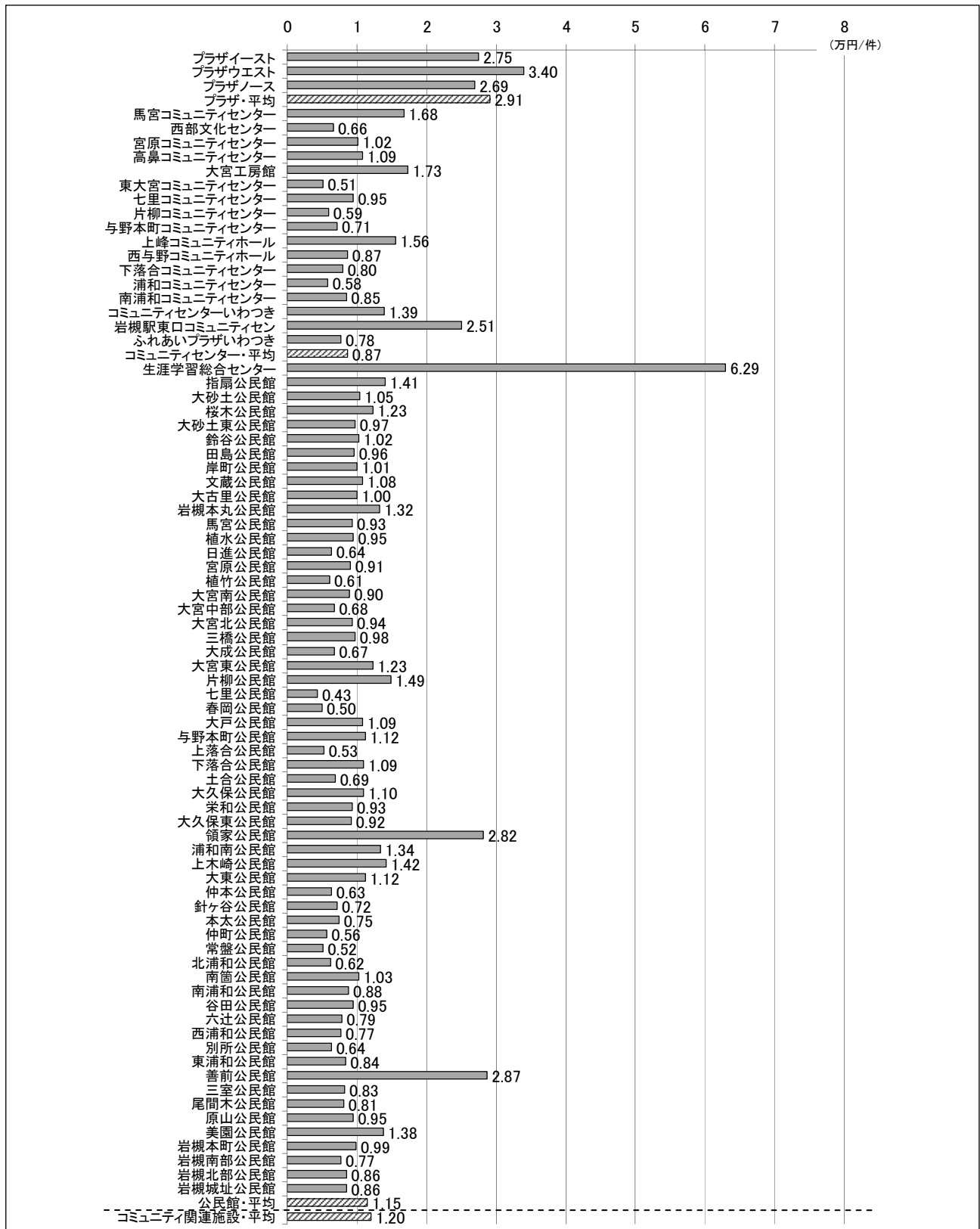
図表32 利用 1 人当たり総コスト



※「工事請負費、建設設計等委託、公有財産・備品購入費」については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

- プラザの利用1件当たり総コストは平均2万9,116円、コミュニティセンターの利用1件当たり総コストは平均8,688円、公民館の利用1件当たり総コストは平均1万1,474円である。
- コミュニティ関連施設全体の利用1件当たり総コストは平均1万1,999円である。

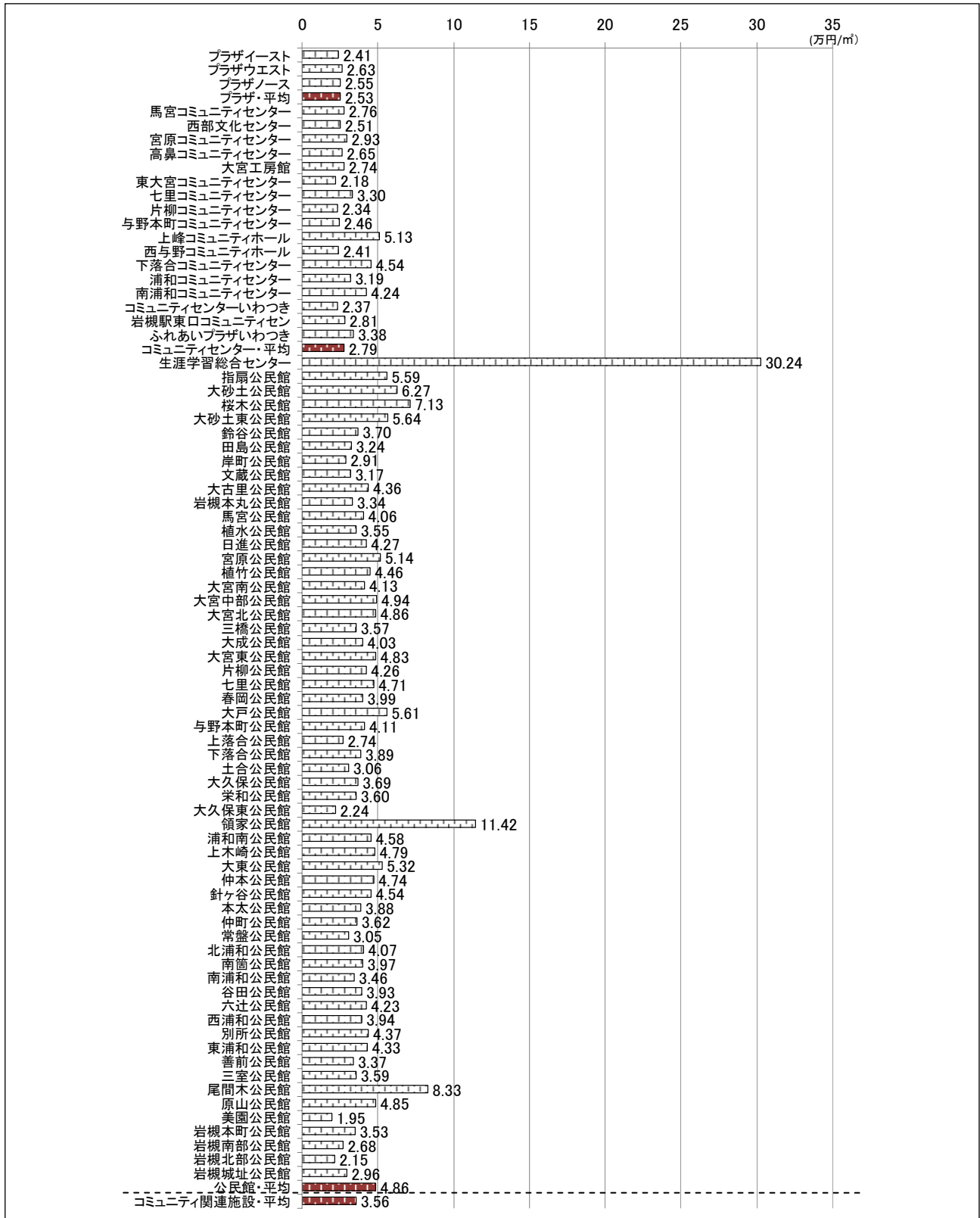
図表33 利用1件当たり総コスト



※「工事請負費、建設設計等委託、公有財産・備品購入費」については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

- プラザの床面積1㎡当たり総コストは平均2万5,273円、コミュニティセンターの床面積1㎡当たり総コストは平均2万7,856円、公民館の床面積1㎡当たり総コストは平均4万8,562円である。コミュニティ関連施設全体の床面積1㎡当たり総コストは平均3万5,583円である。

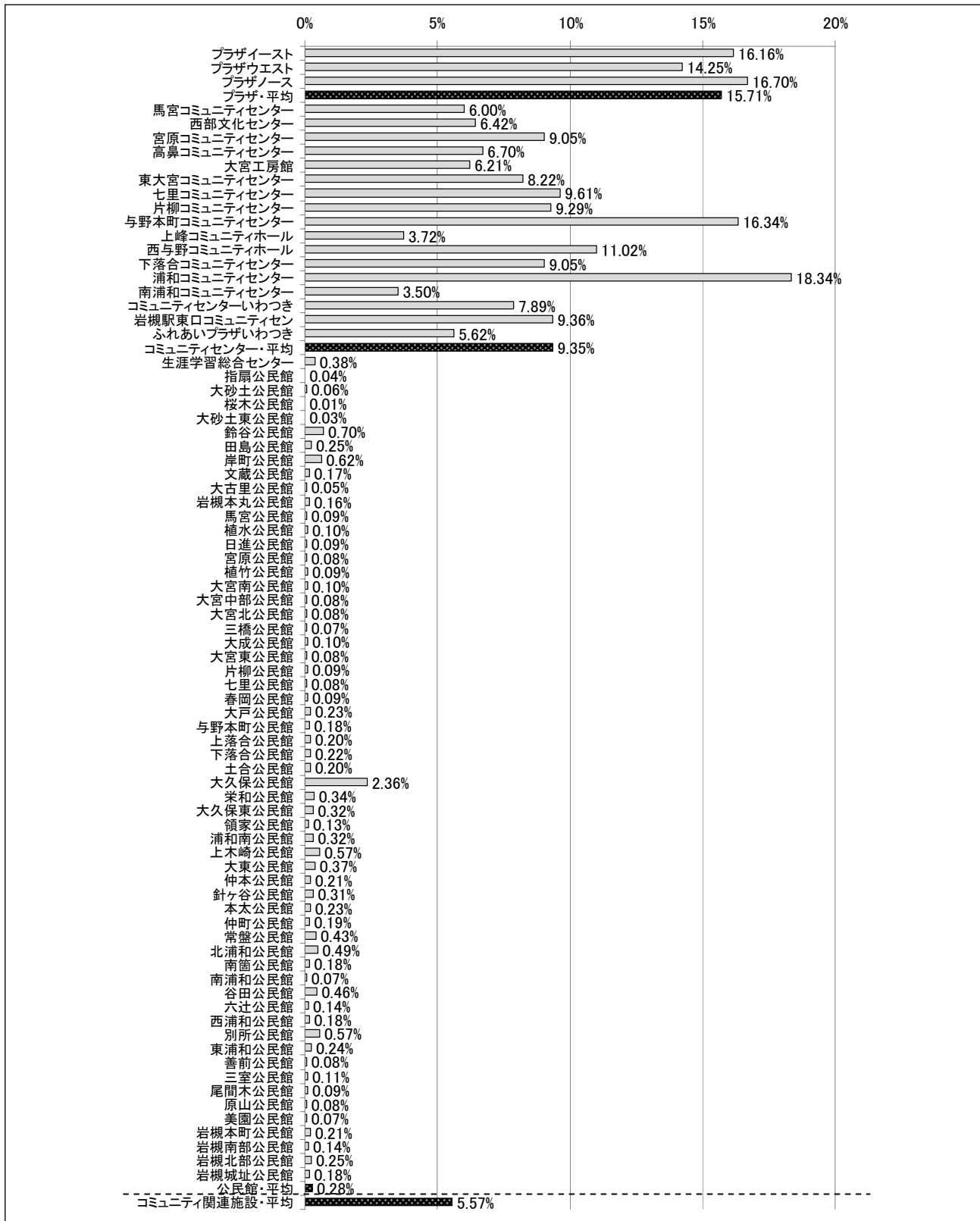
図表34 床面積1㎡当たり総コスト



※「工事請負費、建設設計等委託、公有財産・備品購入費」については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

- プラザの総コストに占める使用料等収入は平均 15.7%、コミュニティセンターの総コストに占める使用料等収入は平均 9.4%、公民館の総コストに占める使用料等収入は平均 0.3%である。
- コミュニティ関連施設全体の総コストに占める使用料等収入は平均 5.6%である。

図表35 総コストに占める使用料等収入の割合

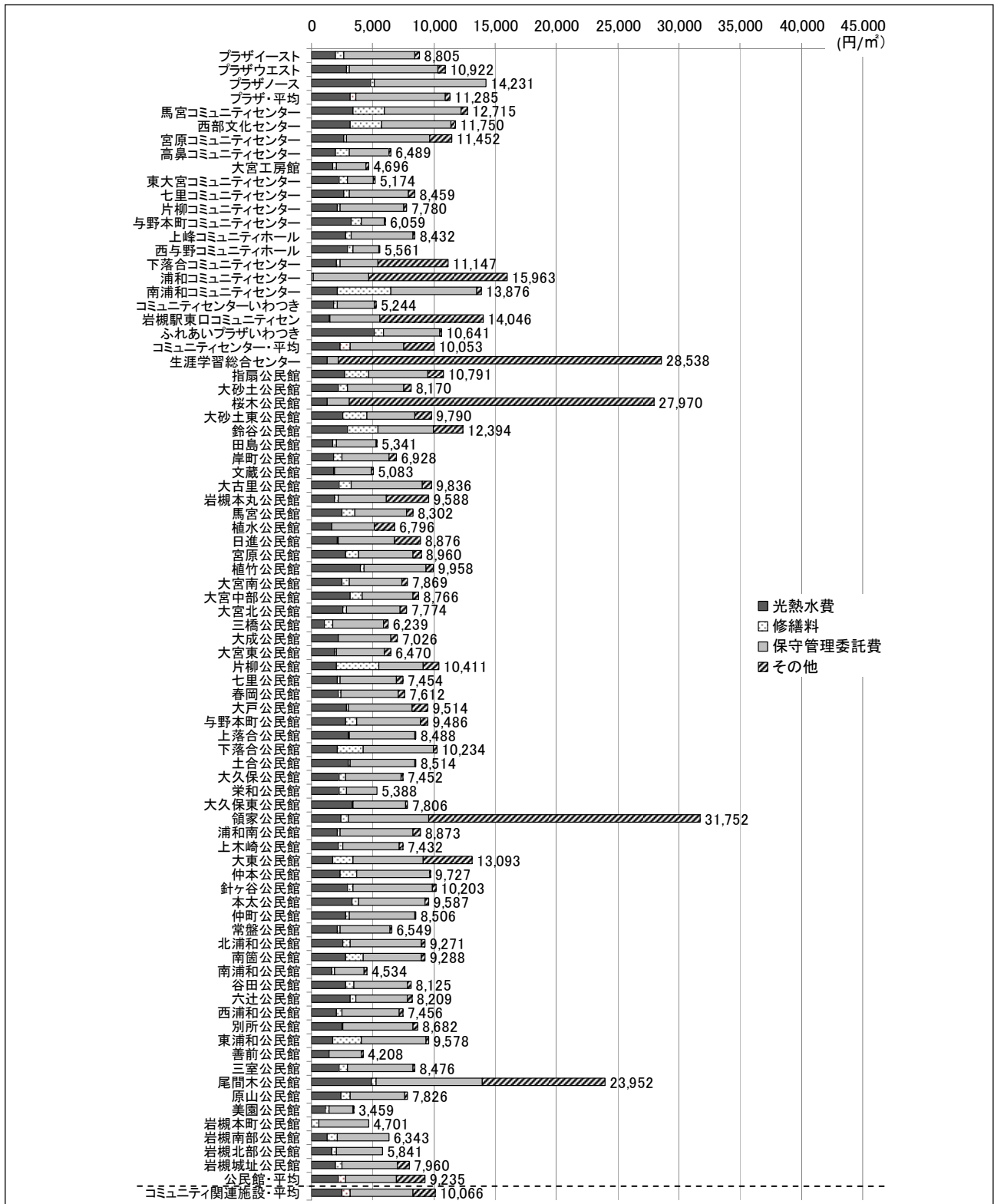


※「工事請負費、建設設計等委託、公有財産・備品購入費」については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

③ 維持管理

- 維持管理経費として、光熱水費・修繕費・保守管理委託費・その他を把握した。
- プラザの面積当たり維持管理費は平均1万 1,285 円、コミュニティセンターの床面積1㎡当たり維持管理費は平均1万 53 円、公民館の床面積1㎡当たり維持管理費は9,235 円である。
- コミュニティ関連施設全体の床面積1㎡当たり維持管理費は10,066 円である。

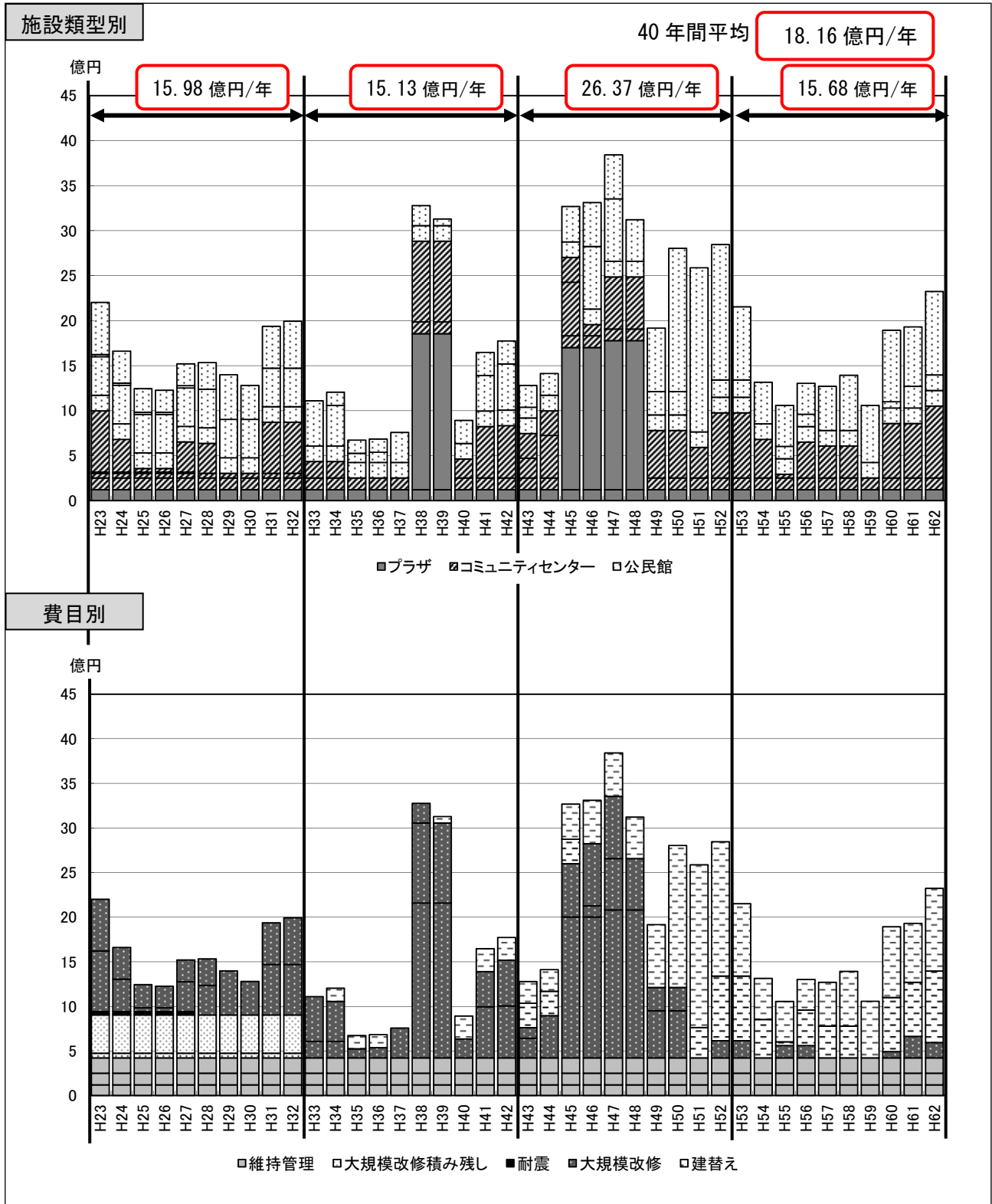
図表36 床面積1㎡当たり維持管理費状況



④ 今後の建替え・改修に係るコスト

- 今後必要なコストは、最初の10年間で年平均15.98億円、次の10年間で年平均15.13億円、次の10年間で年平均26.37億円、次の10年間で年平均15.68億円となる。40年間トータルの年平均コストは、18.16億円であり、現状の維持・更新コスト2.95億円の約6.2倍のコストが必要となる。

図表37 今後の建替え・改修に係るコスト



施設類型		施設分類		施設数
コミュニティ関連施設		【大分類】 市民利用施設 【中分類】 市民文化・社会教育系施設 【小分類】 コミュニティ関連施設		79施設

評価軸	評価内容	評価データ・評価の着眼点	評価基準		
			A	B	C
① 施設状況	計画との整合	配置計画・整備計画との整合	計画どおりの整備	ほぼ計画どおりの整備	計画より遅れている又は計画がない
	機能規模・機能バランス	施設類型別の機能別平均延床面積との比較	各機能とも概ね平均延床面積にある	平均延床面積を上回る機能がいくつかある	平均延床面積を上回る機能が多い
	施設の数	—	—	—	—
	施設の規模	人口1人当たりの延床面積	他市平均の90%未満	他市平均の90%～110%	他市平均の110%より大きい
	効率的な施設の活用	施設の複合化状況	30%以上の施設が複合化されている	30%未満の施設が複合化されている	複合化された施設はない
② 建物状況	老朽化状況	築年別の建物の延床面積の割合	過半が20年未満の建物である	過半が20年以上の建物である	過半が30年以上の建物である
	アスベスト対策	対応状況	対策済み	対策中	未対応
	バリアフリー化	基準適合義務の対応状況	対応済み	未対応施設が30%以下	30%を超える施設で未対応
	環境負荷低減	自然エネルギー・太陽光発電、屋上・壁面緑化、その他の環境対応設備の導入状況	導入済み	未導入施設が30%以下	30%を超える施設で未導入
③ 利用状況	利用の推移	利用者数、利用件数の推移	増加	横ばい	減少
	稼働率・定員充足率等	稼働率	60%を上回る	40～60%程度	40%を下回る 80%を上回る
④ 運営状況	運営方式	指定管理者制度等の導入状況	全て導入済み	50%以上の施設で導入済み	導入施設が50%未満
	運営時間	夜間・土日の運営体制	全ての施設で夜間・土日とも開館している	一部の施設で夜間・土日とも開館している	全ての施設で夜間・土日いずれも開館していない
	利用単位当たりの総コスト	利用1人当たり、利用1件当たりのコストのバラツキ	施設間に差が無い	平均より20%以上のバラツキがある	平均より50%以上のバラツキがある
	面積当たりの総コスト	延床面積1㎡当たりのコストのバラツキ	施設間に差が無い	平均より20%以上のバラツキがある	平均より50%以上のバラツキがある
	収入の割合	総コストに占める使用料等収入の割合	20%を上回る	20%～5%	5%未満
⑤ 防災状況	耐震性	新耐震基準・耐震対策済みの建物の状況	適合	対策中	対策が必要
	地域防災計画での位置付け	避難場所等としての位置付け	80%以上の施設で位置付けがある	50%以上の施設で位置付けがある	位置付けがある施設が50%未満
	避難場所としての機能	必要な機能の整備状況	80%以上の施設でいずれかの付加機能がある	50%以上の施設でいずれかの付加機能がある	いずれかの付加機能がある施設が50%未満
	耐風水害性	ハザードマップ上の位置	80%以上の施設で浸水深0m	50%以上の施設で浸水深0m	浸水深0mの施設が50%未満
⑥ コスト状況	維持管理	維持管理のベンチマーク（市民利用施設、行政施設全体の平均との比較。光熱水費、修繕費、保守管理委託費、その他）	妥当（市平均を下回る）	一部改善・対応の必要がある（市平均の100%～130%）	改善・対応の必要がある（市平均の130%以上）
	今後、建替え、改修に係るコスト	年当たり将来コストと現状との比較	現状の1.2倍未満	現状の2倍未満	現状の2倍以上

※A:個別評価でAが過半、C:個別評価でCが過半、B:それ以外

合計延床面積
140,929㎡ (@1,784㎡)

評価内容	総合評価	評価結果
<p>ほぼ公共施設適正配置方針通りの整備状況となっている。</p> <p>プラザはほぼ同等の規模であり、それぞれに複数のホールを有し、会議室・和室の数も多く、特殊な機能を有する。コミュニティセンターは特に会議室やホール2（平土間）のホールに差があり、保有する機能も施設により若干異なる。公民館は一部に大きな施設があるが、その他はほぼ同規模であり、保有する機能もほぼ同じとなっている。</p> <p>—</p> <p>人口1人当たりの延床面積は政令市平均が0.089㎡であるのに対し、0.116㎡とやや大きい(130%)。</p> <p>プラザは全て、コミセンは17施設中12施設、公民館は59施設中16施設が複合化されている。比較的新しく整備されたプラザ、コミセンでは複合化されている(39%)。</p> <p>築40年以上が5施設(3,565㎡)、築30年以上が27施設(28,989㎡)、築20年以上が22施設(24,722㎡)、築20年未満が25施設(83,653㎡)で59%と過半を占める。比較的新しく整備された施設は規模が大きいプラザ、コミセンが多く、また公民館も新しい施設は規模が大きいため、床面積では新しい施設が多くなっている。</p> <p>公民館3館については対応中、その他の施設は全て実施済み。</p> <p>プラザ・コミセンは比較的整備が進んでいる。公民館については、車いす用エレベータや点字ブロックの導入が進んでいない(67%)。</p> <p>公民館で屋上緑化・壁面緑化の導入が進んでいることを除き、全般に導入が進んでいない(92%)。</p> <p>利用者数では、プラザは増加傾向にあり、コミセン、公民館は横ばいである。合計では最近5年間で418万人から541万人に増加している。</p> <p>利用件数でも、プラザは増加傾向にあり、コミセンは横ばい、公民館は横ばいから減少傾向である。合計では最近5年間で32万件から42万件に増加している。</p> <p>プラザ32%、コミセン46%、公民館58%、全体では50%となっており、特にプラザ・コミセンでは改善の余地がある。</p> <p>プラザ、コミセンでは指定管理者制度が導入済みであるが、公民館は直営である(25%)。</p> <p>いずれの施設も夜間・土日も開館しており、夜間は21:30までとなっている。</p> <p>利用1人当たりでは、コミュニティ関連施設全体平均が927円に対し、プラザは平均1,314円、コミセンは平均705円、公民館は平均956円とバラツキがある。コストが最大の施設は5,956円であり(公民館)、全体平均の6.43倍となっている。施設間のコストの差は大きい(32%~643%)。利用1件当たりでも同様に、全体平均が11,999円に対し、プラザは平均29,116円、コミセンは平均8,688円、公民館は平均11,474円とバラツキがある。コスト最大の施設は62,897円であり、全体平均の5.24倍となっている(36%~524%)。</p> <p>コミュニティ関連施設全体平均が35,583円に対し、プラザは平均25,273円、コミセンは平均27,856円、公民館は平均48,562円とバラツキがある。コスト最大の施設は302,365円であり、全体平均の8.50倍となっている。施設間のコストの差は大きい(55%~850%)。全体平均が5.6倍である。種別に見ると、プラザは15.7%、コミセンは9.4%、公民館は使用料を徴収していないため0.3%である。</p> <p>プラザ・コミセンでは耐震補強未実施の施設は20施設中1施設で、公民館では59施設中4施設である。</p> <p>プラザ・コミセンでは20施設中3施設、公民館では59施設中55施設とほとんどの施設が避難所に位置付けられている(73%)。</p> <p>避難所となっている施設58施設については、備蓄、調理設備、冷暖房設備がセットで整備されているものが50施設である。その他の施設にも代替電源設備、冷暖房設備等がある(100%)。</p> <p>プラザ・コミセンは15施設、公民館は50施設とほとんどの施設で浸水深0m(82%)。ただし、避難所となっている公民館で2.0m~5.0mとなっている施設が2施設ある。</p> <p>延床1㎡当たりのコストは10,066円で、全体平均の117%となっている。</p> <p>年当たりの将来コストを今後40年でみると、10年目までが15.98億円(5.4倍)、20年目までが15.13億円(5.1倍)、30年目までが26.37億円(8.9倍)、40年目までが15.68億円(5.3倍)となっている。現状の5.1倍~8.9倍となる。特に増加する21~30年目はプラザの大規模修繕と公民館の建替えが重なりコストを要する。</p>	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>B</p> <p>B</p>	<p>①施設状況</p> <p>②建物状況</p> <p>③利用状況</p> <p>④運営状況</p> <p>⑤防災状況</p> <p>⑥コスト状況</p> <p>総合評価コメント</p> <p>1. 施設の充足、配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 「さいたま市公共施設適正配置方針」に基づき、生涯学習総合センターを全市レベル、プラザ及びコミュニティセンターを行政区レベル、公民館を地区レベルの施設と位置付け、それらに応じた整備を進めており、ほぼ充足している。 また同方針では、地区レベルの施設は自治会連合会地区ごとに最低1館を目標とすることとしている。(南区と岩槻区の一部に、未設置地区がある。) 「コミュニティ関連施設の今後のあり方について」【提言】では、全市レベルの施設として生涯学習総合センターと市民活動サポートセンターを位置付けることとし、また行政区レベルの施設は区ごとに1~2施設を原則とすることとしている。 1つの行政区に複数のコミュニティセンターが設置されている区があるほか、コミュニティセンターと公民館とが近接しているケースなど、機能の重複も一部で見られる。 施設平均の延床面積は、プラザが13,255㎡、コミュニティセンターが2,566㎡、公民館が975㎡となっているが、コミュニティセンター及び公民館は、施設間のバラツキが大きい。 <p>2. 施設の改修・更新状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 公民館は築30年以上経過している施設が約半数となっているが、そのうち築40年以上経過している施設は5施設あり、今後老朽化対策が必要となる。コミュニティセンターは比較的新しい施設が多いが、築30年以上経過している施設が3施設あり、今後老朽化対策が必要となってくる。プラザはいずれも新しい施設であるが、規模が大きく、維持管理コストが多額となっている。 改修・更新にかかる将来コスト試算では、当初10年間のコストが現状の5.3倍、今後40年平均のコストが6.2倍となることが予測される。 <p>3. 利用・運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> プラザ及びコミュニティセンターの利用者数、利用件数は増加傾向にあるが、公民館は横ばい傾向にある。 プラザの稼働率は40%に満たない状況である。 プラザ及びコミュニティセンターには指定管理者制度を導入しているが、公民館は直営である。 利用単位当たりのコストにおける施設間の差については、利用1人当たりのコストでは平均値に対して最大6.4倍、利用1件当たりコストでは平均値に対して最大5.2倍と大きい。 <p>4. 防災対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ほとんどの公民館が避難場所に指定されている。 プラザ及びコミュニティセンターについては、3施設が避難場所に指定されているが、ほとんどの施設で避難場所としての機能を担える可能性がある。

市民文化施設

(1) 施設状況

① 概要

- 文化センター、市民会館うらわ、市民会館おおみや、市民会館いわつきは、さいたま市文化会館条例に基づき、市民の文化の向上と福祉の増進を図るため、音楽・演劇、催事等に利用可能なホール（舞台+固定椅子）、楽屋等を備えた施設として設置されている。
- 大宮ソニックシティ市民ホールは、さいたま市大宮ソニックシティ市民ホール条例に基づき、市民文化の向上及び市民相互の交流を促進することを目的に集会室4室を備えた施設として、大宮ソニックシティビル内に設置されている。大宮ソニックシティは、埼玉県の所有する2,505席の大ホール、496席の小ホール、349㎡の国際会議場等を備えている。
- 盆栽四季の家は、さいたま市盆栽四季の家条例に基づき、明るく住みよい近隣社会の形成に寄与するため、市民の憩い及び相互の交流の場として設置されている。
- 氷川の杜文化館、恭慶館は、さいたま市伝統文化施設条例に基づき、茶道、舞踊等、伝統文化に関する活動の場を提供するとともに、市民相互の交流を促進し、伝統文化の普及及び伝承を図ることを目的とした施設として設置されている。

図表1 施設一覧

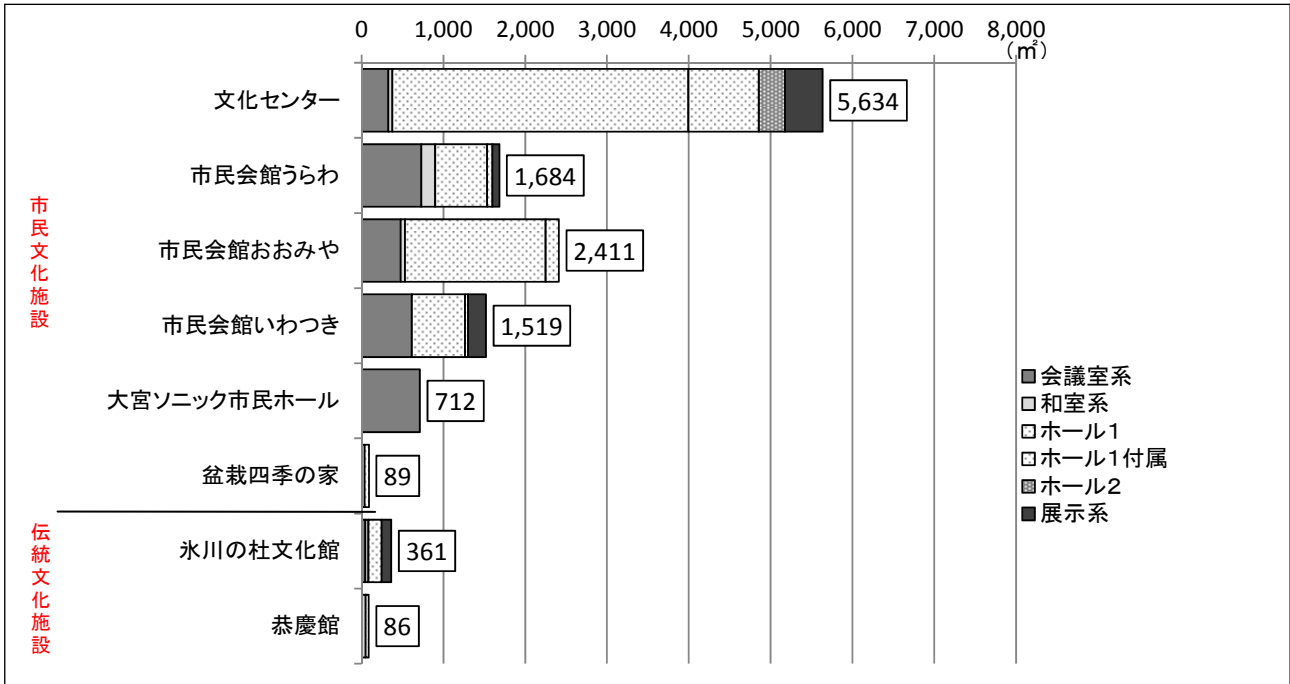
分類	施設名	延床面積 (㎡)	建築 年	開設 年	主な機能	併設施設
市民文化 施設	文化センター	20,872	S58	S60	大ホール(2,006席)、小ホール(340席)、多目的ホール、集会室、和室、練習室、展示室、大集会室、レストラン、喫茶室	南浦和図書館
	市民会館うらわ	7,090	S46	S46	ホール(478席)、集会室、和室、コンサート室、展示室、結婚式場、レストラン	
	市民会館おおみや	7,315	S45	S45	大ホール(1,370席)、小ホール(274席)、集会室、和室	
	市民会館いわつき	4,273	S44	S44	ホール(622席)、集会室、和室、結婚式場、レストラン	
	大宮ソニック市民ホール	712	S61	S63	集会室	
	盆栽四季の家	195	S59	S59	和室、休憩室	
伝統文化 施設	氷川の杜文化館	992	H8	H9	舞台付練習場、和室、会議室、展示場	
	恭慶館	255	H10	H11	和室、茶室、表広間	

※ 建築年とは、建築着工年のことをいい、一番古い棟の年を記載している。

② スペース構成

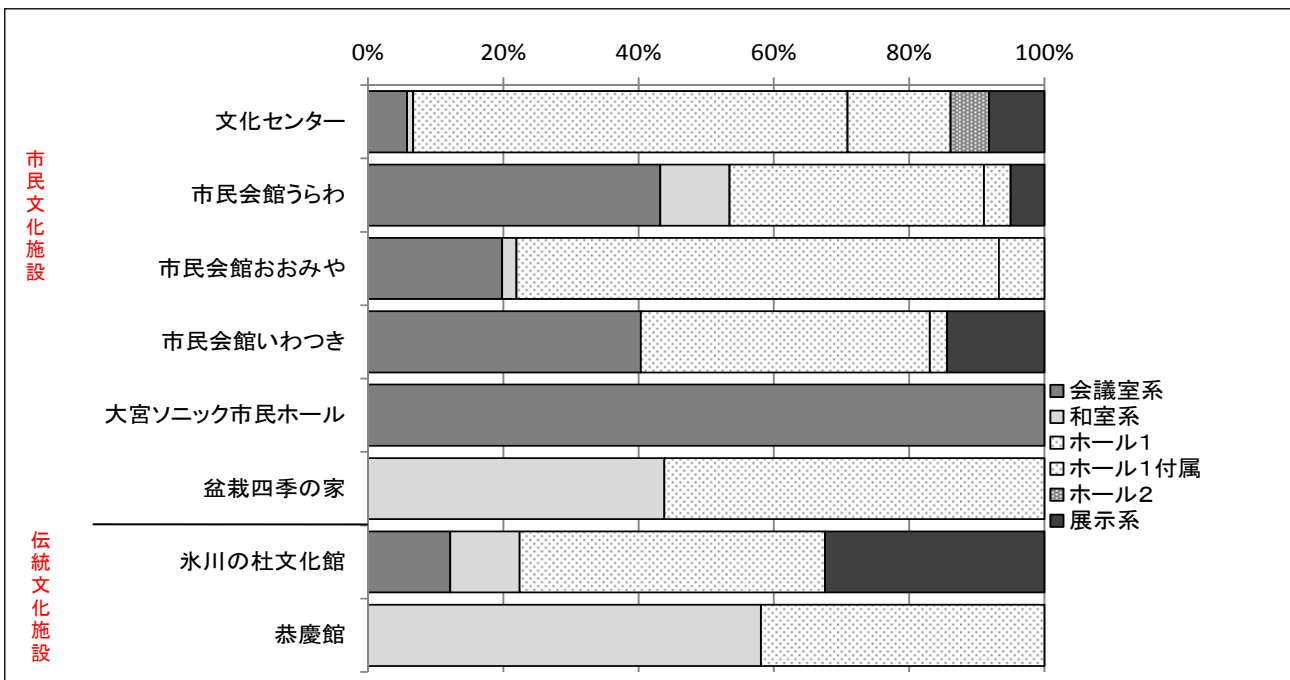
- 市民文化施設として最大規模のものは文化センターで、2万0,872㎡の延床面積を有する。
- 文化センター、市民会館うらわ、市民会館おおみや、市民会館いわつきの4施設は、いずれもホール（舞台+固定椅子）を有している。
- 市民会館うらわ、市民会館いわつきは、結婚式場を備えている。

図表3 各施設別のスペース構成



※倉庫、機械室、通路等の共用スペースを除く。

図表4 各施設別のスペース構成比



※倉庫、機械室、通路等の共用スペースを除く。

③ 政令市比較

- 人口1人当たりの延床面積は、政令市平均が0.056 m²であるのに対し、0.034 m²と小さい。

図表5 政令市比較

	延床面積 (m ²)	人口1人当 り延床面積 (m ² /人)	主な施設名
A市	117,720	0.114	区文化センター、青年文化センター、文学館等
B市	49,926	0.054	市民会館、文化センター、文化ホール等
C市	75,333	0.055	教育文化会館、市民文化会館(図書館との複合施設含む)、シンフォニーホール等
D市	41,078	0.050	教育文化会館、文化センター、文芸館、茶室等
E市	61,239	0.073	文化会館、文化センター等
F市	70,399	0.061	文化創造センター、青少年センター等
G市	49,987	0.051	市民会館、芸術劇場等
H市	39,587	0.028	
さいたま市	41,704	0.034	
平均	60,775	0.056	

(資料) さいたま市「政令指定都市アンケート調査」

※上記調査は平成21年度(2009年度)に実施したため、さいたま市の延床面積は本白書のその他の部分の延床面積と一致しない。

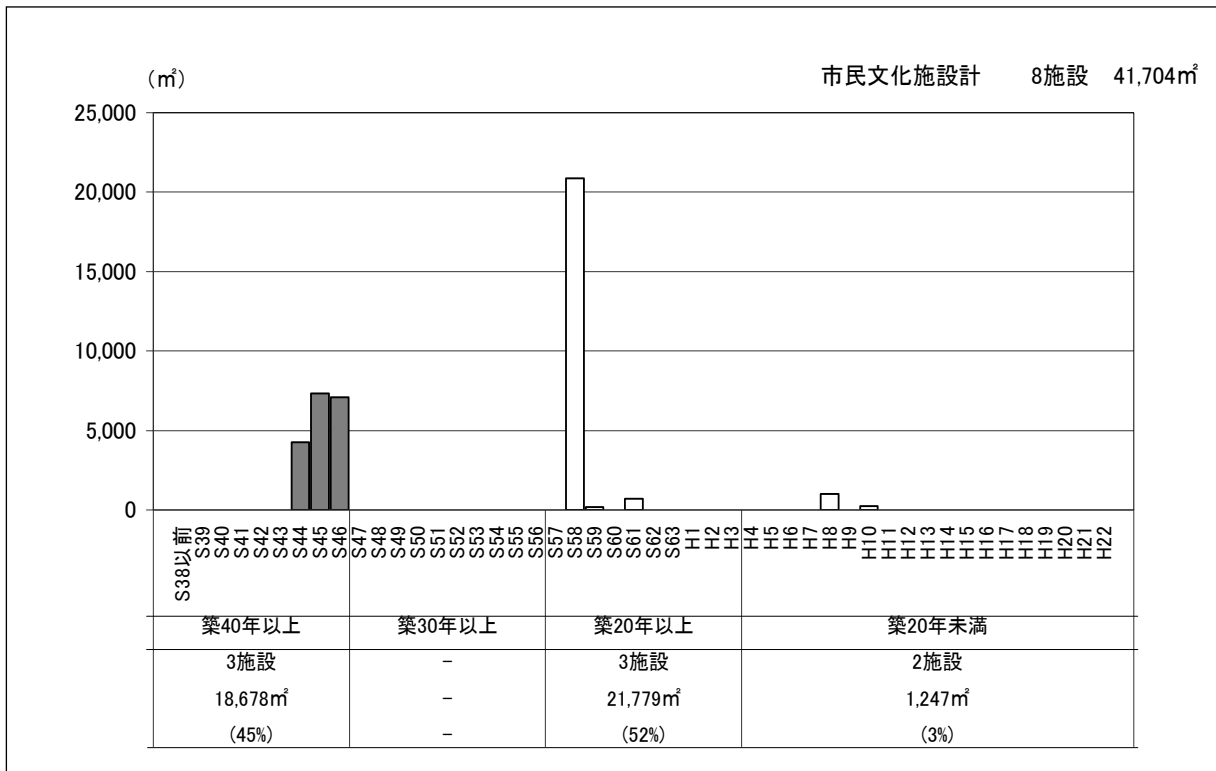
※人口1人当たり延床面積は、平成21年10月1日現在の人口を元に市で算出した計算値。

(2) 建物状況

① 老朽化状況

- 築40年以上が3施設 (18,678 m²)、築20年以上が3施設 (21,779 m²)、築20年未満が2施設 (1,247 m²)と築20年以上が97%を占め、老朽化した施設が多い。市民会館うらわ、市民会館おおみや、市民会館いわつきの3施設は築後約40年以上を経過している。
- なお、老朽化状況については、築年数に加え、施設ごとの劣化診断等も含めて判断することが必要となる。

図表6 築年別整備状況



② 機能改善 (アスベスト)

- アスベスト対策については、全施設で対応が完了している。

③ 機能改善 (バリアフリー)

- バリアフリー等への対応状況については、一部未実施の項目がある。

④ 環境負荷低減

- 自然エネルギー・太陽光発電、屋上緑化・壁面緑化、その他環境対応設備については、全般的に導入が進んでいない。

図表7 建物状況

施設名	①老朽化		②機能改善	③機能改善(バリアフリー)						④環境負荷低減			⑤維持管理費(千円)		
	建築年	経過年数	機能改善(アスベスト対策)	車いす用エレベータ	身障者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	自然エネルギー・太陽光発電	屋上緑化・壁面緑化	環境対応設備	光熱水費	修繕料	建物管理委託料
文化センター	S58	28	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	47,821	27,516	141,682
市民会館うらわ	S46	40	●	×	●	●	×	●	●	×	×	●	17,863	10,831	55,410
市民会館おおみや	S45	41	●	×	●	●	●	×	●	×	×	×	26,207	12,254	50,347
市民会館いわつき	S44	42	●	×	●	×	●	×	●	×	▲	×	10,613	10,348	33,265
大宮ソニック市民ホール	S61	25	●	●	●	●	●	×	×	×	×	▲	2,664	675	3,453
盆栽四季の家	S59	27	●	-	●	-	-	-	-	×	×	×	609	9,932	2,139
氷川の杜文化館	H8	15	●	●	●	●	●	●	●	×	×	▲	3,123	1,292	5,075
恭慶館	H10	13	●	-	●	-	-	-	-	×	×	●	687	392	2,505

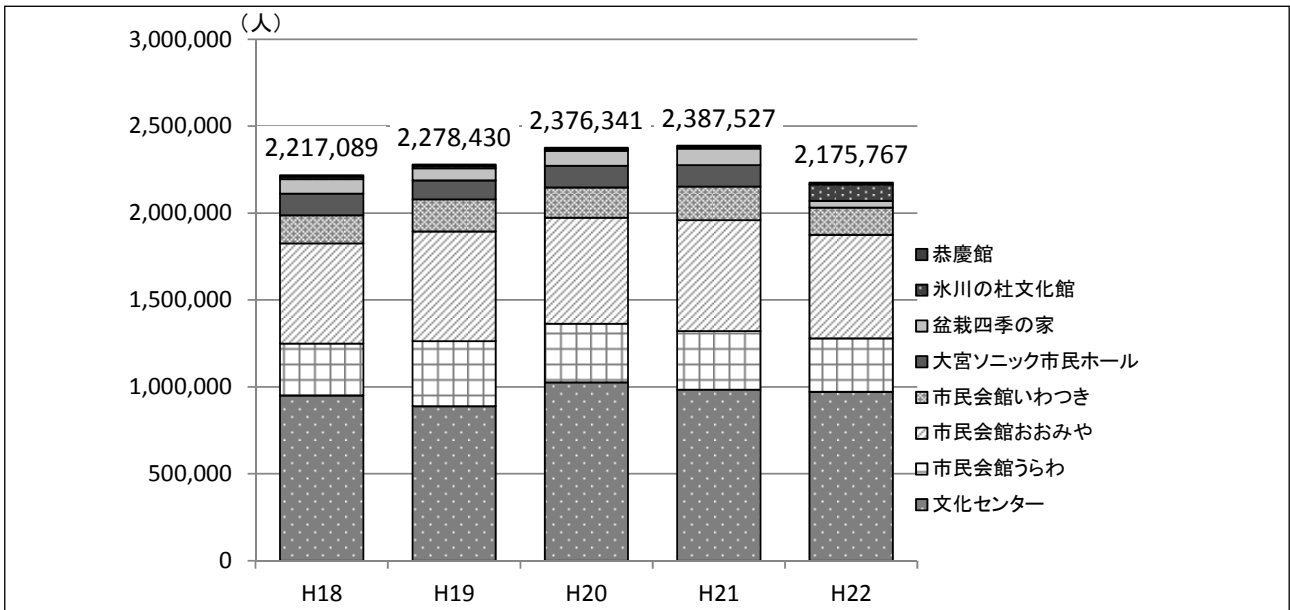
※ 「●…対応済」、「▲…対応中」、「-…対応不要」、「×…未対応」を表している。

(3) 利用状況

① 利用者数の推移

- 市民文化施設全体での利用者数は、217万5,767人である。
- 大宮ソニック市民ホールを除く利用者数は、平成18年度(2006年度)の161万955人から平成21年度(2009年度)の226万4,449人まで増加しており、利用者数は増加傾向にあるといえる。
- 施設別の利用者数では、文化センターが最も多く、年間97万1,884人となっている。

図表8 利用者数の推移(施設別)

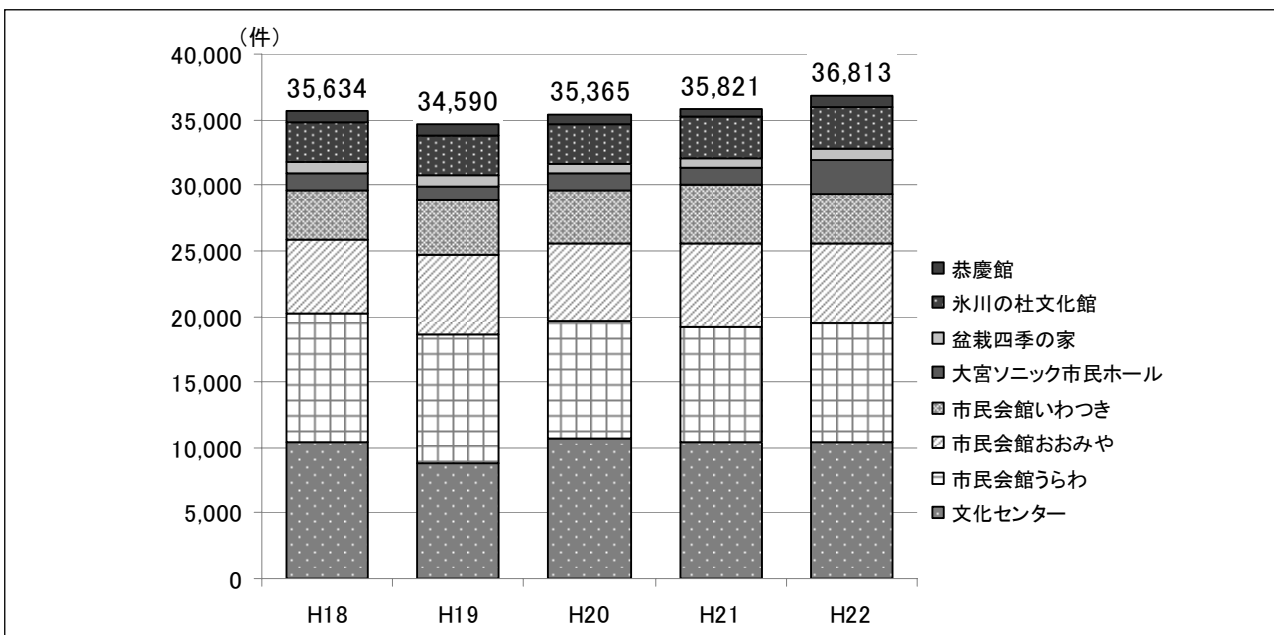


※大宮ソニック市民ホールの年間利用者数は、把握を行っていない。

② 利用件数の推移

- 市民文化施設全体での利用件数は、年間3万6,813件でほぼ横ばいで推移している。
- 文化センター、市民会館うらわについては減少傾向、その他の施設は、横ばいで推移している。

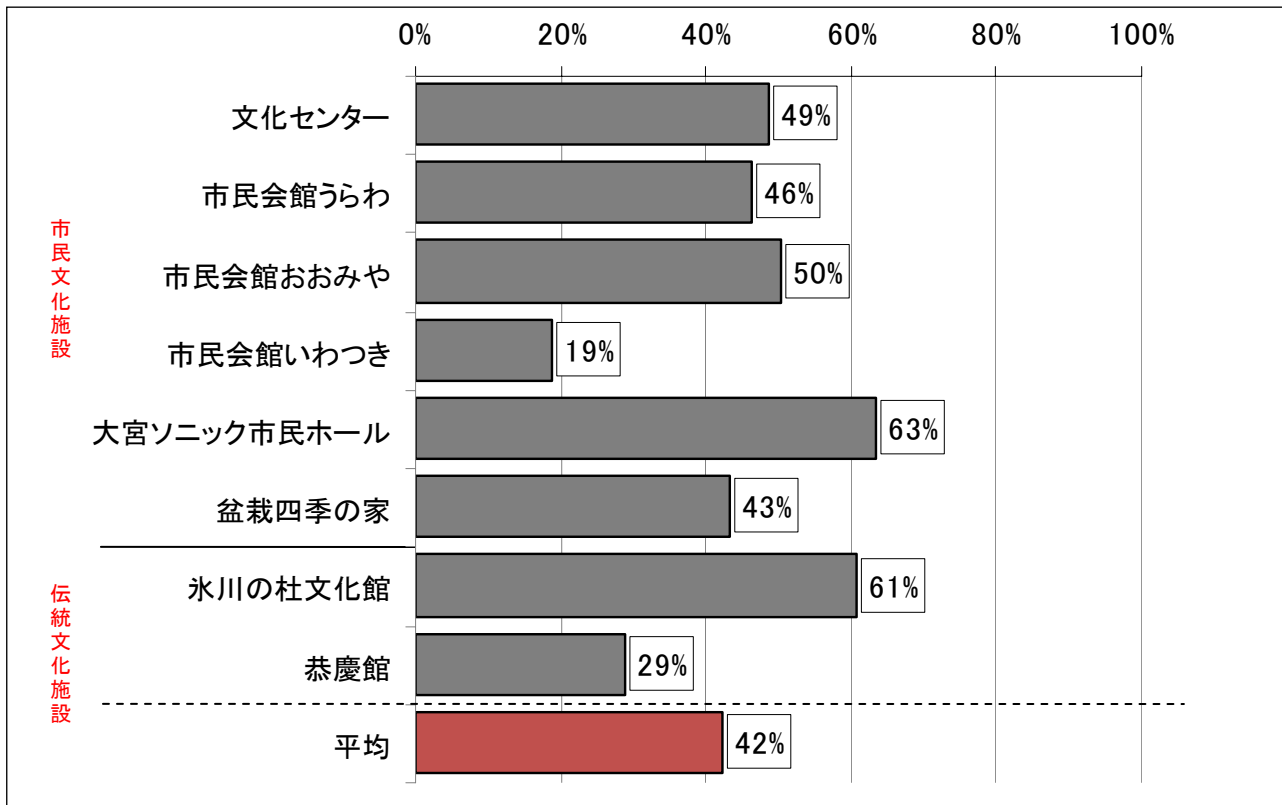
図表9 利用件数の推移(施設別)



③ 稼働率

- 市民会館おおみや、大宮ソニック市民ホール、氷川の杜文化館の稼働率は50%を超えている。
- 市民会館いわつき、恭慶館は30%を下回っている。

図表10 稼働率



(4) 運営状況

① 運営方式

- 運営方式については、盆栽四季の家を除いて、指定管理者制度を導入している。

図表11 運営方式一覧

分類	施設名	指定管理者	指定期間	(年)	選定
市民文化施設	文化センター	(財)さいたま市文化振興事業団	H22.4~H27.3	5	非公募
	市民会館うらわ	(財)さいたま市文化振興事業団	H22.4~H27.3	5	公募
	市民会館おおみや	(財)さいたま市文化振興事業団	H22.4~H27.3	5	公募
	市民会館いわつき	(財)さいたま市文化振興事業団	H22.4~H27.3	5	公募
	大宮ソニック市民ホール	(財)埼玉県産業文化センター	H21.4~H26.3	5	非公募
	盆栽四季の家	直営			
伝統文化施設	氷川の杜文化館	(財)さいたま市文化振興事業団	H22.4~H27.3	5	公募
	恭慶館	(財)さいたま市文化振興事業団	H22.4~H27.3	5	公募

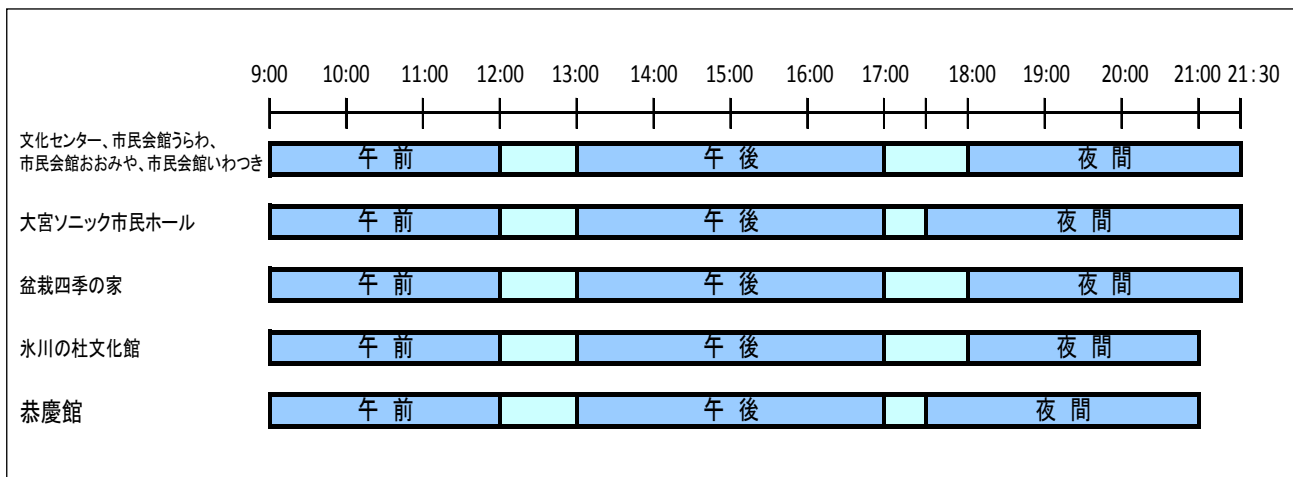
② 運営日数、運営時間

- 各施設とも年末年始が休館である他、基本的に文化センター、市民会館うらわ、恭慶館は月曜日、市民会館おおみやや第2・4水曜日、市民会館いわつきは第4月曜日、氷川の杜文化館は第3月曜日と12/10が休館となっている。
- 運営時間については、基本的には、午前、午後、夜間の3区分となっている。

図表12 運営日数

	文化センター	市民会館うらわ	市民会館おおみや	市民会館いわつき	大宮ソニック市民ホール	盆栽四季の家	氷川の杜文化館	恭慶館
運営日数	308日	308日	337日	348日	351日	359日	346日	305日

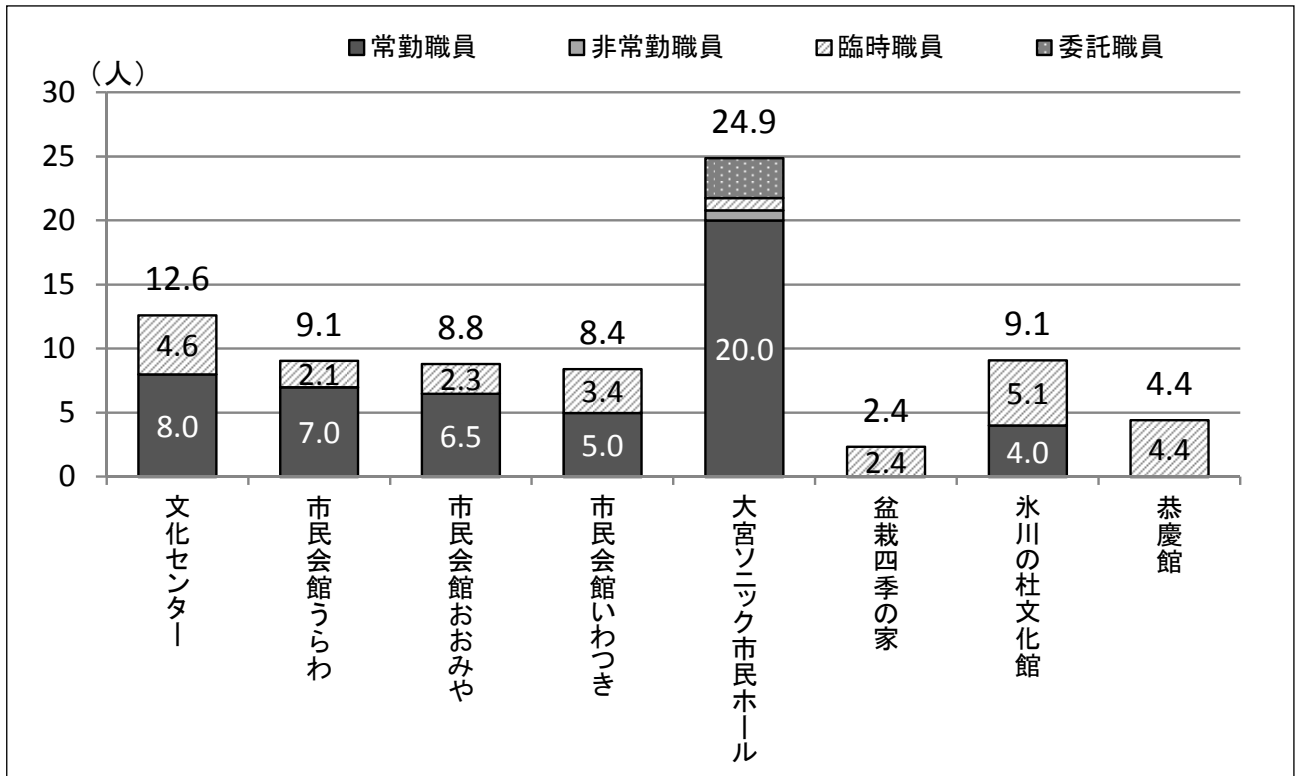
図表13 運営時間



③ 運営人員

- 1施設当たり約2人～約25人の運営人員となっている。
- 大宮ソニック市民ホールの指定管理者は、同時に県施設の管理も行っており、運営人員は両施設についての人数である。
- 恭慶館については、氷川の杜文化館と2館一体管理により運営されている。

図表14 運営人員



※常勤・非常勤職員は1人1日当たり7時間45分、臨時職員は1人1日当たり5時間勤務として換算した。

④ 利用1人当たりの総コスト

「(6) コスト状況」参照

⑤ 利用1件当たりの総コスト

「(6) コスト状況」参照

⑥ 面積当たりの総コスト

「(6) コスト状況」参照

⑦ 総コストに占める使用料等収入の割合

「(6) コスト状況」参照

(5) 防災状況

① 耐震性

- 市民会館うらわ、市民会館おおみや、市民会館いわつきの3施設が旧耐震基準の建物となっている。
- 市民会館いわつきについては、耐震診断未実施となっている。市民会館うらわ、市民会館おおみやについては、耐震診断の結果、耐震補強が必要な状況にある。

② 地域防災計画での位置付け

- 文化センター、市民会館いわつきは、地域防災計画において避難場所に指定されている。

③ 避難場所としての機能

- 避難場所となっている2施設については、簡易トイレ、調理設備、代替電源、冷暖房設備は整備されているが、その他の設備については、整備されているものが少ない。また、それ以外の施設についても付加機能がある施設が少ない。

④ 耐風水害性

- 全施設とも、洪水ハザードマップにおける各施設の浸水深度は、「浸水なし」のA判定となっている。

図表15 防災状況一覧

施設名	耐震性		地域防災計画での位置付け					避難場所としての機能										耐風水害性
	耐震診断	耐震補強	災害対策本部	避難場所	応急給水場所	医療救護所	拠点備蓄倉庫	避難場所運営委員会の	備蓄の有無	通信設備	簡易トイレ	マンホールトイレ	調理設備	代替電源設備	冷暖房設備	入浴施設	収容可能スペース(m ²)	
文化センター	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	A
市民会館うらわ	実施済	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	A
市民会館おおみや	実施済	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	A
市民会館いわつき	未実施	未実施	-	○	-	-	-	○	-	○	○	-	○	○	○	-	-	A
大宮ソニック市民ホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A
盆栽四季の家	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	A
氷川の社文化館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A
恭慶館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A

※「○…指定または保有」、「▲（冷暖房）…施設の一部に保有」、「▲（入浴施設）…シャワー（温水）のみ保有」を表している。

(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

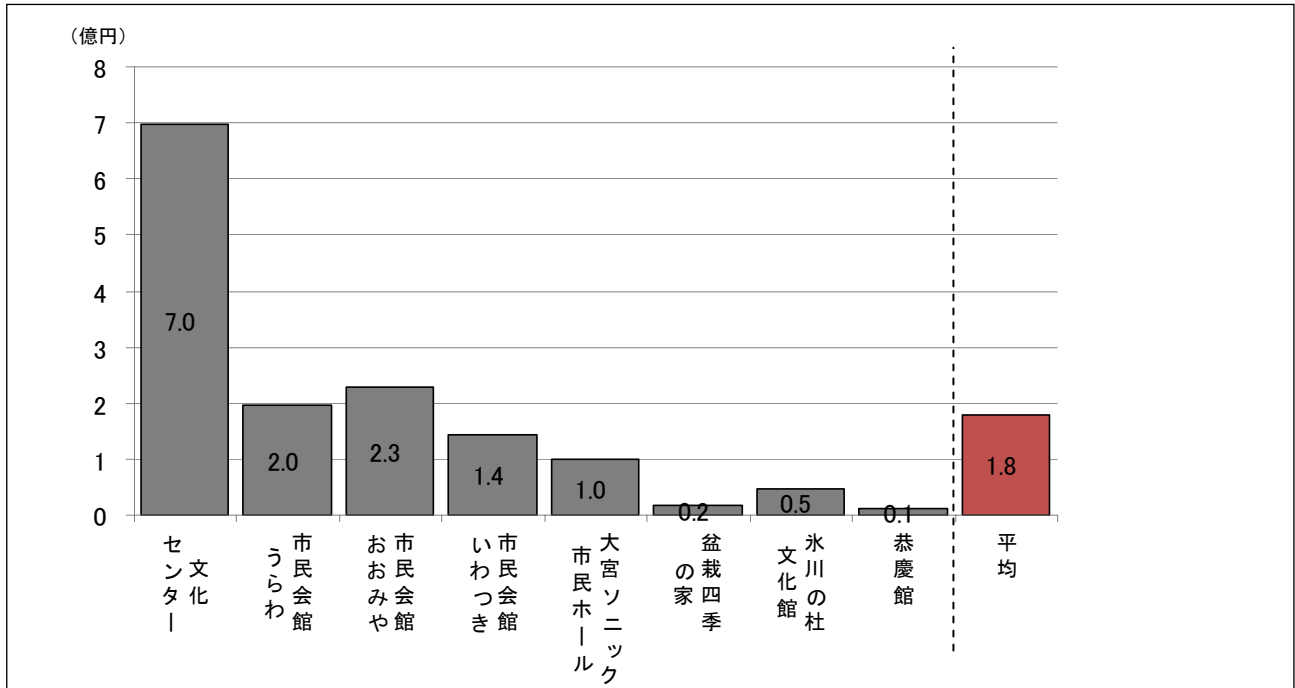
- 市民文化施設の総コストの総計は14億4,141万円であり、1施設当たり平均は1億8,018万円である。
- 総コスト14億4,141万円のうち、維持管理費は7億6,246万円、事業運営費は4億2,415万円、減価償却費は2億5,480万円である。また、14億4,141万円のうち、指定管理委託料は6億2,218万円(51.4%)となっている。
- 年間収入の合計は3億1,483万円(総コストの21.8%に相当)で、1施設当たり平均は3,935万円である。

図表16 施設別総コスト

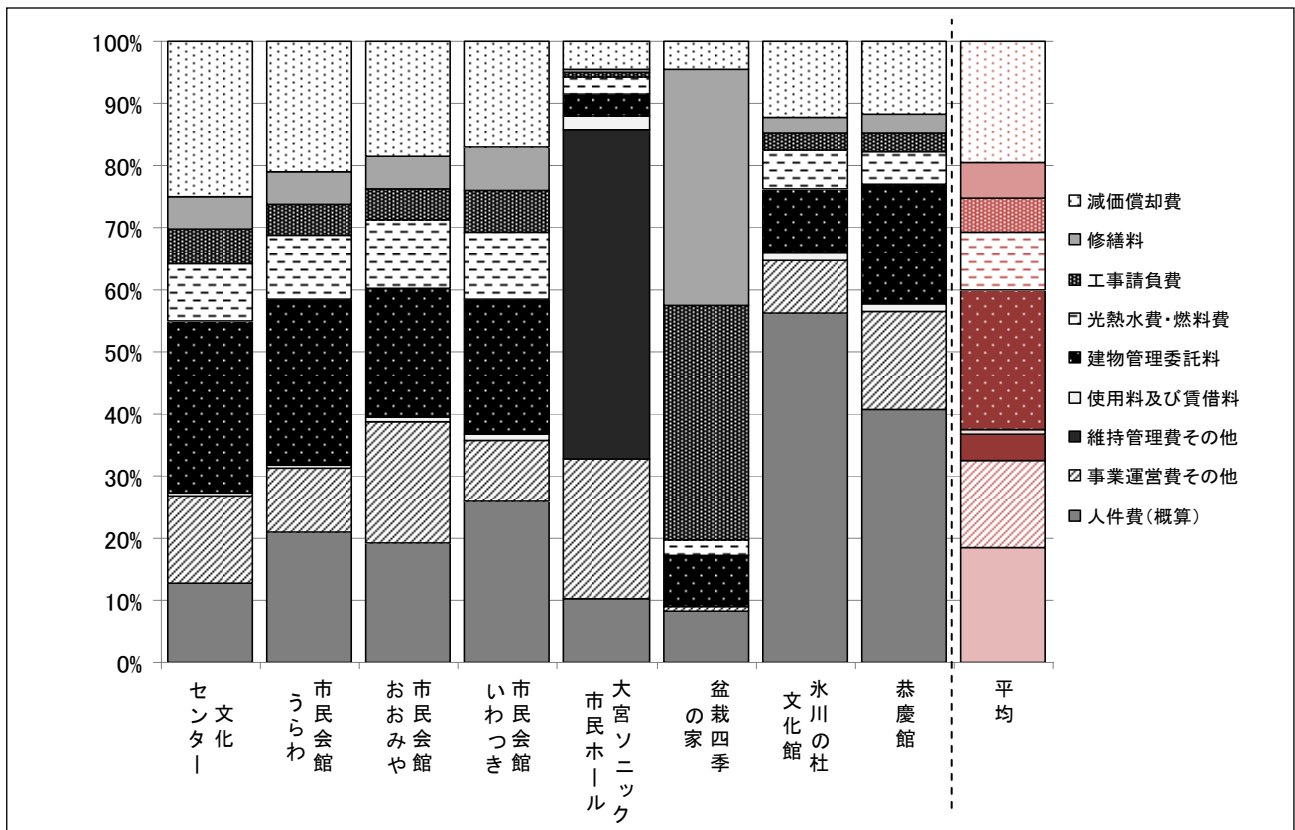
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		(千円)								
コストの部		文化センター	市民会館 うらわ	市民会館 おのみや	市民会館 いわつき	大宮ソニック 市民ホール	盆栽四季 の家	氷川の杜 文化館	恭慶館	計
維持管理費	修繕料	27,516	10,831	12,254	10,348	675	9,932	1,292	392	73,241
	工事請負費	213,812	0	0	0	0	0	0	0	213,812
	光熱水費・燃料費	47,857	20,964	26,236	16,430	2,664	633	3,123	687	118,594
	建物管理委託料	141,682	55,410	50,347	33,265	3,453	2,139	5,075	2,505	293,876
	使用料及び賃借料	2,769	1,338	1,418	1,600	2,333	30	605	185	10,277
	その他	0	0	0	0	52,659	0	0	0	52,659
	維持管理費 計	433,635	88,543	90,255	61,643	61,784	12,735	10,095	3,769	762,458
事業運営費	人件費(概算)	65,570	43,640	46,427	39,846	10,223	2,146	27,844	5,342	241,038
	その他	71,781	20,855	46,963	14,650	22,362	202	4,231	2,063	183,107
	事業運営費 計	137,350	64,496	93,390	54,495	32,585	2,348	32,075	7,405	424,145
現金収支を伴うコスト 計		570,985	153,039	183,645	116,139	94,369	15,083	42,171	11,174	1,186,603
【収益の部】										
使用料		123,469	36,516	62,771	9,342	36,217	291	3,851	2,330	274,786
その他		11,681	8,985	1,997	3,781	13,227	105	264	0	40,040
収益 計		135,149	45,501	64,768	13,123	49,443	396	4,116	2,330	314,826
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】										
減価償却費		127,525	43,319	44,693	26,107	4,350	1,191	6,061	1,558	254,804
III. 総括										
コストの部合計(総コスト)		698,510	196,358	228,338	142,246	98,719	16,274	48,232	12,732	1,441,407
収支差額		563,361	150,857	163,570	129,123	49,276	15,878	44,116	10,402	1,126,581
(参考)										
指定管理者委託料		242,177	116,656	102,021	113,984	0	0	38,389	8,949	622,176

- 施設別の総コストは、恭慶館の1,273万円～文化センターの6億9,851万円となっている。
- 市民会館3施設の総コストは、1億4,225万円～2億2,834万円となっている。

図表17 施設別総コスト



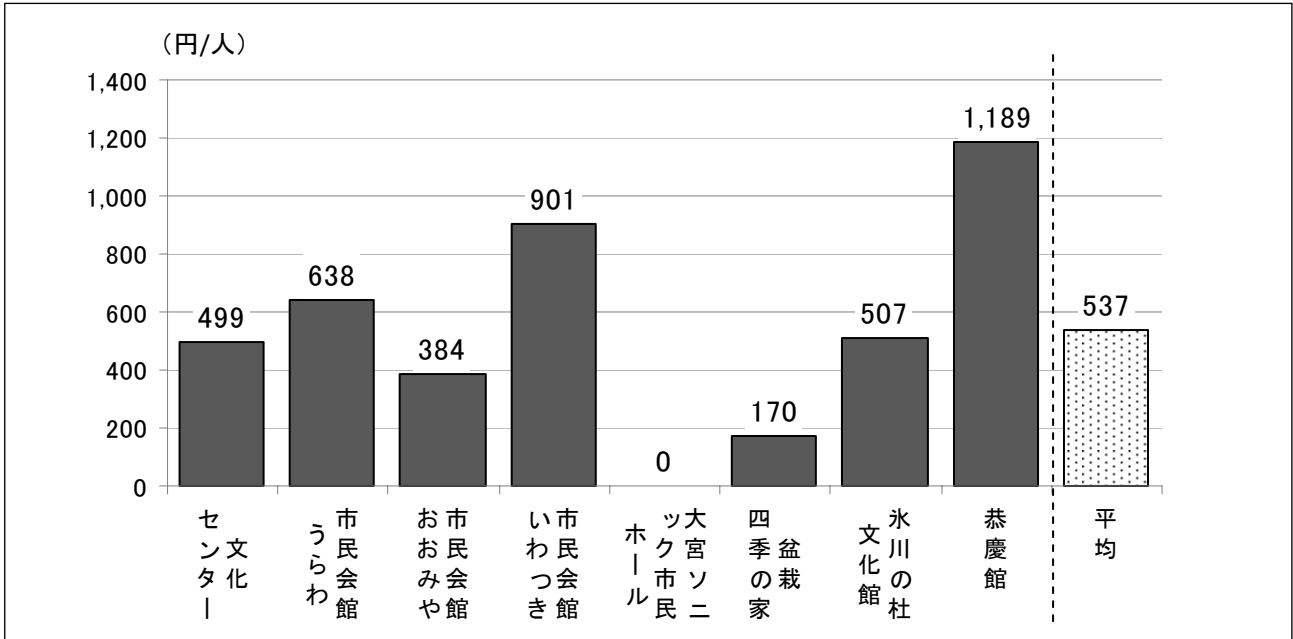
図表 施設別総コスト (構成比)



② 利用当たり総コスト／床面積当たり総コスト

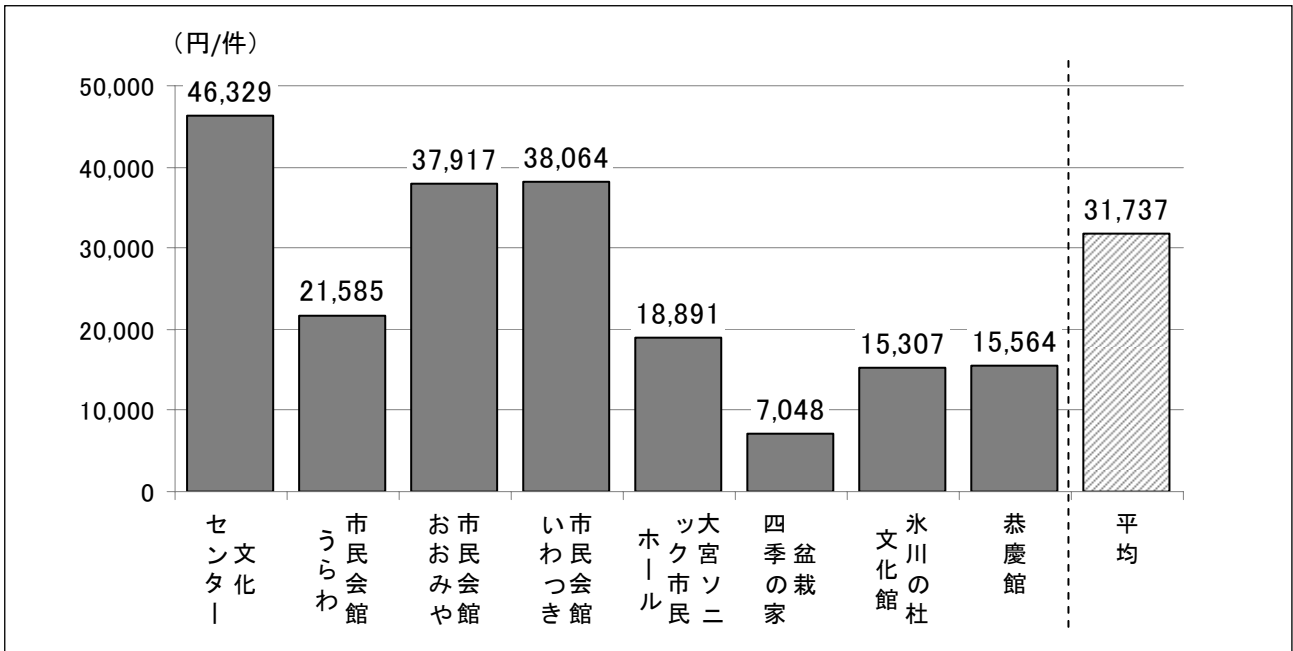
- 市民文化施設の利用1人当たり総コストは、平均537円である。
- 市民文化施設の利用1件当たり総コストは、平均3万1,737円である。

図表18 利用1人当たり総コスト



※「工事請負費、建設設計等委託、公有財産・備品購入費」については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。更に、盆栽四季の家からはH22のみ実施する大規模修繕9,797千円を差し引いている。
 ※ 大宮ソニック市民ホールの年間利用者数は把握を行っておらず、平均は大宮ソニック市民ホールを除いた値とした。

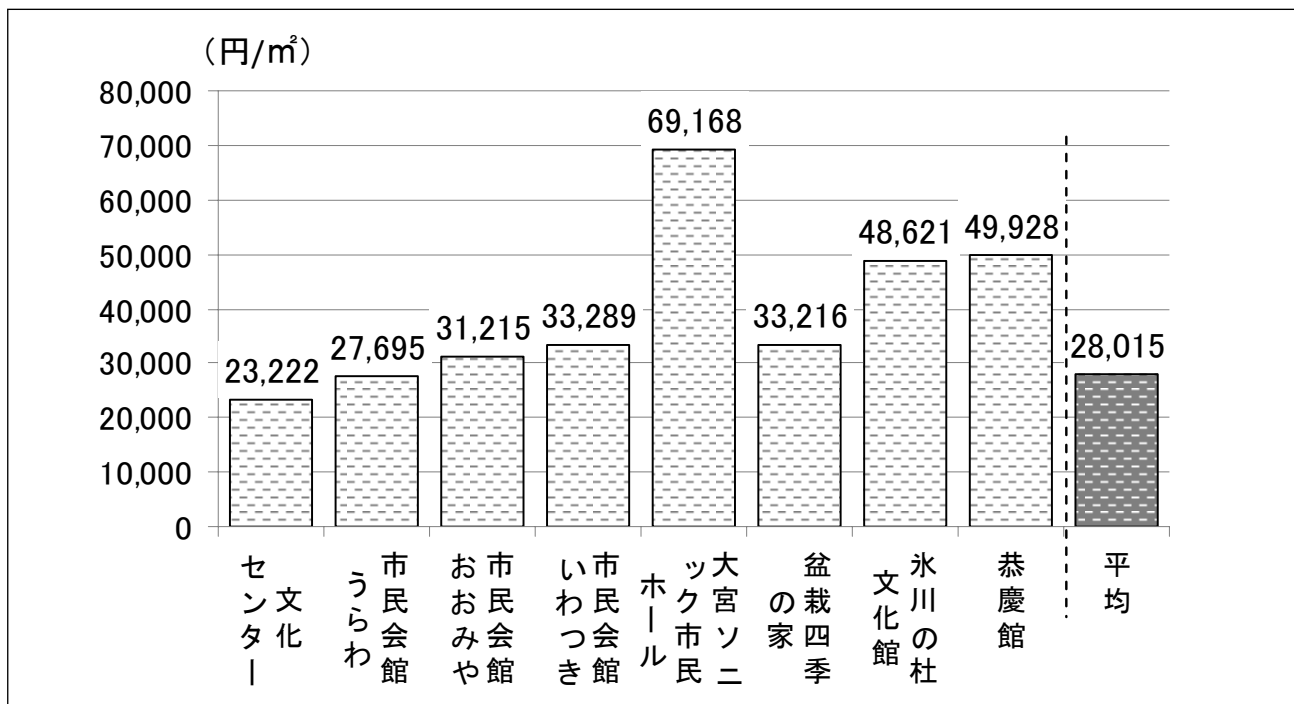
図表19 利用1件当たり総コスト



※「工事請負費、建設設計等委託、公有財産・備品購入費」については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。更に、大宮ソニック市民ホールからは、ソニックリニューアル工事負担金48,909千円を、盆栽四季の家からはH22のみ実施する大規模修繕9,797千円を差し引いている。

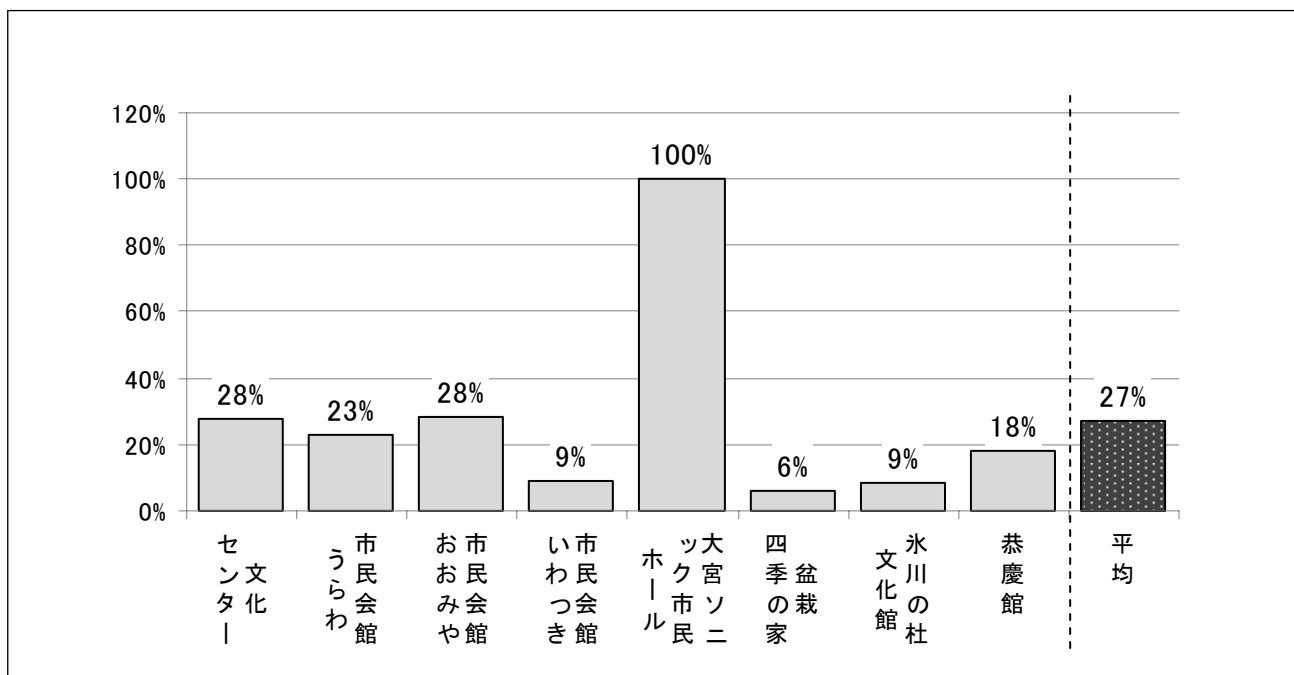
- 市民文化施設の床面積1㎡当たり総コストは、平均2万8,015円である。
- 市民文化施設の総コストに占める使用料等収入の割合は、平均27%である。

図表20 床面積当たり総コスト



※「工事請負費、建設設計等委託、公有財産・備品購入費」については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。更に、大宮ソニック市民ホールからは、ソニックリニューアル工事負担金48,909千円を、四季盆栽の家からはH22のみ実施する大規模修繕9,797千円を差し引いている。

図表21 総コストに占める使用料等収入の割合

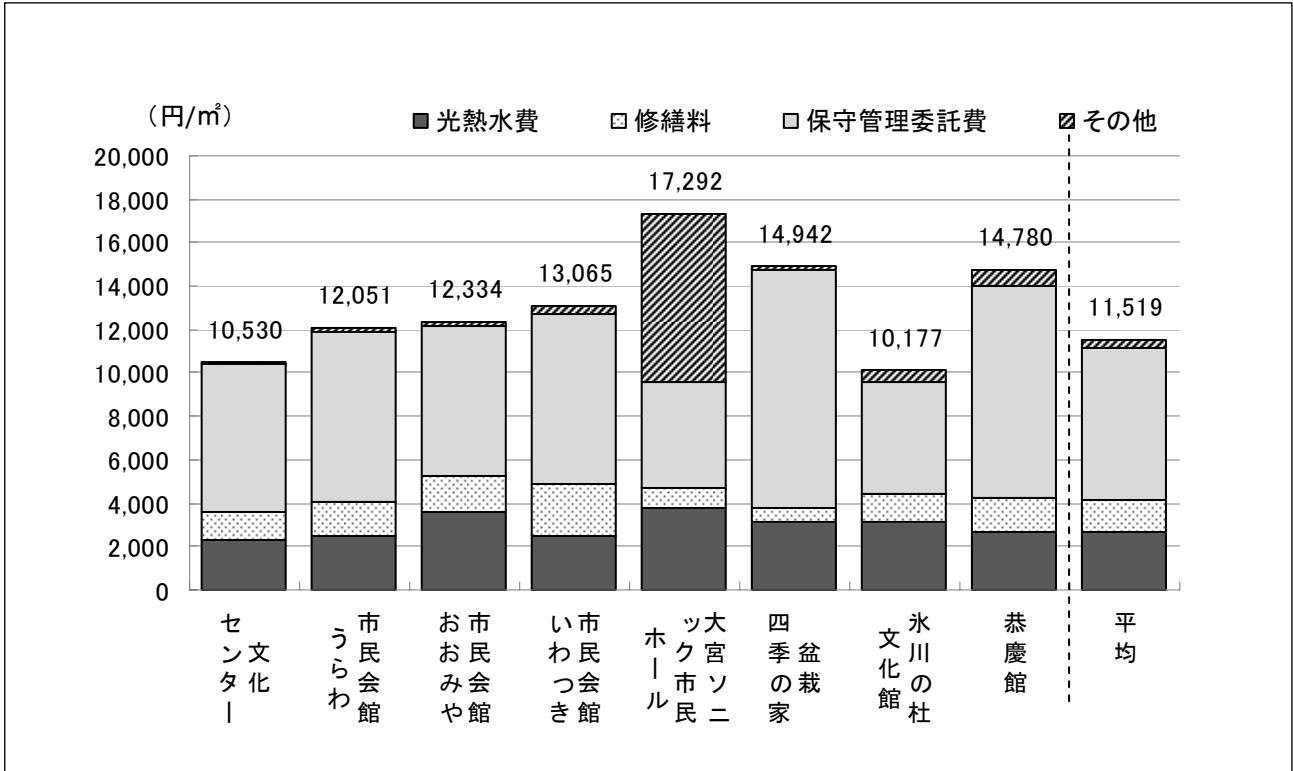


※「工事請負費、建設設計等委託、公有財産・備品購入費」については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。更に、大宮ソニック市民ホールからは、ソニックリニューアル工事負担金48,909千円を、四季盆栽の家からはH22のみ実施する大規模修繕9,797千円を差し引いている。

③ 維持管理

- 維持管理経費として、光熱水費・修繕費・保守管理委託費・その他を把握した。
- 市民文化施設の床面積1㎡当たり維持管理費は、平均1万1,519円である。

図表22 床面積1㎡当たり維持管理費状況

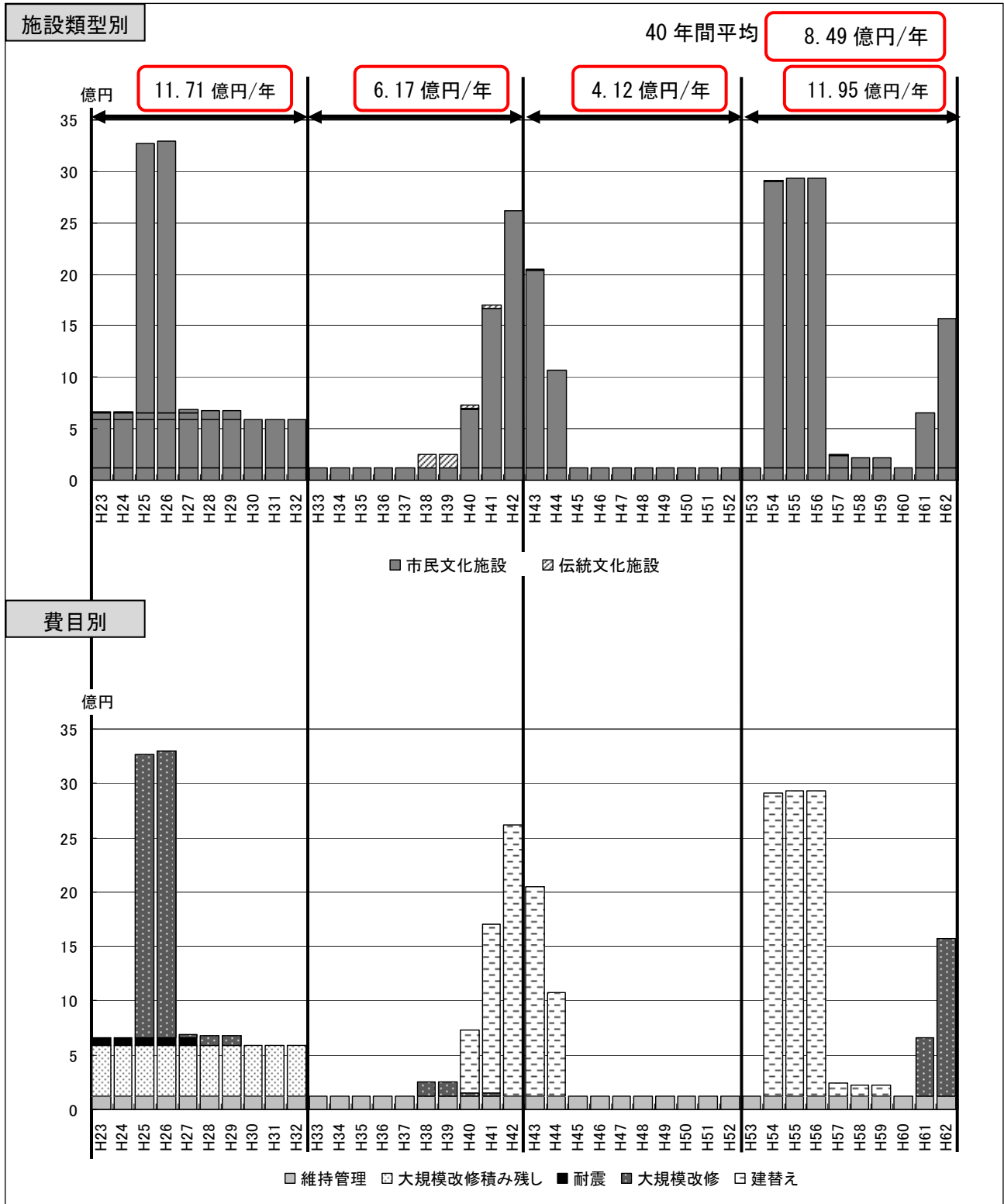


※「工事請負費、建設設計等委託、公有財産・備品購入費」については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。更に、大宮ソニック市民ホールからは、ソニックリニューアル工事負担金48,909千円を、盆栽四季の家からはH22のみ実施する大規模修繕9,797千円を差し引いている。

④ 今後の建替え・改修に係るコスト

- 今後必要なコストは、最初の10年間で年平均11.71億円、次の10年間で年平均6.17億円、次の10年間で年平均4.12億円、次の10年間で年平均11.95億円となる。40年間トータルの年平均コストは、8.49億円であり、現状の維持・更新コスト2.87億円の約3.0倍のコストが必要となる。

図表23 今後の建替え・改修に係るコスト



施設類型	施設分類	施設数
市民文化施設	【大分類】 市民利用施設 【中分類】 市民文化・社会教育系施設 【小分類】 市民文化施設	8施設

評価軸	評価内容	評価データ・評価の着眼点	評価基準		
			A	B	C
① 施設状況	計画との整合	配置計画・整備計画との整合	計画どおりの整備	ほぼ計画どおりの整備	計画より遅れている又は計画はない
	機能規模・機能バランス	施設類型別の機能別平均延床面積との比較	各機能とも概ね平均延床面積にある	平均延床面積を上回る機能がいくつかある	平均延床面積を上回る機能が多い
	施設の数	—	—	—	—
	施設の規模	人口1人当たりの延床面積	他市平均の90%未満	他市平均の90%～110%	他市平均の110%より大きい
	効率的な施設の活用	施設の複合化状況	30%以上の施設が複合化されている	30%未満の施設が複合化されている	複合化された施設はない
② 建物状況	老朽化状況	築年別の建物の延床面積の割合	過半が20年未満の建物である	過半が20年以上の建物である	過半が30年以上の建物である
	アスベスト対策	対応状況	対策済み	対策中	未対応
	バリアフリー化	基準適合義務の対応状況	対応済み	未対応施設が30%以下	30%を超える施設で未対応
	環境負荷低減	自然エネルギー・太陽光発電、屋上・壁面緑化、その他の環境対応設備の導入状況	導入済み	未導入施設が30%以下	30%を超える施設で未導入
③ 利用状況	利用の推移	利用者数、利用件数の推移	増加	横ばい	減少
	稼働率・定員充足率等	稼働率	60%を上回る	40～60%程度	40%を下回る 80%を上回る
④ 運営状況	運営方式	指定管理者制度等の導入状況	全て導入済み	50%以上の施設で導入済み	導入施設が50%未満
	運営時間	夜間・土日の運営体制	全ての施設で夜間・土日も開館している	一部の施設で夜間・土日も開館している	全ての施設で夜間・土日も開館していない
	利用単位当たりの総コスト	利用1人当たり、利用1件当たりのコストのバラツキ	施設間に差が無い	平均より20%以上のバラツキがある	平均より50%以上のバラツキがある
	面積当たりの総コスト	延床1㎡当たりのコストのバラツキ	施設間に差が無い	平均より20%以上のバラツキがある	平均より50%以上のバラツキがある
	収入の割合	総コストに占める使用料等収入の割合	20%を上回る	20%～5%	5%未満
⑤ 防災状況	耐震性	新耐震基準・耐震対策済みの建物の状況	適合	対策中	対策が必要
	地域防災計画での位置付け	避難場所等としての位置付け	80%以上の施設で位置付けがある	50%以上の施設で位置付けがある	位置付けがある施設が50%未満
	避難場所としての機能	必要な機能の整備状況	80%以上の施設でいずれかの付加機能がある	50%以上の施設でいずれかの付加機能がある	いずれかの付加機能がある施設が50%未満
	耐風水害性	ハザードマップ上の位置	80%以上の施設で浸水深0m	50%以上の施設で浸水深0m	浸水深0mの施設が50%未満
⑥ コスト状況	維持管理	維持管理のベンチマーク（市民利用施設、行政施設全体の平均との比較。光熱水費、修繕費、保守管理委託費、その他）	妥当（市平均を下回る）	一部改善・対応の必要がある（市平均の100%～130%）	改善・対応の必要がある（市平均の130%以上）
	今後、建替え、改修に係るコスト	年当たり将来コストと現状との比較	現状の1.2倍未満	現状の2倍未満	現状の2倍以上

※A:個別評価でAが過半、C:個別評価でCが過半、B:それ以外

合計延床面積
41,704㎡ (@5,213㎡)

評価内容	総合評価	評価結果
配置計画又は整備計画はない。	B	
市民文化施設はいずれも会議室系施設を複数4～12室有しており、延床面積も300㎡～700㎡と、盆栽四季の家や伝統文化施設を除き大きな差は無い。一方、ホールについては市民会館うらわの634㎡～文化センター3,620㎡と施設により規模に差があり、文化センターはホールを2つ有している。		
—	B	<p>総合評価コメント</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設の充足、配置状況 <ul style="list-style-type: none"> ホール機能(市民文化施設は舞台+固定椅子、伝統文化施設は平土間等)、会議室機能を備えた施設が多く、コミュニティ関連施設等の市の施設のホール等のほかに県有施設にもホール等が設置されている。 人口1人当たりの延床面積については、他の政令指定都市と比較すると平均を下回っているが、各施設の稼働率は19～63%であることから、施設が不足している状況にはない。 施設の改修・更新状況 <ul style="list-style-type: none"> 市民会館の3施設はいずれも築40年以上を経過しており、今後老朽化対策が必要となる。その他の市民文化施設の3施設も築20年以上が経過しており、今後老朽化対策が必要となってくる。なお、伝統文化施設はいずれも築20年未満の施設である。 改修・更新にかかる将来コスト試算では、当初10年間のコストが現状の4.1倍、今後40年平均のコストが現状の3.0倍となることが予測される。 利用・運営状況 <ul style="list-style-type: none"> 利用者数、利用件数は横ばい傾向にある。 稼働率は平均で42%となっている。 盆栽四季の家は市直営であるが、その他の施設は指定管理者制度を導入している。 利用単位当りのコストにおける施設間の差については、利用1人当たりのコストでは平均値に対して最大2.2倍と大きく、利用1件当たりのコストでは平均値に対して最大0.2倍と小さい。 防災対応 <ul style="list-style-type: none"> 2施設が避難場所に指定されているが、ほとんどの施設で避難場所としての機能を担える可能性がある。
人口1人当たりの延床面積は、政令市平均が0.056㎡であるのに対し、0.034㎡と小さい(61%)。		
文化センターは図書館と複合化。その他は単独施設(13%)。	B	
築40年以上が3施設(18,678㎡)、築20年以上が3施設(21,779㎡)、築20年未満が2施設(1,247㎡)と築20年以上が97%を占め、老朽化した施設が多い。		
全施設とも実施済み。	B	
対応済みの施設は4施設で、残り4施設は2～3項目が未対応(50%)。		
全ての施設でほとんどの項目について未対応(100%)。	B	
利用者数は、大宮ソニックシティを除く7施設で年間約220万人であり、増加傾向にある。		
利用件数は、利用者は8施設で年間37千件であり、横ばいである。	B	
8施設平均42%。市民会館いわつき、恭慶館を除き、40～60%程度となっている。		
盆栽四季の家を除き、指定管理者制度(利用料金制)が導入済み(88%)。	B	
いずれの施設も夜間・土日も開館しており、夜間は21:00もしくは21:30となっている。		
利用1人当たりでは、8施設平均537円に対し、恭慶館が1,189円(2.21倍)、市民会館おのみや384円(0.72倍)と差がある(72%～221%)。	B	
利用1件当たりでは、8施設平均31,737円に対し、文化センターが46,329円(1.46倍)、盆栽四季の家7,048円(0.22倍)と差がある(22%～146%)。		
8施設平均29,652円に対し、大宮ソニック市民ホールが137,860円(4.65倍)、文化センター23,222円(0.78倍)と差がある(78%～465%)。	B	
収入の割合は平均25%。市民会館いわつき9%、氷川の杜文化館は9%、盆栽四季の家2%と低い。		
市民会館3施設については、旧耐震基準の建物であり、耐震診断を実施していない施設が1施設、耐震改修工事を行っていない施設が2施設である。	B	
文化センターと市民会館いわつきが避難所として指定されている(25%)。		
避難所となっている2施設については、簡易トイレ、調理設備、代替電源、冷暖房設備は整備されている。それ以外の施設については冷暖房設備等がある(100%)。	C	
全ての施設で浸水深0m(100%)。		
延床1㎡当たりの維持管理コストは11,519円で、全体平均の133%となっている。	C	
年当たりの将来コストを今後40年でみると、10年目までが11.71億円(4.1倍)、20年目までが6.17億円(2.1倍)、30年目までが4.12億円(1.4倍)、40年目までが11.95億円(4.2倍)となっている。		
現状の1.4倍～4.2倍となる。初めの10年は耐震補強及び大規模修繕、それ以降は大規模修繕及び建替えにコストを要する。	C	

図書館等

(1) 施設状況

① 概要

- 本市では、図書館を、中央図書館（Ⅰ類館）、拠点図書館（Ⅱ類館）、地区図書館（Ⅲ類館）及び分館の4層構造として整備している。
- 中央図書館1館、拠点図書館10館、地区図書館9館及び分館3館で合計23館、延床面積は3万5,091㎡である。
- 図書館23館のうち17館は複合施設となっている。複合施設の中でも、図書館＋コミュニティセンター又はプラザ（地域中核施設）が12館、図書館＋公民館が3館で合計15館であり、平成になってから新設された図書館は、春野図書館を除いて全てこのパターンの複合施設である。
- 北図書館には、視聴覚ライブラリーを併設しており、視聴覚教育に関する資料を収集、奨励し、教材及び機材の貸し出しを行う。

運営方針：1. 生涯学習を支援する図書館をめざします。
図書館法精神により、生涯にわたる市民の学習、課題解決及び様々な知的好奇心にこたえます。また学校教育の支援や、子育て支援の向上につながるサービスや、バリアフリーサービス等を行い、あらゆる市民の学習活動を支援します。

2. 生活に役立つ図書館をめざします。
市民からの多様化、高度化している幅広い要望に対応するため、情報発信の拠点として、資料や情報を計画的、積極的に収集し、提供します。

3. 市民とともに歩む図書館をめざします。
大学図書館等館種の異なる図書館も含め図書館相互の連携・協力を推進します。また、読書関係団体、他の行政機関・民間団体等、ボランティア活動を行う個人・団体と協働して、地域に密着したきめ細やかなサービスを提供します。

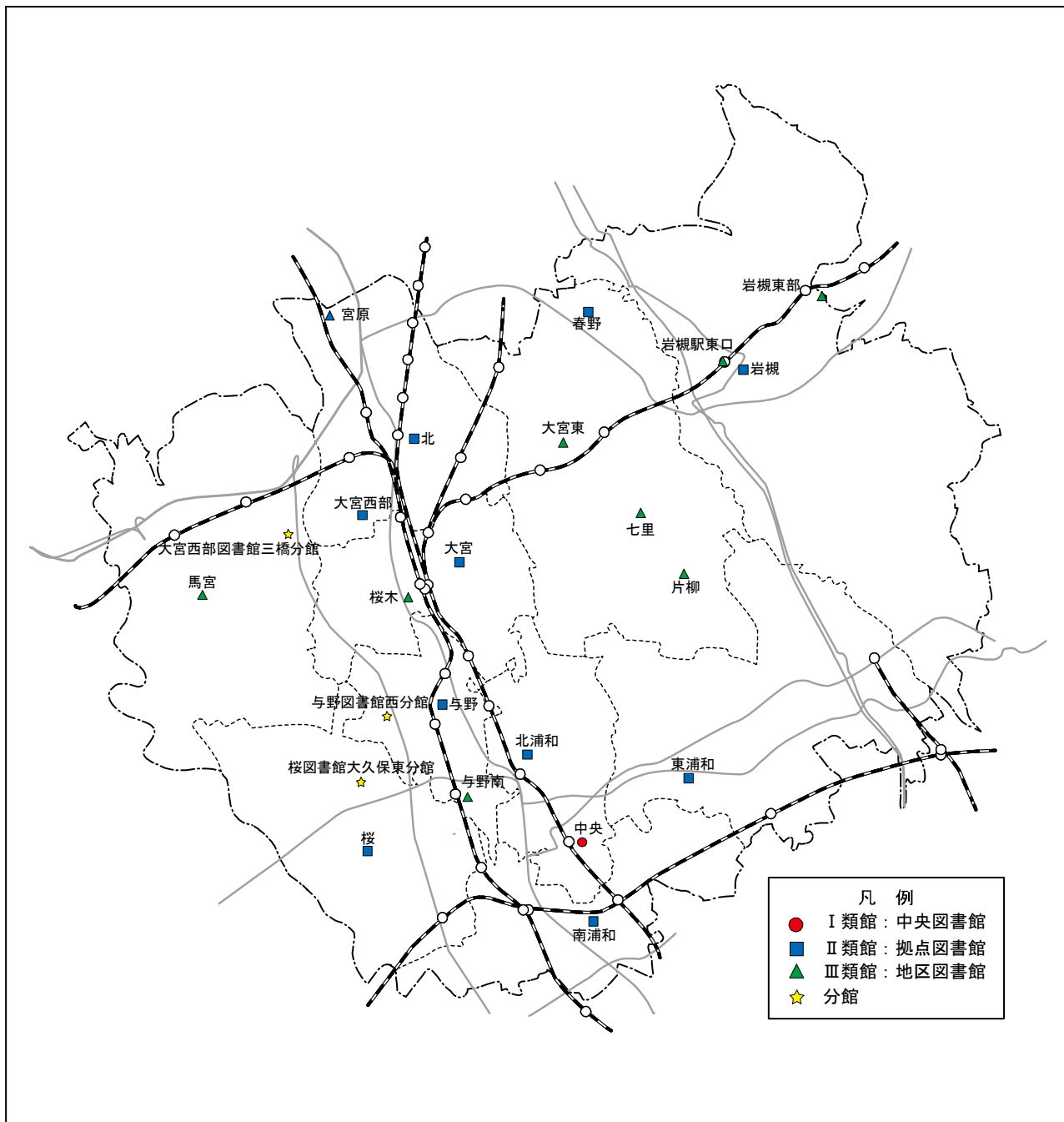
4. 誰もが安心して使える図書館をめざします。
「公共施設適正化配置方針」に基づき、市民のだれもが“いつでも、どこでも、”気軽に安全に利用できるよう、さいたま市図書館全域のサービス網の整備と、施設の整備に努めます。

図表1 施設一覧

行政区	施設名	分類	延床面積 (㎡)	建築年	開設年	併設機能
西区	馬宮図書館	Ⅲ類館	537	H14	H14	馬宮コミュニティセンター、馬宮荘、馬宮児童センター、馬宮放課後児童クラブ
	大宮西部図書館三橋分館	分館	227	H1	H12	西部文化センター
北区	大宮西部図書館	Ⅱ類館	3,511	S60	S62	
	北図書館・視聴覚ライブラリー	Ⅱ類館	2,114	H17	H20	北区役所、プラザノース
	宮原図書館	Ⅲ類館	504	H11	H12	宮原コミュニティセンター
大宮区	大宮図書館	Ⅱ類館	3,521	S46	S48	
	桜木図書館	Ⅲ類館	570	H16	H16	生涯学習総合センター、桜木公民館、男女共同参画推進センター
見沼区	春野図書館	Ⅱ類館	1,135	H9	H10	
	大宮東図書館	Ⅲ類館	501	H2	H4	職員研修センター
	七里図書館	Ⅲ類館	365	H12	H12	七里コミュニティセンター
	片柳図書館	Ⅲ類館	586	H17	H18	片柳コミュニティセンター
中央区	与野図書館	Ⅱ類館	2,487	S55	S56	
	与野南図書館	Ⅲ類館	755	S60	S61	
	与野図書館西分館	分館	537	H3	H4	西与野コミュニティホール
桜区	桜図書館	Ⅱ類館	2,976	H15	H17	桜区役所、プラザウエスト、記念総合体育館
	桜図書館大久保東分館	分館	305	H16	H19	大久保東公民館、大久保東児童センター
浦和区	中央図書館	Ⅰ類館	5,820	H17	H19	浦和コミュニティセンター、市民活動サポートセンター、国際交流センター、浦和消費生活センター
	北浦和図書館	Ⅱ類館	3,082	S47	S49	
南区	南浦和図書館	Ⅱ類館	1,315	S58	S60	文化センター
緑区	東浦和図書館	Ⅱ類館	2,206	H7	H9	プラザイースト
岩槻区	岩槻図書館	Ⅱ類館	1,020	S52	S53	岩槻本町公民館
	岩槻駅東口図書館	Ⅲ類館	594	H8	H8	岩槻駅市民の窓口、岩槻駅東口コミュニティセンター
	岩槻東部図書館	Ⅲ類館	423	H8	H10	東岩槻支所、ふれあいプラザいわつき、老人憩いの家ふれあいプラザ

※ 建築年とは、建築着工年のことをいい、一番古い棟の年を記載している。

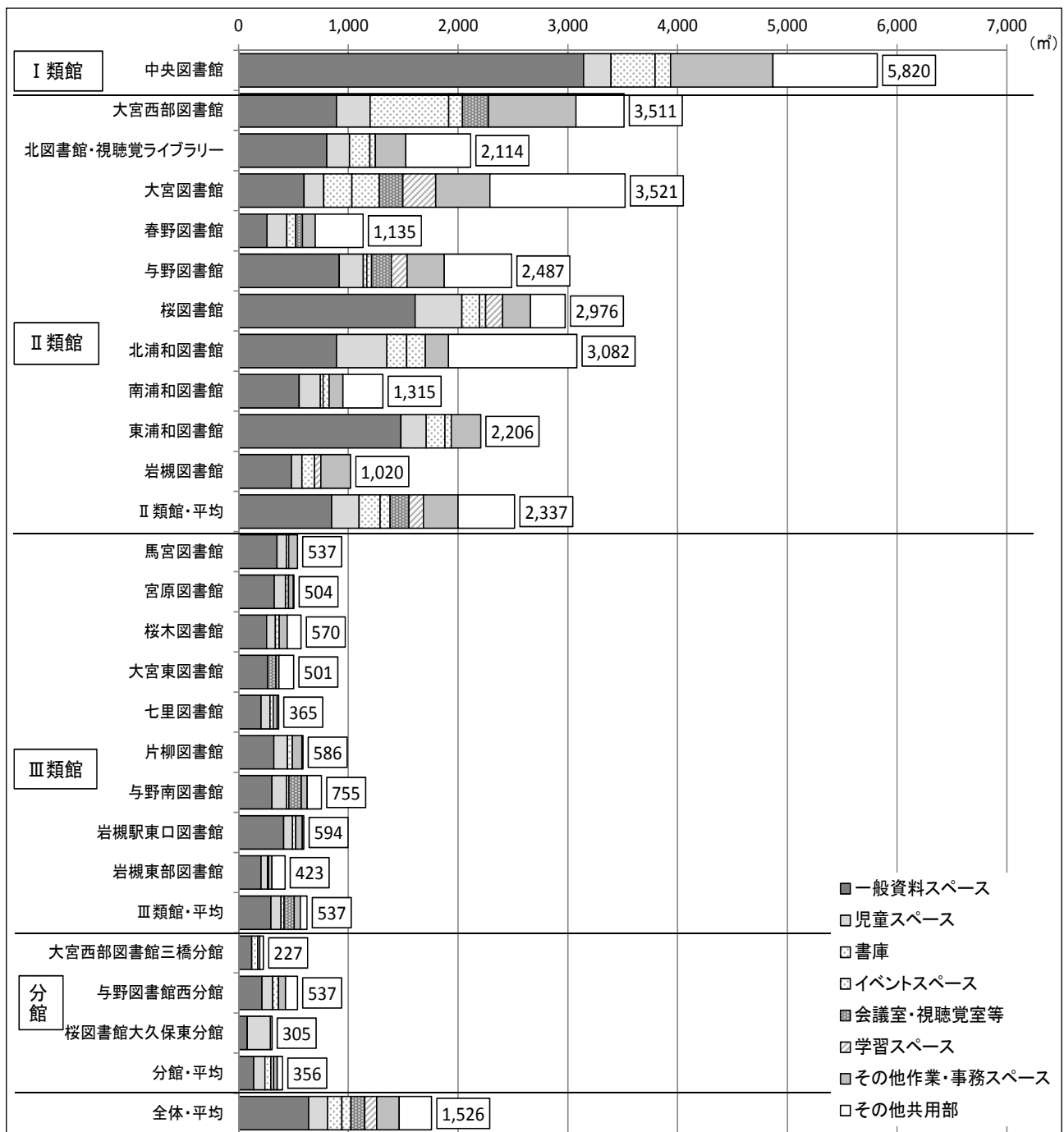
图表2 图书馆等位置图



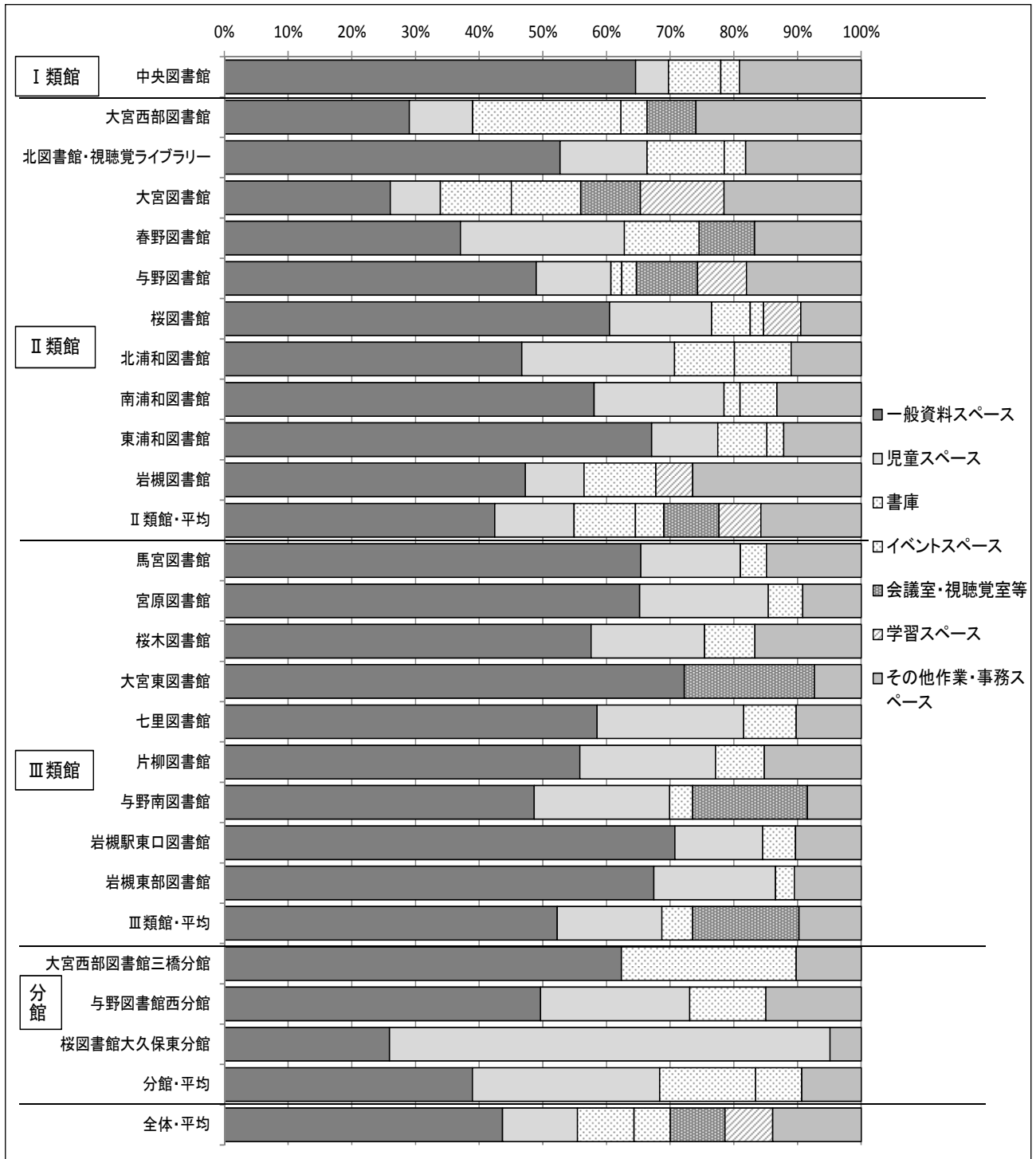
② スペース構成

- 図書館の規模（延床面積）は、227㎡（三橋分館）～5,820㎡（中央図書館）である。資料スペース（「一般資料スペース」、「児童スペース」）や書庫だけでなく、イベントスペース、会議室、視聴覚ホール等を有している図書館もある。
- 分類ごとに図書館の延床面積をみると、Ⅰ類館は 5,820㎡、Ⅱ類館は 1,020㎡～3,521㎡、Ⅲ類館は 365㎡～755㎡、分館は 227㎡～537㎡となっている。
- 施設全体の規模が大きくなるに従い、資料スペースの面積が大きくなるだけでなく、イベント室、会議室等の催事や集会を目的とした利用に供する諸室が備わっている。

図表3 各施設別のスペース構成



図表4 各施設別のスペース構成比

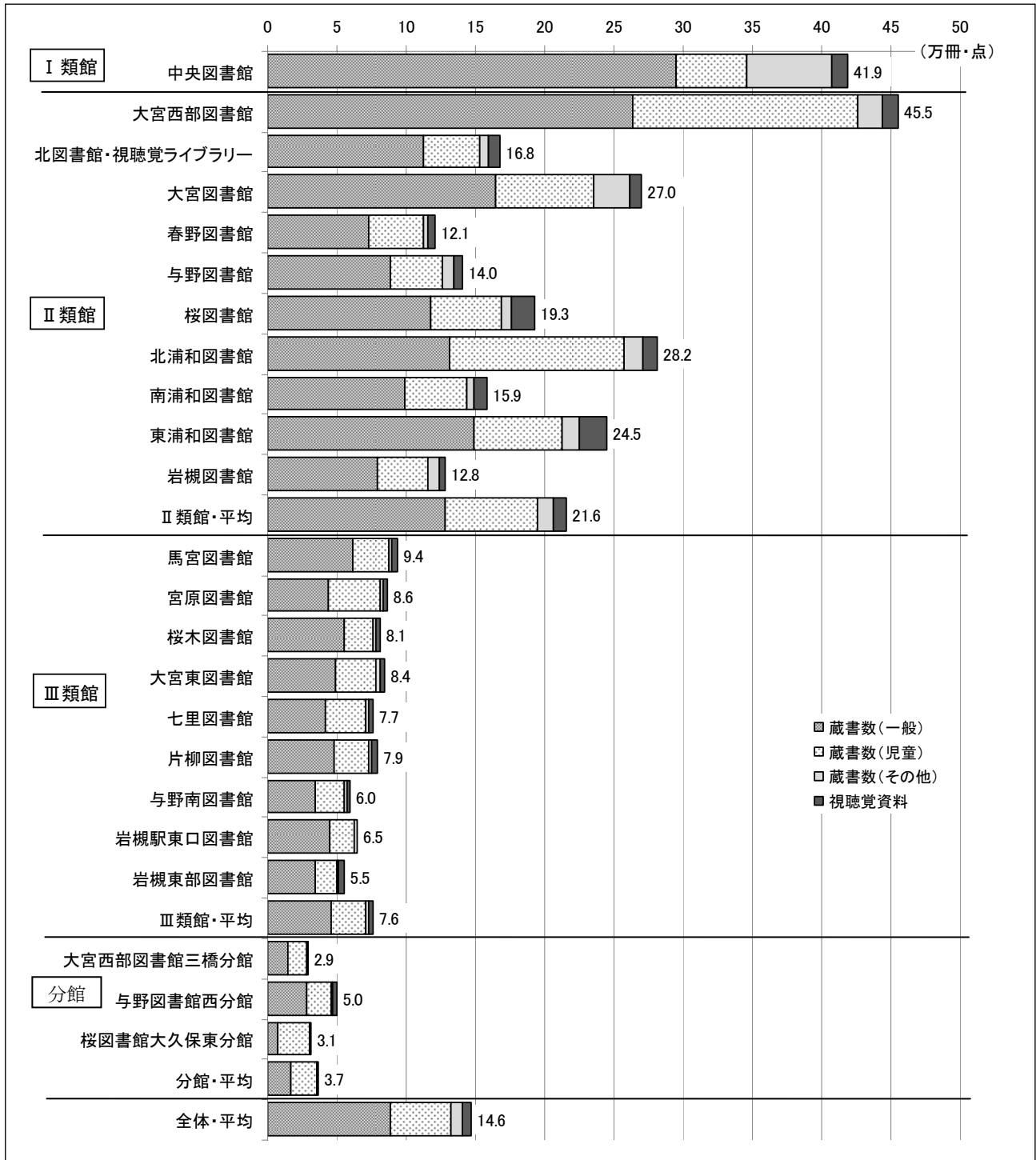


※倉庫、機械室、通路等の共用スペースを除く。

③ 蔵書数

- 図書館 23 館の蔵書数は、336 万 9,495 点である。その内訳は、図書資料が 323 万 536 点、視聴覚資料が 13 万 8,959 点となっている。
- 分類別では、Ⅰ類館は約 41.9 万点、Ⅱ類館は 1 館当たり平均で約 21.6 万点、Ⅲ類館は 1 館当たり平均で約 7.6 万点、分館は 1 館当たり平均で約 3.7 万点の蔵書を有している。

図表5 蔵書数



④ 政令市比較

- 人口1人当りの延床面積は、政令市平均が0.021 m²であるのに対し、0.029 m²と大きい。

図表6 政令市比較

	延床面積 (m ²)	人口1人当 り延床面積 (m ² /人)
A市	19,549	0.019
B市	31,690	0.034
C市	9,942	0.007
D市	9,098	0.011
E市	32,063	0.038
F市	20,612	0.018
G市	17,384	0.018
さいたま市	35,091	0.029
平均	21,929	0.021

(資料) さいたま市「政令指定都市アンケート調査」

※上記調査は平成21年度(2009年度)に実施したため、さいたま市の延床面積は本白書のその他の部分の延床面積と一致しない。

※人口1人当り延床面積は、平成21年10月1日現在の人口を元に市で算出した計算値。

図表7 政令市比較(2)

	施設数(件)	人口百万人当 り施設数(件/人)	蔵書数 (冊)
札幌市	41	21.5	2,449,240
仙台市	7	6.8	1,768,515
千葉市	7	7.5	2,061,758
川崎市	12	8.7	1,917,207
横浜市	18	4.9	4,022,685
新潟市	18	22.2	1,677,732
静岡市	12	16.7	2,253,175
浜松市	22	26.7	2,246,771
名古屋市	21	9.3	3,075,527
京都市	20	13.6	1,838,438
大阪市	24	9.0	3,615,501
堺市	12	14.3	1,792,423
神戸市	11	7.2	1,842,629
岡山市	10	14.2	1,526,972
広島市	13	11.2	2,103,408
北九州市	17	17.4	1,674,395
福岡市	10	7.2	1,829,161
さいたま市	23	18.8	3,267,076
平均	17	13.2	2,275,701

(資料) 大都市統計協議会「大都市比較統計年表(平成21年)」

※上記資料は平成21年度(2009年度)のもののため、さいたま市の各数値は本白書のその他の部分の値と一致しない場合がある。

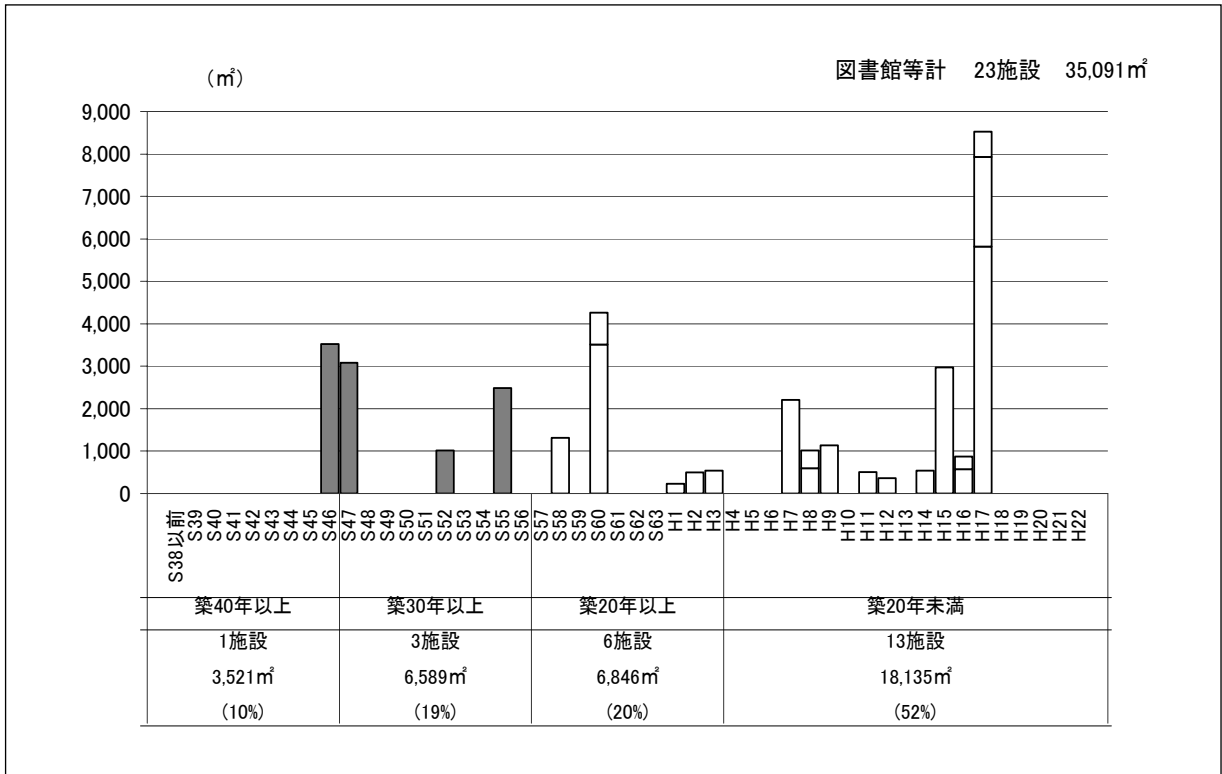
※人口百万人当り施設数は、平成21年10月1日現在の人口を元に市で算出した計算値。

(2) 建物状況

① 老朽化状況

- 大宮図書館は建築後 40 年以上、北浦和図書館、与野図書館、岩槻図書館の 3 施設は建築後 30 年以上を経過している。なお、老朽化状況については、築年数に加え、各施設ごとの劣化診断等も含めて判断することが必要となる。

図表8 築年別整備状況



② 機能改善（アスベスト）

- アスベスト対策については、全施設で対応が完了している。
- ただし、北浦和図書館では、アスベスト封じ込め対策を実施済であるが、耐震工事に伴い平成 23 年度（2011 年度）に除去工事を予定している

③ 機能改善（バリアフリー）

- バリアフリー等への対応状況は施設によって様々であるが、各施設で必要としている措置は概ね完了している。

④ 環境負荷低減

- 自然エネルギー・太陽光発電、屋上緑化・壁面緑化、その他環境対応設備については、全般的に導入が進んでいない。

図表9 建物状況

施設名	①老朽化		②機能改善	③機能改善(バリアフリー)						④環境負荷低減			⑤維持管理費(千円)		
	建築年	経過年数	機能改善(アスペスト対策)	車いす用エレベータ	身障者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	自然エネルギー・太陽光発電	屋上緑化・壁面緑化	環境対応設備	光熱水費	修繕料	建物管理委託料
中央図書館	H17	6	●	●	●	-	●	-	●	●	●	20,985	440	11,161	
大宮西部図書館	S60	26	●	●	●	●	●	×	●	×	×	7,198	1,958	22,285	
北図書館・視聴覚ライブラリー	H17	6	●	-	●	-	●	-	×	●	●	1,907	824	92,100	
大宮図書館	S46	40	●	●	●	●	●	●	×	×	×	11,207	3,178	20,315	
春野図書館	H9	14	●	●	●	●	●	●	×	×	×	2,995	1,808	10,328	
与野図書館	S55	31	●	●	●	●	●	●	×	×	×	6,153	317	8,390	
桜図書館	H15	8	●	●	●	-	●	●	●	×	×	8,210	95	15,949	
北浦和図書館	S47	39	▲	●	●	●	●	●	×	×	●	6,405	3,748	24,248	
南浦和図書館	S58	28	●	●	●	●	●	●	×	×	×	4,127	1,503	6,510	
東浦和図書館	H7	16	●	●	●	-	●	●	×	×	×	4,342	3,095	9,508	
岩槻図書館	S52	34	●	-	●	-	●	-	●	×	×	2,053	721	4,495	
馬宮図書館	H14	9	●	-	●	-	●	-	×	●	×	1,821	289	3,050	
宮原図書館	H11	12	●	-	-	-	-	-	●	×	●	1,349	140	2,171	
桜木図書館	H16	7	●	●	●	-	●	-	●	×	×	741	250	483	
大宮東図書館	H2	21	●	-	●	●	●	-	●	×	×	1,109	270	1,380	
七里図書館	H12	11	●	●	●	●	●	●	●	●	×	955	39	892	
片柳図書館	H17	6	●	●	●	●	●	●	●	●	▲	1,234	21	2,488	
与野南図書館	S60	26	●	-	●	●	●	●	×	×	×	2,056	81	1,323	
岩槻駅東口図書館	H8	15	●	●	●	-	●	●	●	×	×	2,766	218	1,509	
岩槻東部図書館	H8	15	●	-	●	×	●	●	●	×	×	270	86	2,437	
大宮西部図書館三橋分館	H1	22	●	●	-	●	●	●	●	▲	×	723	0	805	
与野図書館西分館	H3	20	●	●	●	●	●	●	×	×	×	1,557	129	1,142	
桜図書館大久保東分館	H16	7	●	-	●	●	●	-	●	×	×	747	172	559	

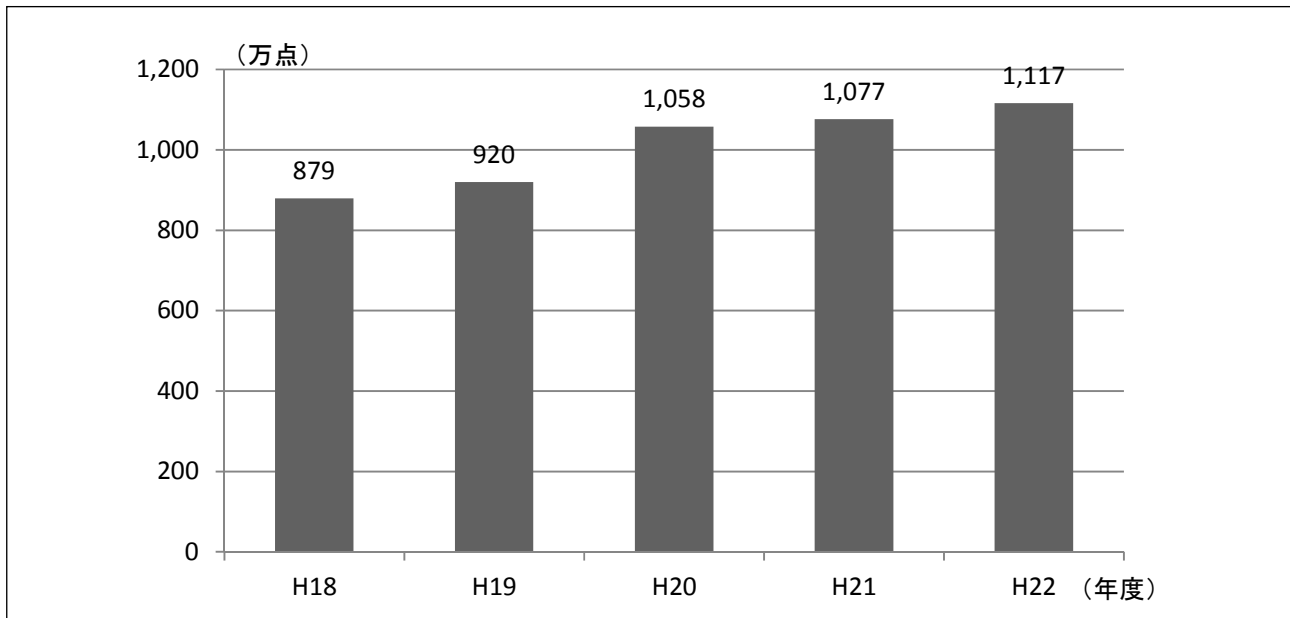
※ 「●…対応済」、「▲…対応中」、「-…対応不要」、「×…未対応」を表している。

(3) 利用状況

① 貸出点数の推移

- 貸出点数は、総施設数の増加に伴い、年々増加傾向にある。

図表10 貸出点数の推移（施設別）

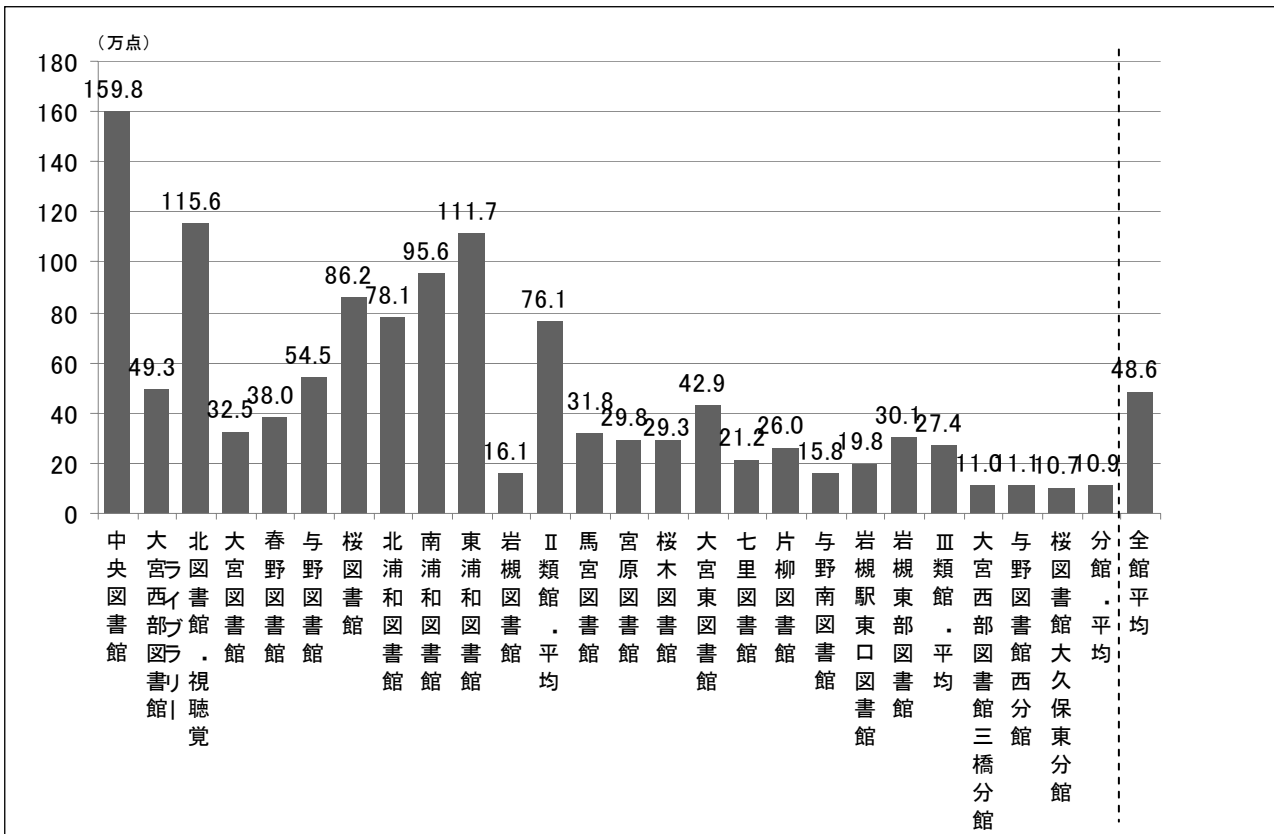


※ 平成18年（2006年）から平成20年（2008年）までの貸出点数には、移動図書館・配本所の数値を含む。

② 貸出点数及び貸出者数

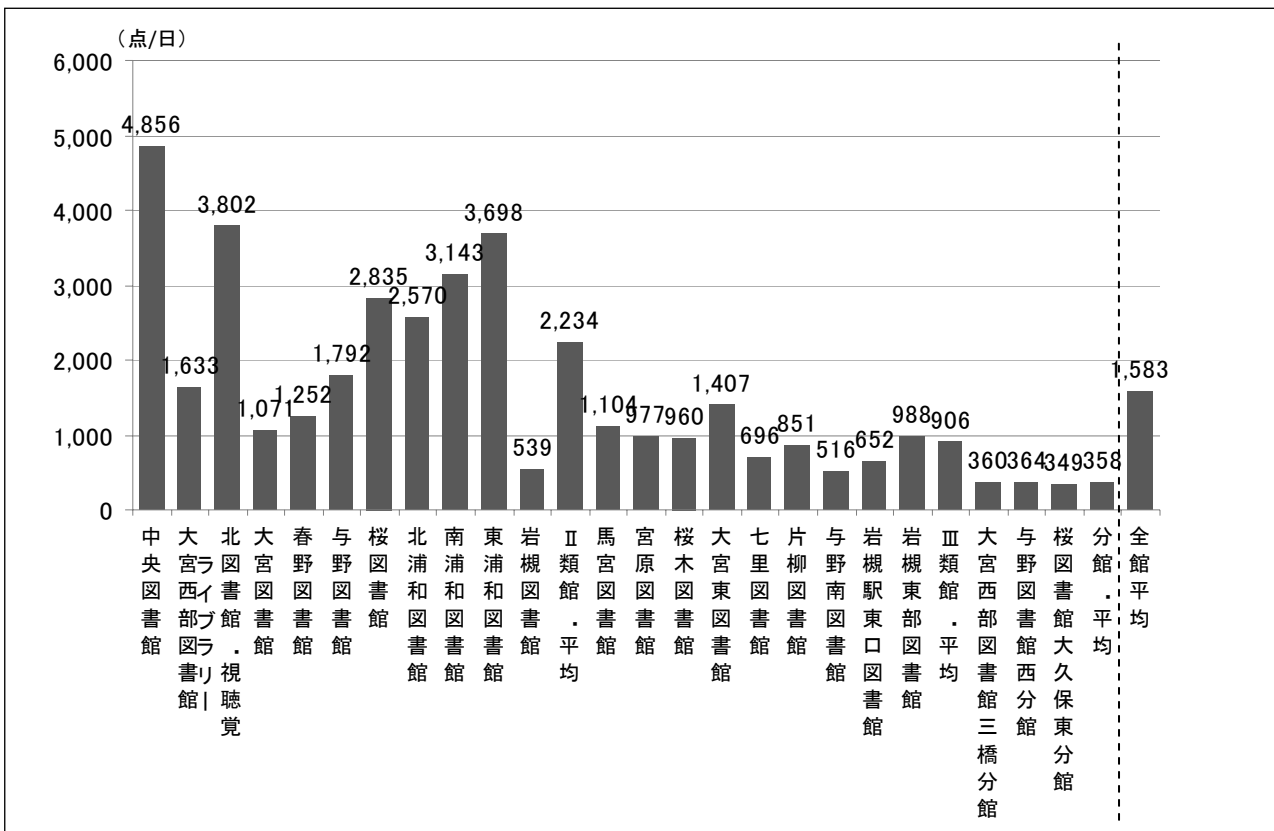
- 貸出点数は、市全体で年間約1,116万8,092点、市民1人当たり平均9.0点の利用となっている。
- 施設別では、Ⅰ類館が159.8万点、Ⅱ類館が平均67.8万点/館、Ⅲ類館が平均27.4万点/館、分館は平均10.9万点/館となっている。
- 貸出者数について、市全体で年間290万1,279人が利用しており、市民1人当たり年間に平均2.4回程度、図書館で資料を借りていることになる。また、1回当たりでは、平均3.8点の資料を借りていることになる。
- 施設別に貸出者数をみると、Ⅰ類館が50.6万人、Ⅱ類館は平均17.0万人/館、Ⅲ類館は平均6.8万人/館、分館は平均2.7万人/館となっている。
- 施設別に1日当たり貸出点数をみると、Ⅰ類館は4,856点/日、Ⅱ類館は平均で2,234点/日、Ⅲ類館は平均で906点/日、分館は平均で358点/日となっている。
- 施設別に1日当たり貸出者数をみると、Ⅰ類館は1,539人/日、Ⅱ類館は平均で562人/日、Ⅲ類館は平均で224人/日、分館は平均で88人/日となっている。

図表11 年間貸出点数（施設別）

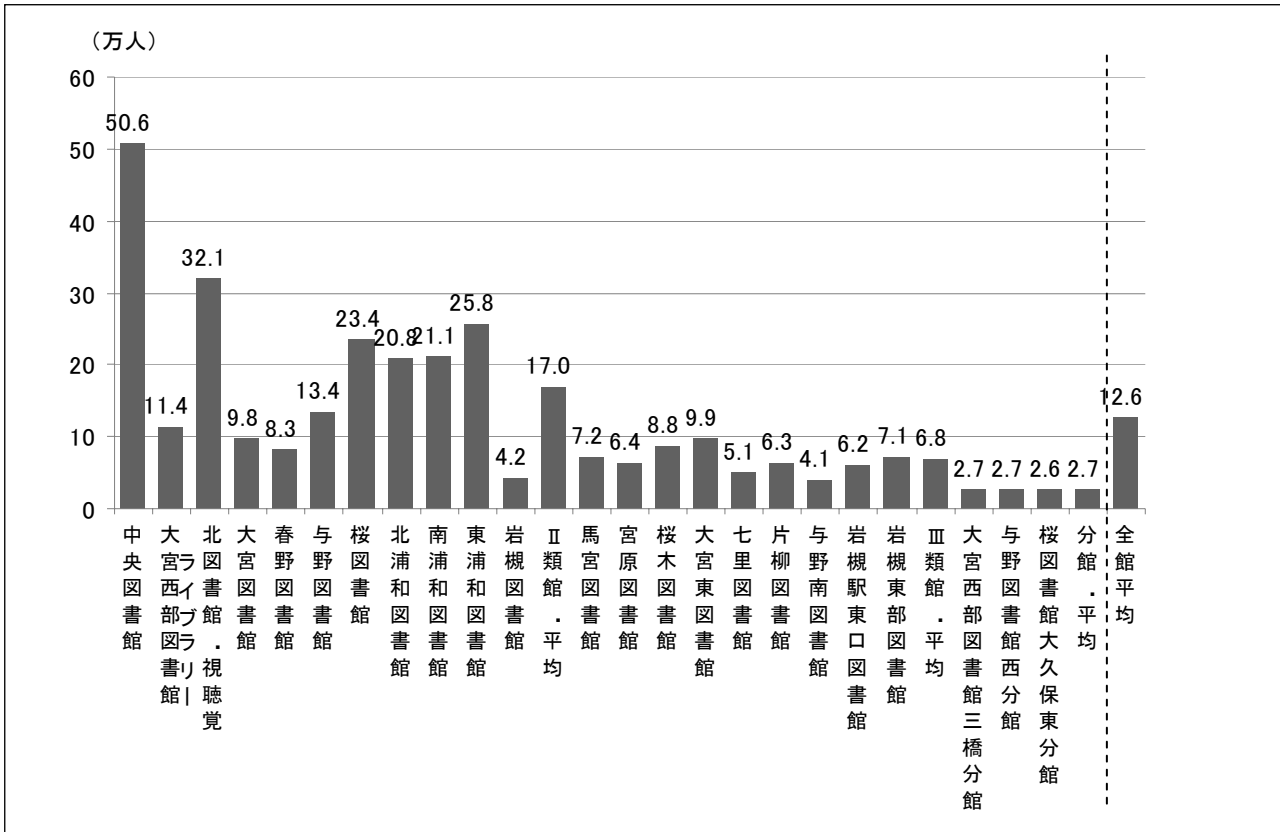


※ 視聴覚ライブラリーは、以下の図表において「視聴覚L」と略称することがある。

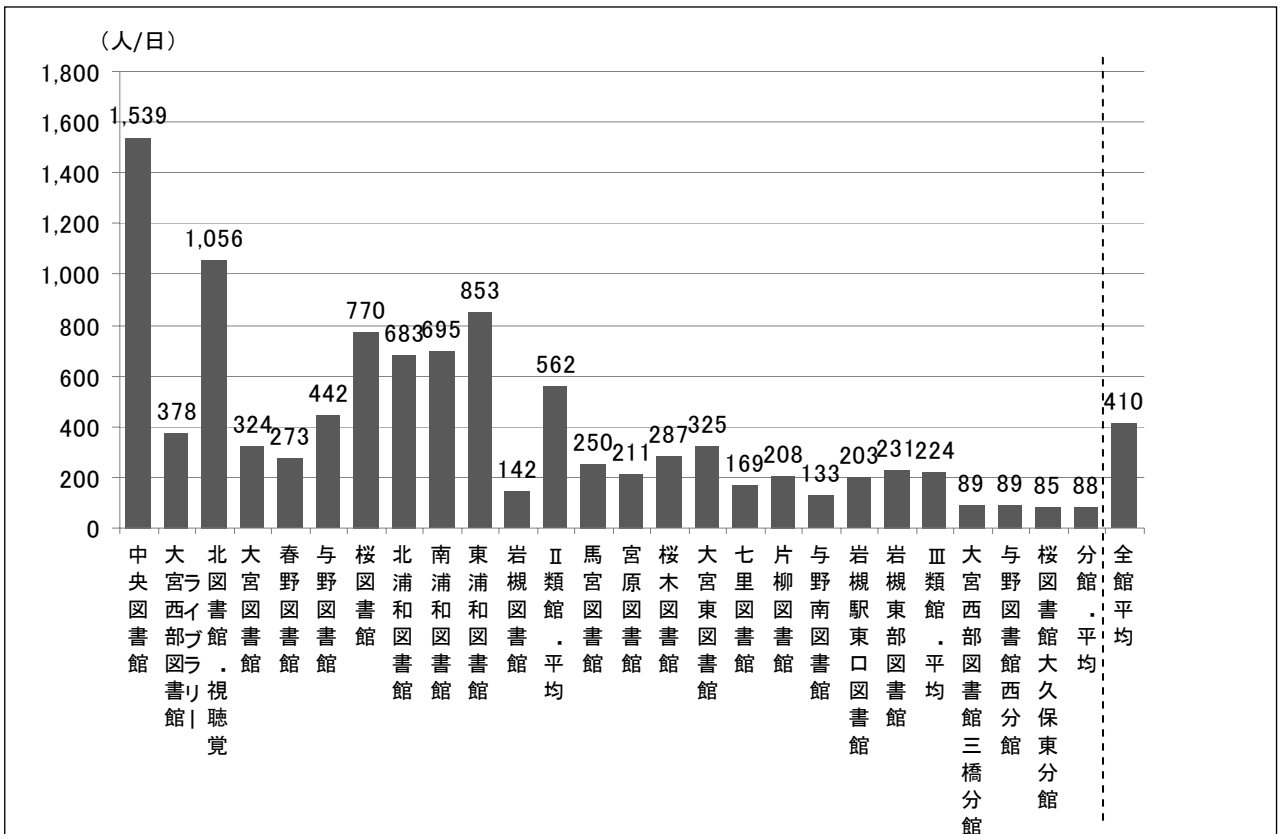
図表12 1日当たり貸出点数（施設別）



図表13 年間貸出者数（施設別）



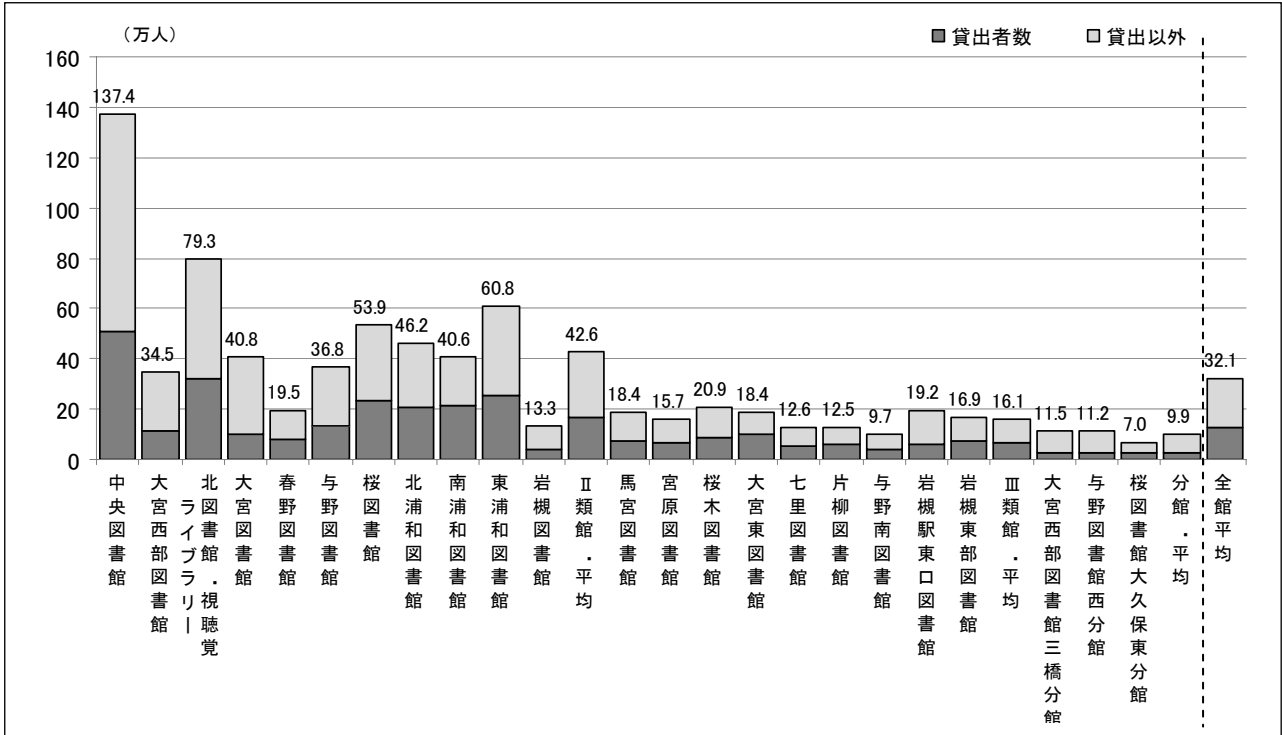
図表14 1日当たり貸出者数（施設別）



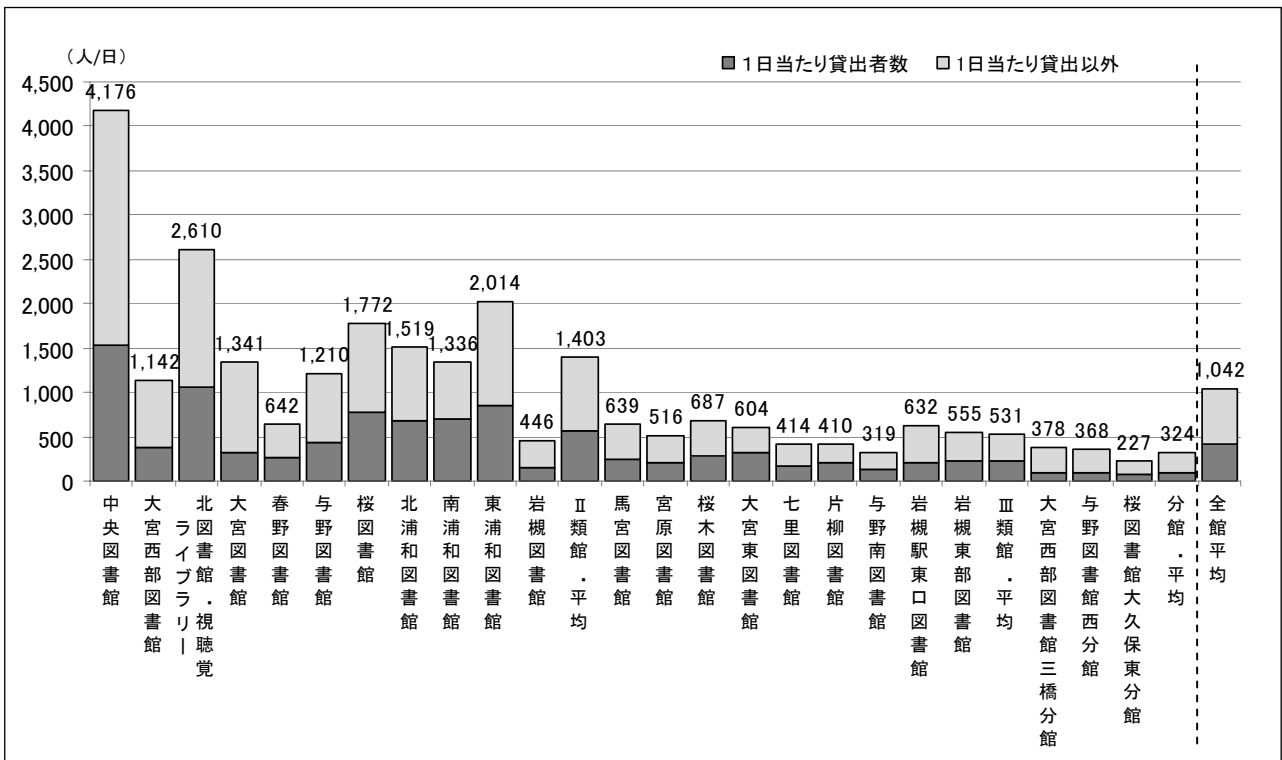
③ 入館者数と貸出以外での利用者数

- 入館者数をみると、Ⅰ類館は年間約 137.4 万人、Ⅱ類館は 1 館平均 42.6 万人、Ⅲ類館は 1 館平均 16.1 万人、分館は 1 館平均 9.9 万人である。
- 23 館全体でみた貸出以外での利用者数が入館者数に占める割合は約 61%である。
- 23 館のうちの 20 館で、貸出以外での利用者数が入館者数を上回っている。

図表15 入館者数と貸出以外での年間利用者数



図表16 入館者数と貸出以外での1日当たり利用者数



(4) 運営状況

① 運営方式

- 運営方式については、すべての施設において市直営となっている。

② 運営日数、運営時間

- 各施設とも年末年始が休館である他、基本的に月曜日（中央図書館は第1・3月曜日）が休館となっている。運営時間は類型ごとに異なるが、平日は9時～19・20・21時まで、土・日・祝日は9時～17・18時までとなっている。

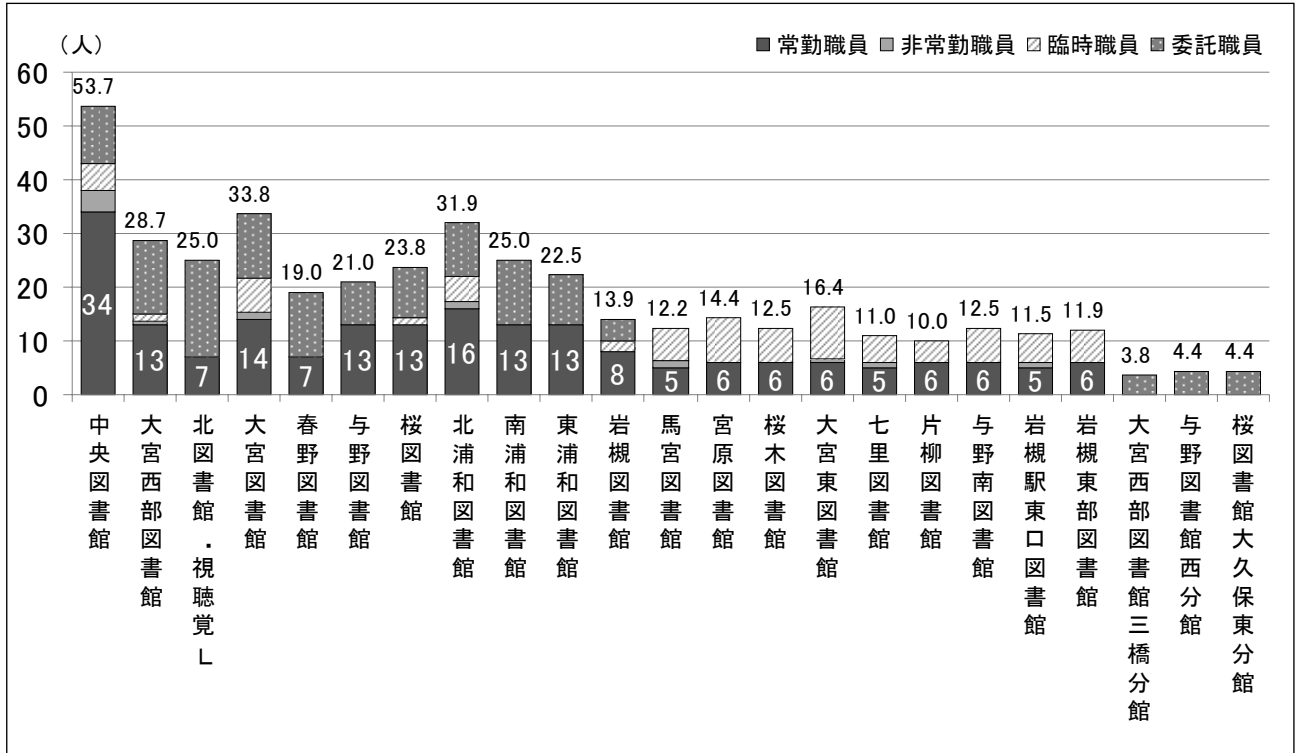
図表17 運営日数、運営時間

	運営時間	休館日	運営日数
中央図書館【Ⅰ類館】	月～金 9時～21時 土・日・祝 9時～18時	第1・第3月曜日 (祝日の場合は開館し、翌火曜日に休館) 12/29～1/4 特別整理期間	平日 213日／年 土・日・祝日 116日／年
拠点図書館【Ⅱ類館】(岩槻以外) 地区図書館【Ⅲ類館】(桜木・岩槻駅東口)	火～金 9時～20時 土・日・祝 9時～18時	月曜日 (祝日の場合は開館し、翌火曜日に休館)	平日 188日～189日／年 土・日・祝日 114日～116日／年
拠点図書館【Ⅱ類館】(岩槻) 地区図書館【Ⅲ類館】(桜木・岩槻駅東口以外) 分館	火～金 9時～19時 土・日・祝 9時～17時	12/29～1/4 特別整理期間	平日 179日～190日／年 土・日・祝日 109日～116日／年

③ 運営人員

- 図書館の運営人員は、23 館全体（視聴覚ライブラリーを含む）では 423.1 人である。その内訳は、常勤職員が 202 人、非常勤職員が 11.5 人、臨時職員が 77.7 人、委託事業者が 131.9 人となっている。
- 施設別にみると、Ⅰ類館の運営人員は 53.7 人、Ⅱ類館の運営人員は 13.9 人～33.8 人、Ⅲ類館の運営人員は 10.0 人～16.4 人、分館の運営人員は 3.8 人～4.4 人となっている。

図表18 運営人員



※常勤・非常勤職員は1人1日当たり7時間45分、臨時職員は1人1日当たり5時間勤務として換算した。

④ 貸出1人当たり総コスト

「(6) コスト状況」参照

⑤ 貸出1件当たり総コスト

「(6) コスト状況」参照

⑥ 床面積1㎡当たり総コスト

「(6) コスト状況」参照

(5) 防災状況

① 耐震性

- 北浦和図書館、大宮図書館、与野図書館、岩槻図書館の4施設が旧耐震基準の建物となっている。
- 平成22年度(2010年度)に北浦和図書館、大宮図書館が耐震診断を実施した。北浦和図書館については、耐震補強を要することから今後耐震工事を進めていく。
- 平成23年度(2011年度)に与野図書館、岩槻図書館は耐震診断を実施予定である。

② 地域防災計画での位置付け

- 地域防災計画において、全施設が対象外施設となっている。

③ 避難場所としての機能

- 冷暖房については全施設で、代替電源施設については一部施設で付加されているほか、付加機能はない。

④ 耐風水害性

- 馬宮図書館、桜図書館、大久保東分館の3館は、洪水ハザードマップにおける各施設の浸水深度が「浸水深2.0m~5.0m」のE判定となっている。

図表19 防災状況一覧

施設名	耐震性		地域防災計画での位置付け						避難場所としての機能										耐風水害性
	耐震診断	耐震補強	災害対策本部	避難場所	応急給水場所	医療救護所	拠点備蓄倉庫	避難場所運営委員会の有無	備蓄の有無	通信設備	簡易トイレ	マンホールトイレ	調理設備	代替電源設備	冷暖房設備	入浴施設	収容可能スペース(m ²)		
中央図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A	
大宮西部図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A	
北図書館・視聴覚ライブラリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A	
大宮図書館	実施済	不要	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A	
春野図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A	
与野図書館	未実施	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	B	
桜図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	E	
北浦和図書館	実施済	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	▲	-	-	A	
南浦和図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	B	
東浦和図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A	
岩槻図書館	未実施	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A	
馬宮図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	E	
宮原図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A	
桜木図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A	
大宮東図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	B	
七里図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A	
片柳図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A	
与野南図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A	
岩槻駅東口図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A	
岩槻東部図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	C	
大宮西部図書館三橋分館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	C	
与野図書館西分館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A	
桜図書館大久保東分館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	E	

※「○…指定または保有」、「▲(冷暖房)…施設の一部に保有」、「▲(入浴施設)…シャワー(温水)のみ保有」を表している。

(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

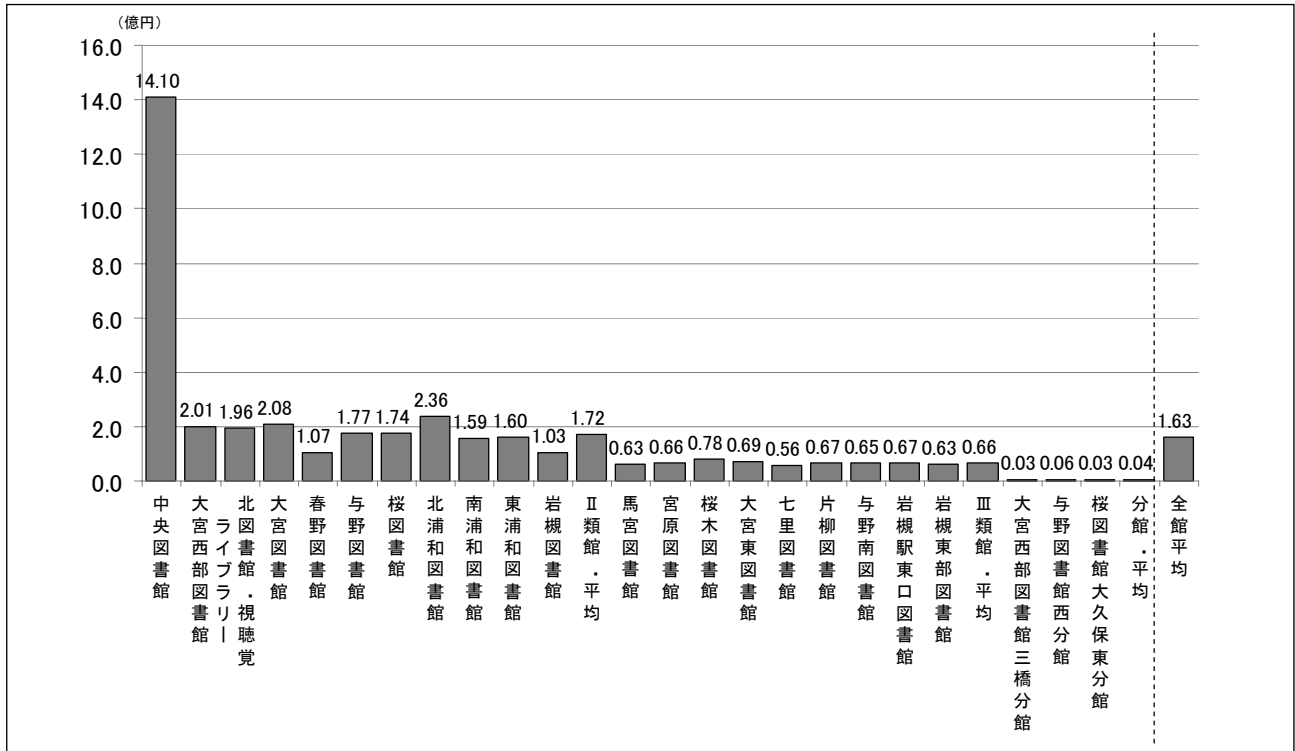
- 図書館 23 館の総コストの総計は、37 億 3,755 万円である。1 館当たりの総コストを分類別にみると、Ⅰ類館は 14 億 974 万円、Ⅱ類館は平均で 1 億 7,199 万円／館、Ⅲ類館は平均で 6,613 万円／館、分館は平均 426 万円／館となっている。
- 総コスト 37 億 3,755 万円のうち、維持管理費は 11 億 2,637 万円、事業運営費は 23 億 8,750 万円、減価償却費は 2 億 2,368 万円である。

図表20 施設別総コスト

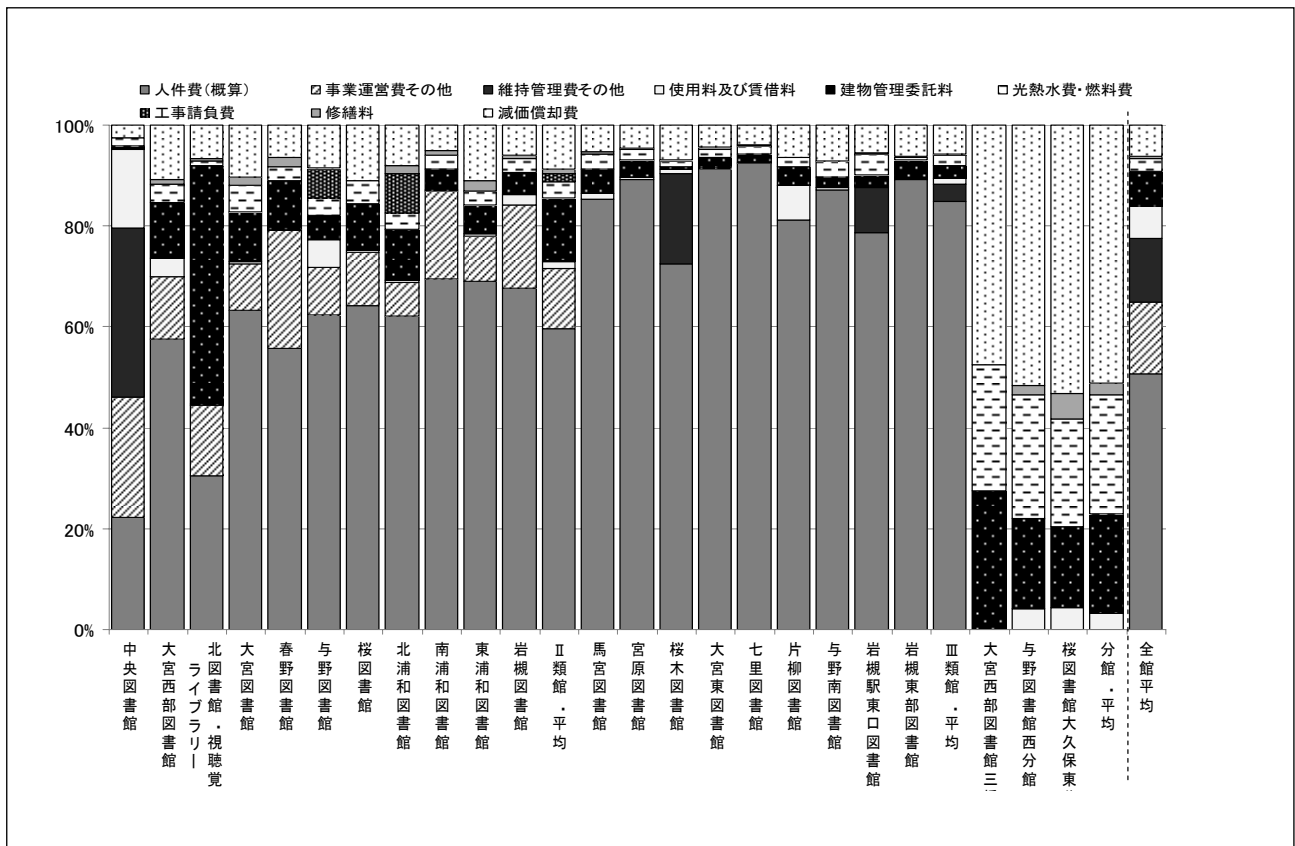
Ⅰ. 現金収支を伴うもの		(千円)												
【コストの部】		Ⅱ類館												
コストの部		中央図書館	大宮西部図書館	北図書館・視聴覚L	大宮図書館	春野図書館	与野図書館	桜図書館	北浦和図書館	南浦和図書館	東浦和図書館	岩槻図書館		
維持管理費	修繕料	440	1,958	824	3,178	1,808	317	95	3,748	1,503	3,095	721		
	工事請負費	0	0	0	0	0	9,986	0	18,900	0	0	0		
	光熱水費・燃料費	21,244	7,397	1,914	11,234	3,019	6,166	8,232	7,212	4,153	4,356	2,617		
	建物管理委託料	11,161	22,285	92,100	20,315	10,328	8,390	15,949	24,248	6,510	9,508	4,495		
	使用料及び賃借料	217,905	7,288	206	986	290	9,822	607	627	493	405	2,139		
	維持管理費その他	472,941	15	609	0	0	0	0	0	0	0	0		
	維持管理費計	723,692	38,943	95,654	35,713	15,445	34,680	24,883	54,734	12,660	17,364	9,973		
営業運	人件費(概算)	313,214	115,387	59,709	131,928	59,463	110,432	111,710	147,233	110,432	110,432	69,656		
	事業運営費その他	337,270	24,998	27,132	18,882	24,942	16,550	18,288	15,697	27,561	14,419	17,021		
	運営にかかるコスト計	650,484	140,385	86,842	150,810	84,405	126,982	129,998	162,930	137,993	124,851	86,677		
現金収支を伴うコスト計		1,374,176	179,328	182,495	186,523	99,850	161,661	154,882	217,665	150,653	142,215	96,650		
【収益の部】														
使用料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他		67	210	41	340	67	157	108	287	93	8	77		
収益計		67	210	41	340	67	157	108	287	93	8	77		
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの														
【コストの部】														
減価償却費		35,559	21,452	13,138	21,513	6,935	15,195	18,952	18,831	8,034	17,693	6,232		
Ⅲ. 総括														
コストの部合計(総コスト)		1,409,735	200,780	195,633	208,036	106,785	176,856	173,834	236,496	158,687	159,908	102,882		
収支差額		1,409,668	200,570	195,593	207,697	106,719	176,699	173,725	236,208	158,594	159,900	102,804		
(参考)														
指定管理者委託料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Ⅰ. 現金収支を伴うもの														
【コストの部】		Ⅲ類館										(千円)		
コストの部		馬宮図書館	宮原図書館	桜木図書館	大宮東図書館	七里図書館	片柳図書館	与野南図書館	岩槻駅東図書館	岩槻東図書館	大宮西部図書館三橋分館	与野図書館西分館	桜図書館大久保東分館	計
維持管理費	修繕料	289	140	250	270	39	21	81	218	86	0	129	172	19,383
	工事請負費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,886
	光熱水費・燃料費	1,845	1,360	765	1,119	964	1,255	2,056	2,766	270	723	1,557	747	92,971
	建物管理委託料	3,050	2,171	483	1,380	892	2,488	1,323	1,509	2,437	805	1,142	559	243,530
	使用料及び賃借料	703	350	645	172	76	4,574	253	138	0	0	261	154	248,093
	その他	0	0	14,009	0	0	0	0	5,932	0	0	0	0	493,506
	維持管理費計	5,887	4,021	16,152	2,940	1,971	8,338	3,712	10,564	2,794	1,528	3,090	1,632	1,126,370
営業運	人件費(概算)	54,008	58,674	56,885	63,411	51,905	54,639	56,885	52,380	56,355	0	0	0	1,844,738
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	542,761
	運営にかかるコスト計	54,008	58,674	56,885	63,411	51,905	54,639	56,885	52,380	56,355	0	0	0	2,387,499
現金収支を伴うコスト計		59,895	62,695	73,037	66,351	53,877	62,977	60,597	62,944	59,149	1,528	3,090	1,632	3,513,869
【収益の部】														
使用料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		49	41	87	52	22	23	31	44	28	11	9	7	1,859
収益計		49	41	87	52	22	23	31	44	28	11	9	7	1,859
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの														
【コストの部】														
減価償却費		3,349	3,079	5,394	3,061	2,230	4,300	4,613	3,629	3,959	1,387	3,281	1,864	223,680
Ⅲ. 総括														
コストの部合計(総コスト)		63,244	65,774	78,431	69,412	56,107	67,277	65,210	66,573	63,108	2,915	6,371	3,496	3,737,549
収支差額		63,195	65,733	78,343	69,360	56,085	67,253	65,180	66,529	63,080	2,904	6,361	3,489	3,735,690
(参考)														
指定管理者委託料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- 施設別の総コストは、三橋分館の292万円～中央図書館の14億974万円となっている。
- 分類ごと（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、分館）に、ほぼ同程度のコストとなっている。

図表21 施設別総コスト



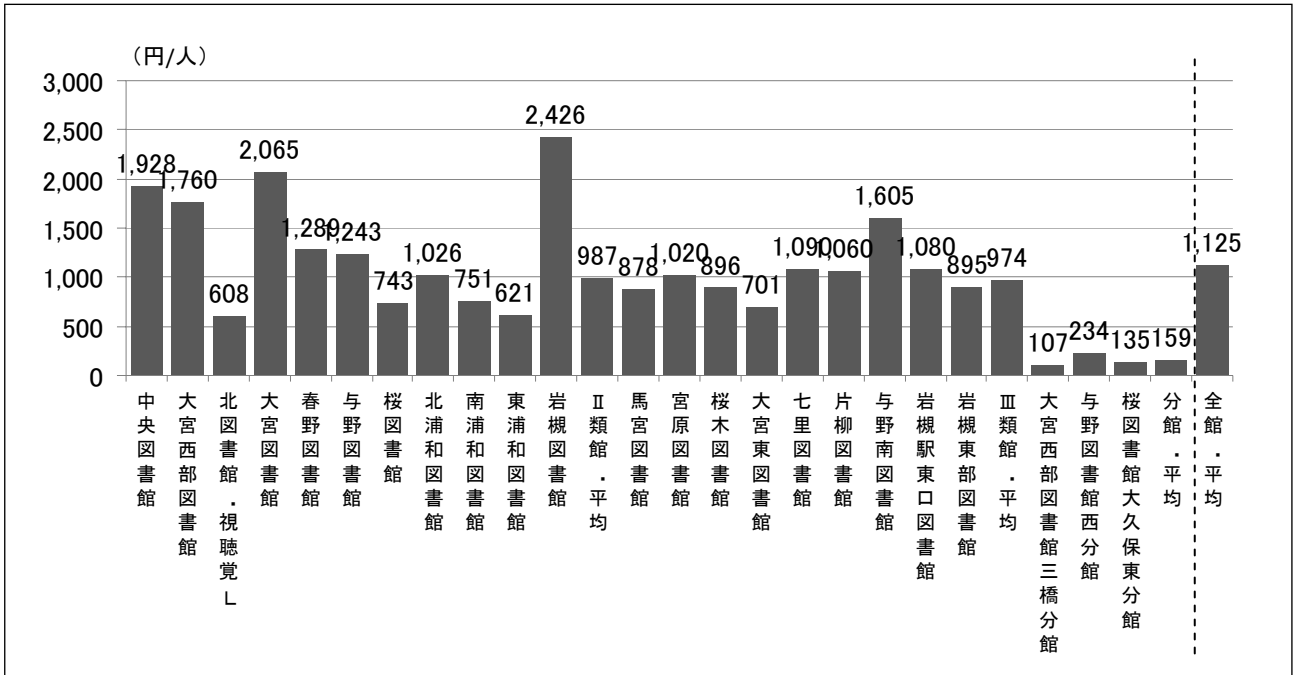
図表22 施設別総コスト（構成比）



② 貸出当たり総コスト／床面積当たり総コスト

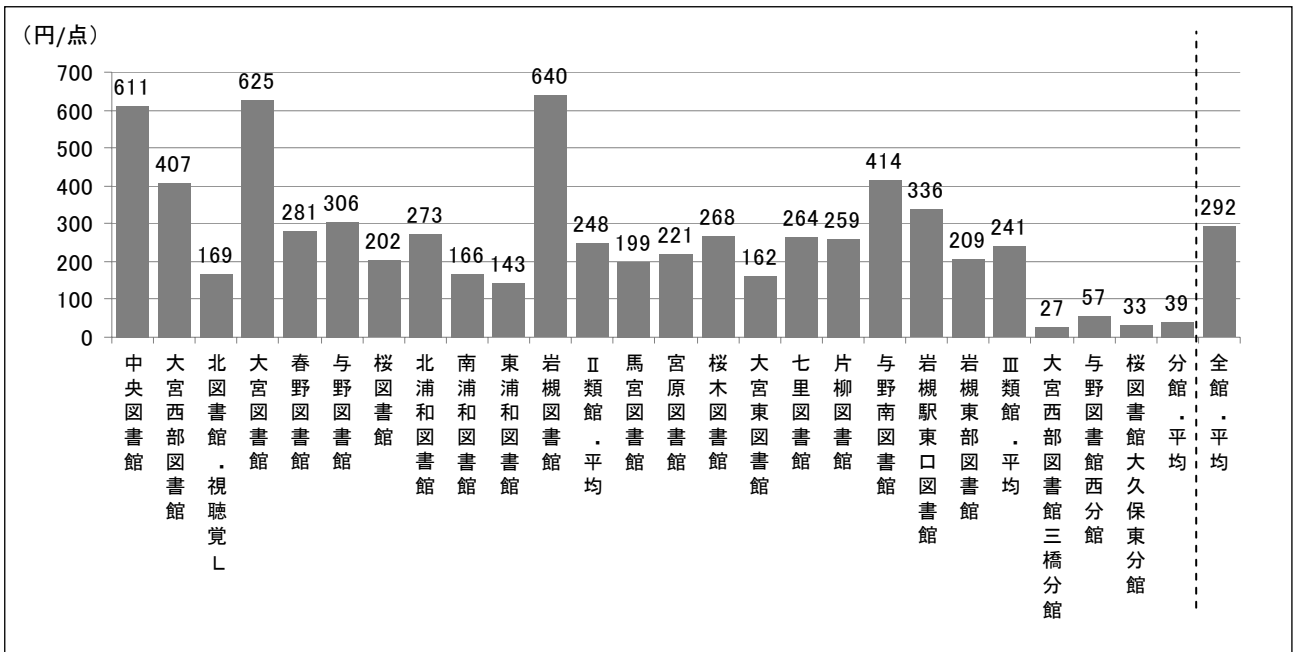
- 貸出1人当たり総コストは、中央図書館が1,928円、Ⅱ類館平均987円、Ⅲ類館平均974円、分館平均159円である。
- 貸出1件当たり総コストは、中央図書館が611円、Ⅱ類館平均248円、Ⅲ類館平均241円、分館平均39円である。

図表23 貸出1人当たり総コスト



※「維持管理費(臨時)」(工事請負費、設計委託費、備品購入費)については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

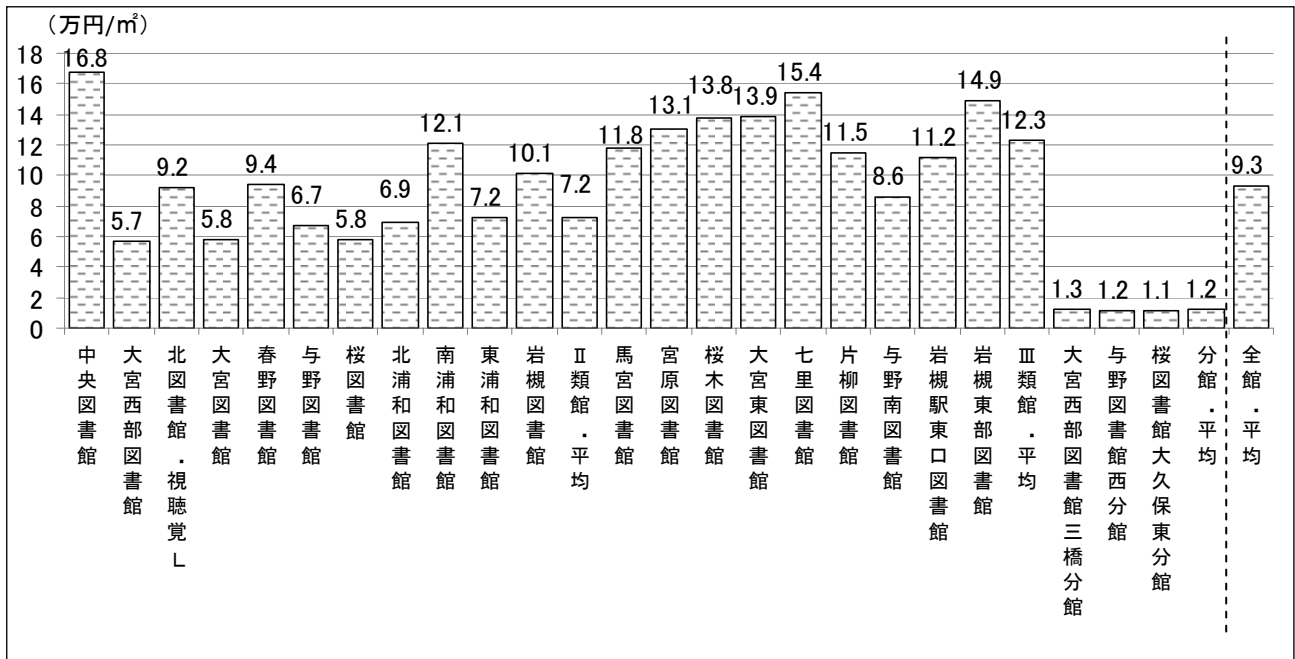
図表24 貸出1件当たり総コスト



※「維持管理費(臨時)」(工事請負費、設計委託費、備品購入費)については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

- 床面積 1 m²当たり総コストは、中央図書館が 16 万 7,732 円、Ⅱ類館平均 7 万 1,950 円、Ⅲ類館平均 12 万 3,089 円、分館平均 1 万 1,957 円である。

図表25 床面積 1 m²当たり総コスト

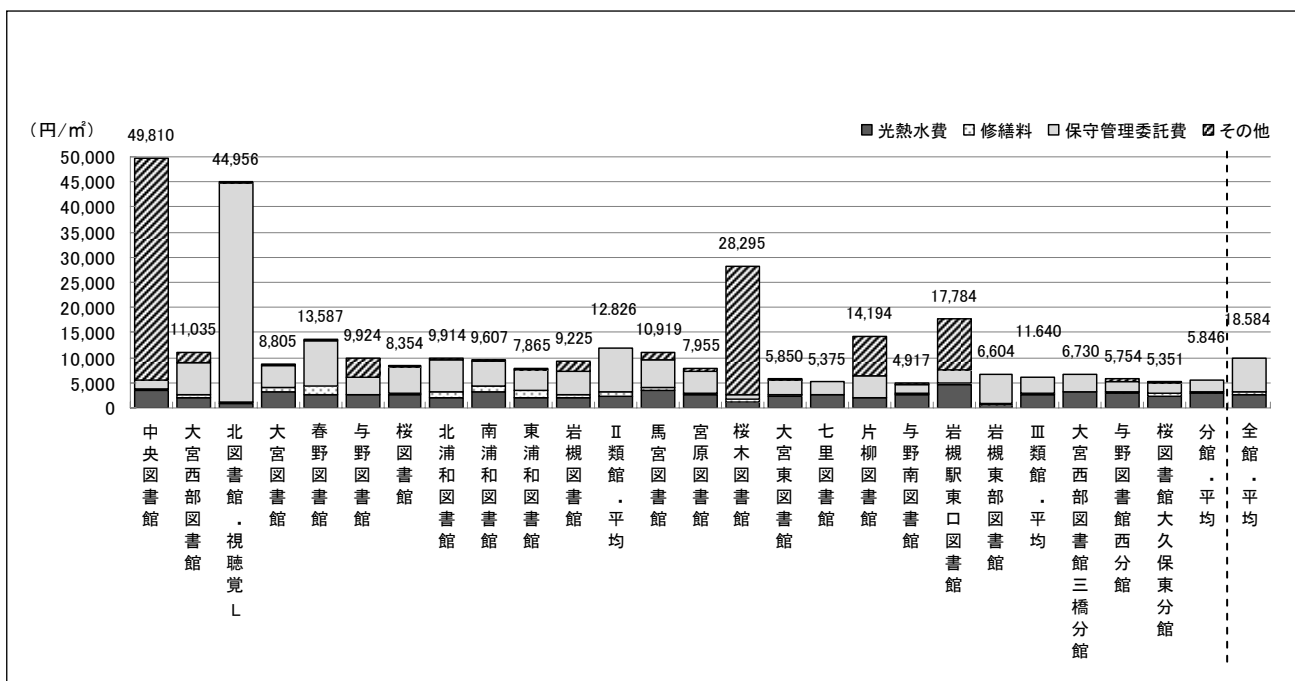


※「維持管理費(臨時)」(工事請負費、設計委託費、備品購入費)については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

③ 維持管理

- 維持管理経費として、光熱水費・修繕費・保守管理委託費・その他を把握した。
- 床面積 1 m²当たり維持管理費は、中央図書館が 4 万 9,810 円、Ⅱ類館平均 1 万 2,826 円、Ⅲ類館平均 1 万 1,640 円、分館平均 5,846 円である。

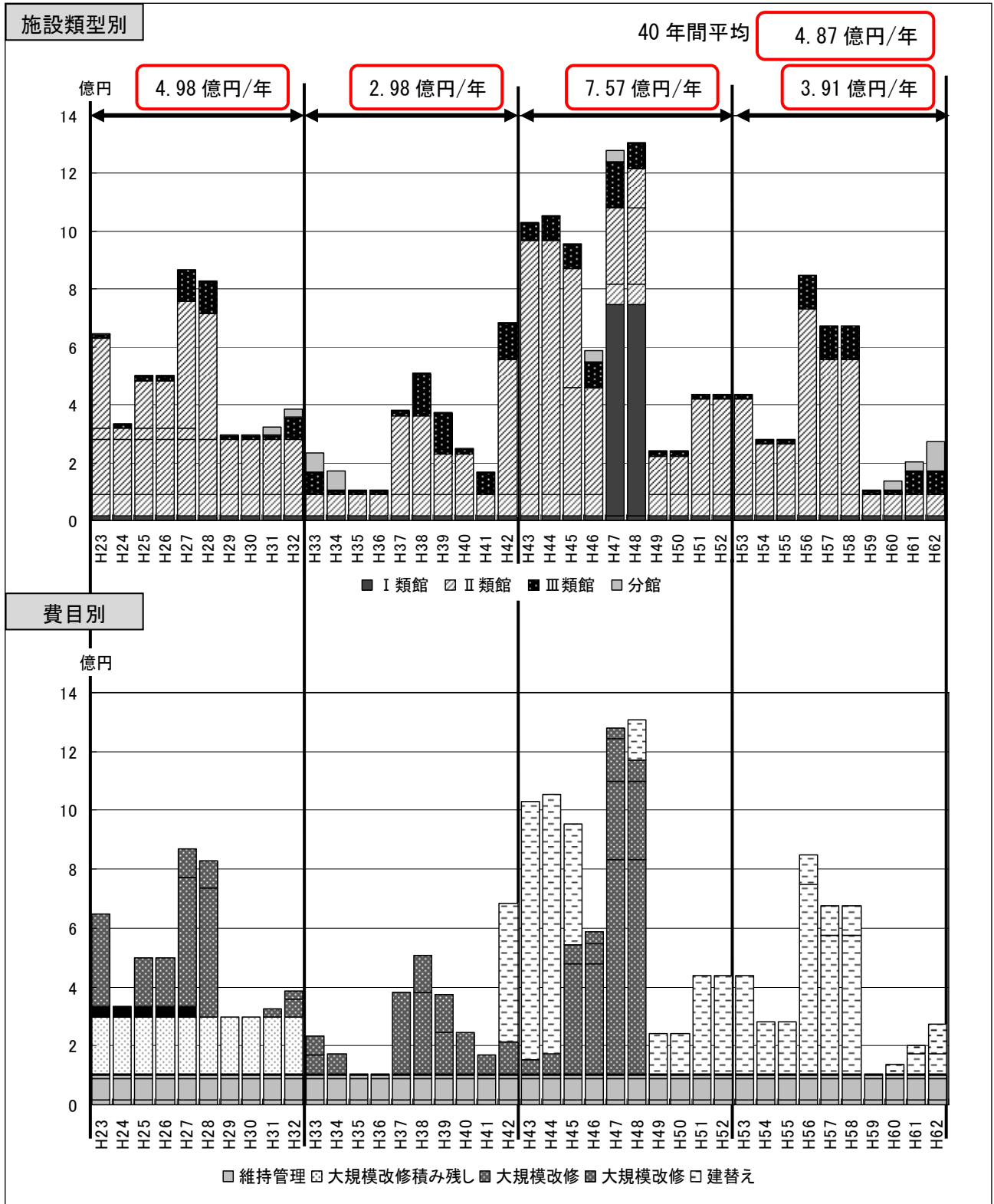
図表26 床面積 1 m²当たり維持管理費状況



④ 今後の建替え・改修に係るコスト

- 今後必要なコストは、最初の10年間で年平均4.98億円、次の10年間で年平均2.98億円、次の10年間で年平均7.57億円、次の10年間で年平均3.91億円となる。40年間トータルの年平均コストは、4.87億円であり、現状の維持・更新コスト0.48億円の約10.1倍のコストが必要となる。

図表27 今後の建替え・改修に係るコスト



施設類型	施設分類	施設数
図書館等	【大分類】 市民利用施設 【中分類】 市民文化・社会教育系施設 【小分類】 図書館等	23施設

評価軸	評価内容	評価データ・評価の着眼点	評価基準		
			A	B	C
① 施設状況	計画との整合	配置計画・整備計画との整合	計画どおりの整備	ほぼ計画どおりの整備	計画より遅れている又は計画がない
	機能規模・機能バランス	施設類型別の機能別平均延床面積との比較	各機能とも概ね平均延床面積にある	平均延床面積を上回る機能がいくつかある	平均延床面積を上回る機能が多い
	施設の数	人口100万人当たりの図書館の数	他市平均の90%未満	他市平均の90%～110%	他市平均の110%より大きい
	施設の規模	人口1人当たりの延床面積	他市平均の90%未満	他市平均の90%～110%	他市平均の110%より大きい
	効率的な施設の活用	施設の複合化状況	30%以上の施設が複合化されている	30%未満の施設が複合化されている	複合化された施設はない
② 建物状況	老朽化状況	築年別の建物の延床面積の割合	過半が20年未満の建物である	過半が20年以上の建物である	過半が30年以上の建物である
	アスベスト対策	対応状況	対策済み	対策中	未対応
	バリアフリー化	基準適合義務の対応状況	対応済み	未対応施設が30%以下	30%を超える施設で未対応
	環境負荷低減	自然エネルギー・太陽光発電、屋上・壁面緑化、その他の環境対応設備の導入状況	導入済み	未導入施設が30%以下	30%を超える施設で未導入
③ 利用状況	利用の推移	貸出点数の推移	増加	横ばい	減少
	稼働率・定員充足率等	稼働率	—	—	—
④ 運営状況	運営方式	指定管理者制度等の導入状況	全て導入済み	50%以上の施設で導入済み	導入施設が50%未満
	運営時間	夜間・土日の運営体制	全ての施設で夜間・土日とも開館している	一部の施設で夜間・土日とも開館している	全ての施設で夜間・土日いずれも開館していない
	利用単位当たりの総コスト	貸出1人当たり、貸出1点当たりのコストのバラツキ	施設間に差が無い	平均より20%以上差がある	平均より50%以上差がある
	面積当たりの総コスト	延床面積1㎡当たりのコストのバラツキ	施設間に差が無い	平均より20%以上のバラツキがある	平均より50%以上のバラツキがある
	収入の割合	総コストに占める使用料等収入の割合	—	—	—
⑤ 防災状況	耐震性	新耐震基準・耐震対策済みの建物の状況	適合	対策中	対策が必要
	地域防災計画での位置付け	避難場所等としての位置付け	80%以上の施設で位置付けがある	50%以上の施設で位置付けがある	位置付けがある施設が50%未満
	避難場所としての機能	必要な機能の整備状況	80%以上の施設でいずれかの付加機能がある	50%以上の施設でいずれかの付加機能がある	いずれかの付加機能がある施設が50%未満
	耐風水害性	ハザードマップ上の位置	80%以上の施設で浸水深0m	50%以上の施設で浸水深0m	浸水深0mの施設が50%未満
⑥ コスト状況	維持管理	維持管理のベンチマーク（市民利用施設、行政施設全体の平均との比較。光熱水費、修繕費、保守管理委託費、その他）	妥当（市平均を下回る）	一部改善・対応の必要がある（市平均の100%～130%）	改善・対応の必要がある（市平均の130%以上）
	今後、建替え、改修に係るコスト	年当たり将来コストと現状との比較	現状の1.2倍未満	現状の2倍未満	現状の2倍以上

※A: 個別評価でAが過半、C: 個別評価でCが過半、B: それ以外

合計延床面積
35,091㎡ (@1,526㎡)

評価内容	総合評価	評価結果
<p>ほぼ公共施設適正配置方針どおりの整備状況となっている。</p> <p>一般資料スペースについては、平均規模を上回る施設は7施設あり、特に、中央図書館、桜図書館、東浦和図書館のものが大きい。また、書庫についても、平均規模を上回る施設は7施設あり、特に、大宮西部図書館、中央図書館、大宮図書館のものが大きい。イベントスペース、会議室・視聴覚室等、学習スペースについては、備えている施設に限られる。</p> <p>人口100万人当たりの施設数は、政令市平均13.2施設に対し18.8施設と、平均の142%となっている。</p> <p>人口1人当たりの延床面積は、政令市平均が0.021㎡であるのに対し、0.029㎡と大きい(138%)。</p> <p>17施設において複合化がなされている。特に、コミュニティ関連施設との複合化は15施設に及んでいる(74%)。</p> <p>築40年以上が1施設(3,521㎡)、築30年以上が3施設(6,589㎡)、築20年以上が6施設(6,846㎡)、築20年未満が13施設(18,135㎡)となっている(52%)。</p> <p>全施設とも実施済み。</p> <p>8施設については一部の項目に未対応がある(35%)。</p> <p>13の施設について全ての項目が未導入となっている。全ての項目について導入がなされているのは2施設にとどまる(91%)。</p> <p>増加傾向にあり、最近5年間で879万点から1,117万点に増加している。</p> <p>—</p> <p>指定管理者制度の導入はされていない(0%)。</p> <p>いずれの施設についても土日を閉館しており、平日は17時以降も閉館している。</p> <p>貸出1人当たりでは、全体平均が1,125円であるのに対し、コストが最大の施設は2,426円であり、全体平均の2.16倍と、施設間のコストの差は大きい(10%~216%)。貸出1点当たりでも同様に、全体平均が292円であるのに対し、コストが最大の施設は640円であり、全体平均の2.19倍となっている(9%~219%)。</p> <p>全体平均が93,054円であるのに対し、コストが最大の施設は167,732円であり、全体平均の1.80倍となっている。施設間のコストの差は大きい(12%~180%)。</p> <p>利用料収入は発生していない。</p> <p>耐震補強が未実施の施設は3施設あり、うち2施設については耐震診断の実施を含め対策が必要である。</p> <p>いずれの施設についても避難場所等としての位置付けはなされていない。</p> <p>冷暖房設備は全施設に整備されている。代替電源設備は6施設に整備されている(100%)。</p> <p>15の施設で浸水深0mとなっている(65%)。</p> <p>延床1㎡当たりの維持管理コストは9,831円で、全体平均の114%となっている。</p> <p>年当たりの将来コストについて今後40年間を10年ごとにみると、10年目までが4.98億円(10.3倍)、20年目までが2.98億円(6.2倍)、30年目までが7.57億円(15.7倍)、40年目までが3.91億円(8.1倍)となっている。現状の6.2倍~15.7倍となる。最初の20年間は主として大規模修繕にコストを要するが、次の20年間は大規模修繕とともに建替えにコストを要する見込みである。</p>	<p>C</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>C</p> <p>B</p> <p>C</p>	<p>①施設状況</p> <p>②建物状況</p> <p>③利用状況</p> <p>④運営状況</p> <p>⑤防災状況</p> <p>⑥コスト状況</p> <p>総合評価コメント</p> <p>1. 施設の充足、配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さいたま市公共施設適正配置方針」に基づき、中央図書館が1館設置され、図書館ネットワークの中核機能としての役割を果たしている。 ・同方針では、DID(人口集中地区)及び市街化区域内の利用圏の空白部分を考慮して、半径2km内に1館を設置することとしているが、施設の重複も一部でみられる。 ・人口1人当たりの延床面積については、他の政令指定都市と比較すると平均を上回っており、施設が不足している状況にはない。 ・「さいたま市行財政改革推進プラン2010」において、次のとおり改革の方向性を示している。 * 指定管理者制度等の運営形態について検討を行うとともに、段階的に業務の委託化を進める。 <p>2. 施設の改修・更新状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・築20年未満の施設が過半を占めているが、築40年以上経過している施設が1施設、築30年以上経過している施設が3施設あり、これら施設の老朽化対策が今後必要となる。 ・改修・更新にかかる将来コスト試算では、当初10年間のコストが現状の6.7倍、今後40年平均のコストが9.2倍となることが予測される。 <p>3. 利用・運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用件数(貸出点数)は増加傾向にある。 ・すべての施設が市直営である。 ・利用単位当たりのコストにおける施設間の差については、貸出1人当たりコストでは平均値に対し最大2.2倍、貸出1点当たりコストでは平均値に対し最大2.2倍と大きい。 <p>4. 防災対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれの施設についても避難場所に指定されていないが、多くの人が集まる施設であり、避難場所としての機能を担う可能性がある。

博物館等

(1) 施設状況

① 概要

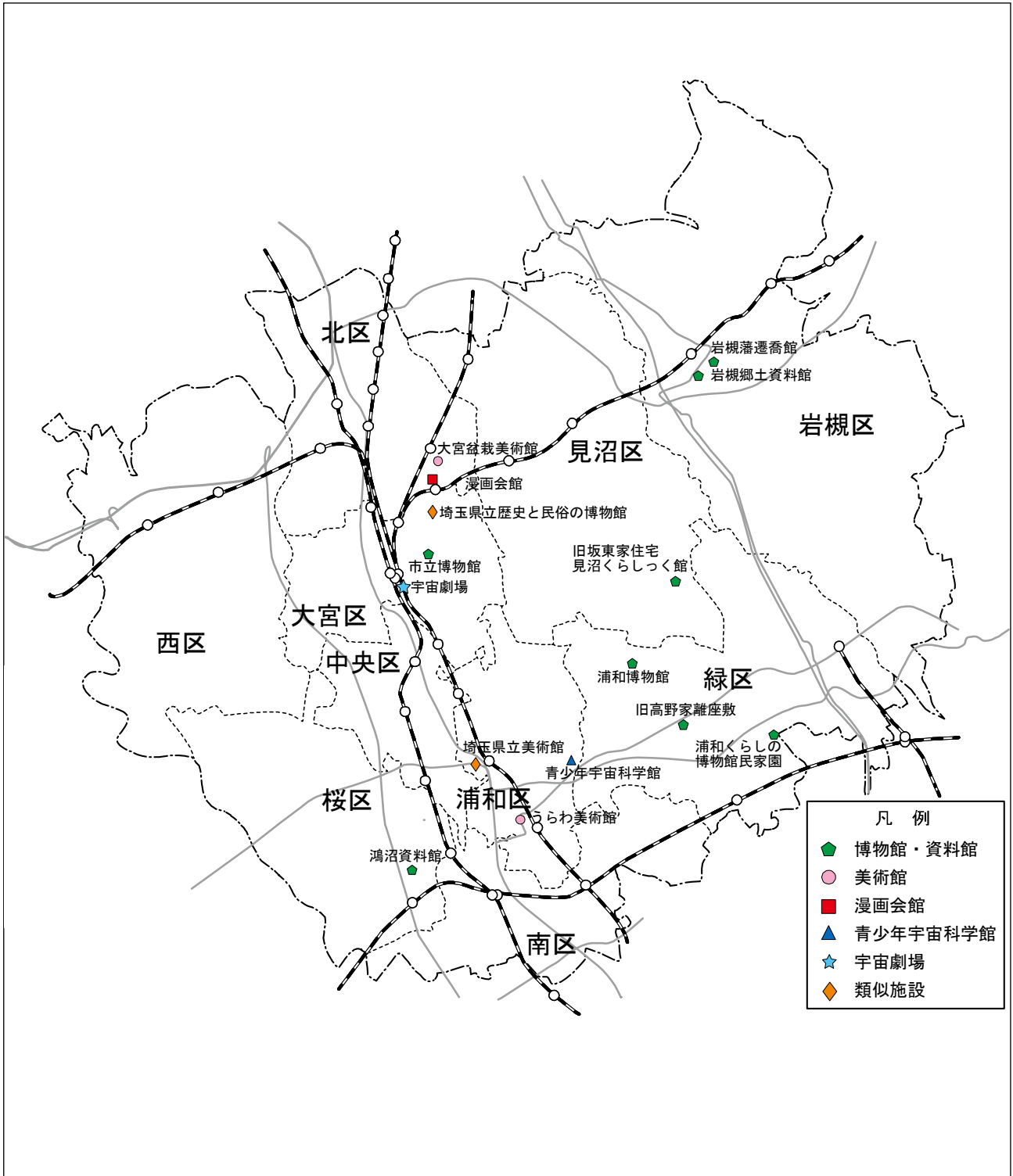
- 博物館・資料館は、博物館法に基づき、教育、学術及び文化の発展に寄与するための施設として、さいたま市博物館条例により市立博物館、浦和博物館、浦和くらしの博物館民家園、旧坂東家住宅見沼くらしっく館の4施設が設置されている。
- 市立博物館の分館として、岩槻郷土資料館、岩槻遷喬館を、浦和くらしの博物館民家園の分館として、鴻沼資料館、旧高野家離座敷が設置されている。
- 美術館等として、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するための施設としてさいたま市うらわ美術館条例によりうらわ美術館が、盆栽に関する知識及び教養の向上を図り、盆栽文化の振興に寄与するための施設としてさいたま市大宮盆栽美術館条例により大宮盆栽美術館が、日本近代漫画の先駆者である北沢楽天の偉業を顕彰し、市民文化の向上発展に寄与するための施設としてさいたま市立漫画会館条例により漫画会館が設置されている。
- 科学館等として青少年の科学に対する関心を深め、科学教育の振興に寄与するとともに、未来社会に対応した創造性豊かな青少年の育成を図るための施設としてさいたま市青少年宇宙科学館条例により青少年宇宙科学館が、市民の科学知識の普及と文化活動の推進を図り、もって地域文化の向上に寄与するための施設としてさいたま市宇宙劇場条例により宇宙劇場が設置されている。
- 博物館・資料館については、平成15年(2003年)3月策定の公共施設適正配置方針において、「新規整備を行わず、市立博物館を中心に展示などの質的な充実・向上を図る」とされている。

図表1 施設一覧

分類	施設名	延床面積 (㎡)	建築年	開設年	主な機能
博物館・ 資料館	市立博物館	2,330	S53	S55	展示、教育、収蔵、研究、管理
	岩槻郷土資料館	589	S5	S57	展示、収蔵、図書、管理
	岩槻藩遷喬館	118	—	S32	展示、管理
	浦和博物館	456	S47	S34	展示、研究、収蔵、管理
	浦和くらしの博物館民家園	869	H6	H7	管理棟、文化財建造物
	鴻沼資料館	432	H3	H7	展示
	旧高野家離座敷	33	—	H13	文化財建造物
	旧坂東家住宅見沼くらしっく館	471	H8	H8	管理棟、文化財建造物
美術館等	うらわ美術館	2,349	H11	H12	展示、収蔵、管理
	大宮盆栽美術館	1,498	H20	H22	展示、教育、工房、庭園、管理
	漫画会館	461	S40	S41	展示、図書室、収蔵、管理
科学館等	青少年宇宙科学館	6,312	S62	S63	プラネタリウム、ホール、展示、会議室、教室、観測室、管理
	宇宙劇場	2,408	S60	S62	プラネタリウム・映像、集会室、研修室、管理

※ 建築年とは、建築着工年のことをいい、一番古い棟の年を記載している。

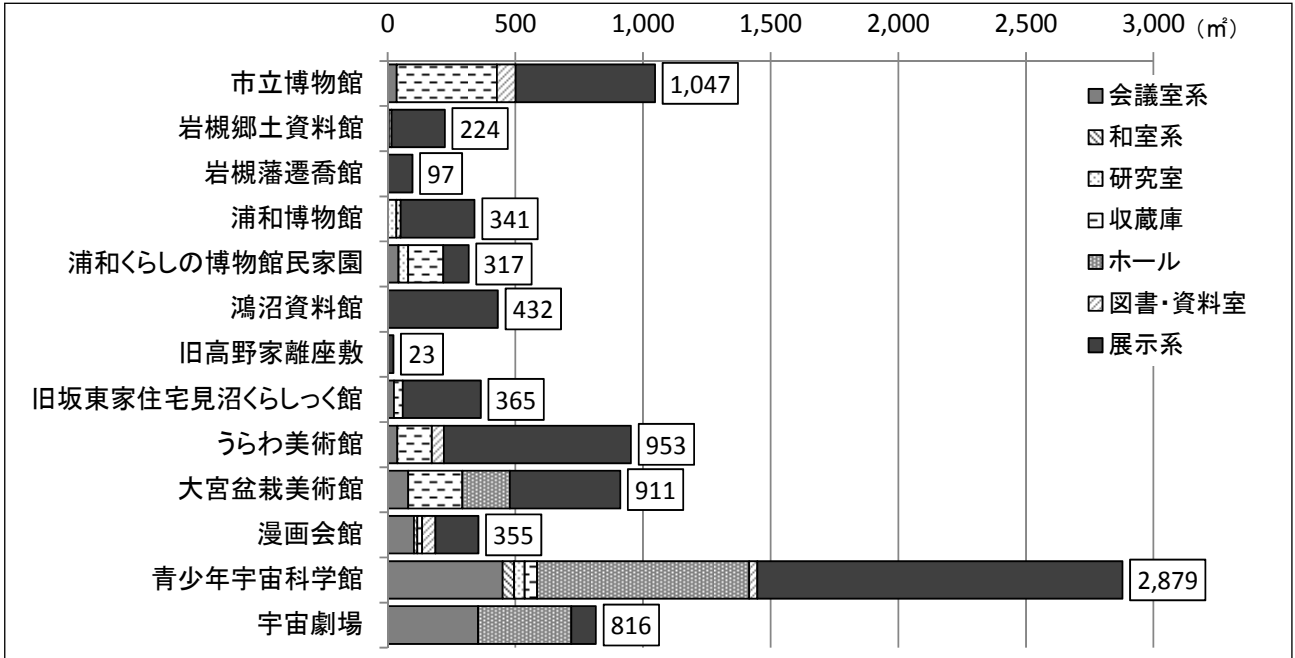
図表2 博物館等位置図



② スペース構成

- 各施設ともに、展示室が大部分を占めている。
- 市立博物館、浦和くらしの博物館民家園については、収蔵庫が30%以上の面積を占めている。
- 漫画会館、宇宙劇場においては、会議室・集会室、講座室等が25%以上の面積を占めている。

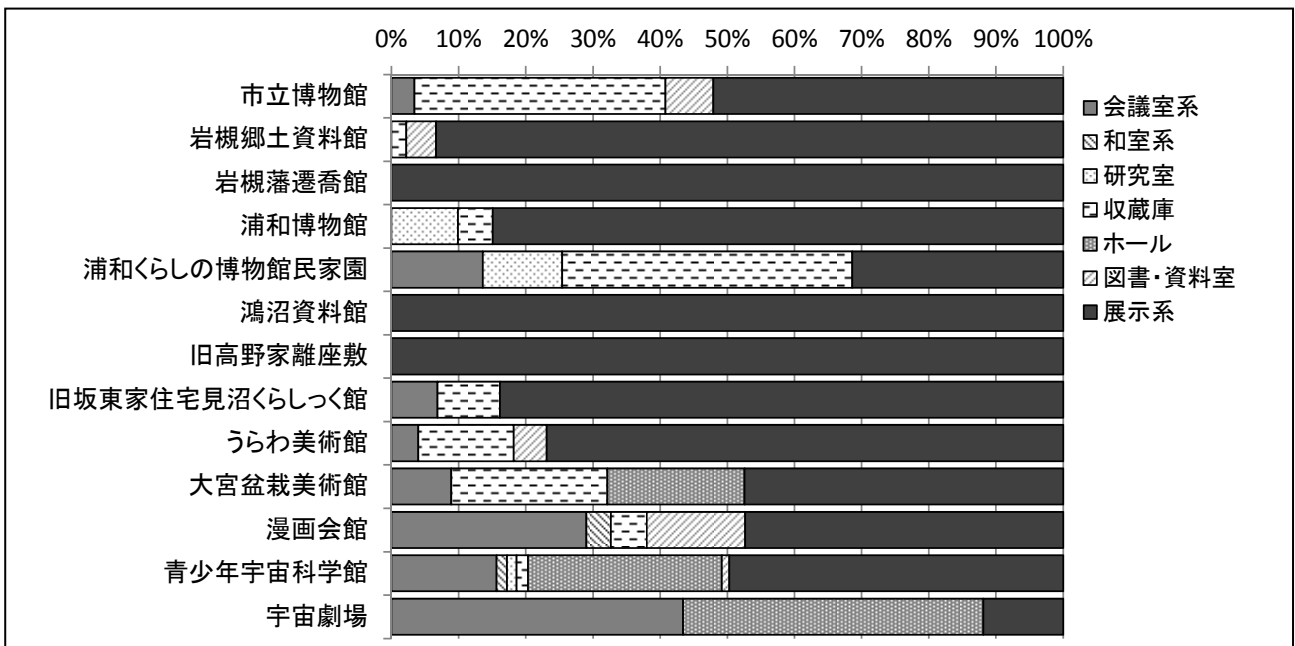
図表3 各施設別のスペース構成



※青少年宇宙科学館における「プラネタリウム」、宇宙劇場における「宇宙劇場ホール」については、分類上は「展示室」に含めている。

※ 倉庫、機械室、通路等の共用スペースを除く。

図表4 各施設別のスペース構成比



※青少年宇宙科学館における「プラネタリウム」、宇宙劇場における「宇宙劇場ホール」については「展示室」に含めている。

※ 倉庫、機械室、通路等の共用スペースを除く。

③ 政令市比較

- ・人口1人当りの延床面積は、政令市平均が0.039 m²であるのに対し、0.015 m²と小さい。

図表5 政令市比較

	延床面積 (m ²)	人口1人当 り延床面積 (m ² /人)
A市	61,864	0.060
B市	35,910	0.039
C市	35,441	0.026
D市	32,955	0.040
E市	23,568	0.028
F市	63,069	0.055
G市	54,522	0.056
さいたま市	18,326	0.015
平均	40,707	0.039

(資料) さいたま市「政令指定都市アンケート調査」

※上記調査は平成21年度(2009年度)に実施したため、さいたま市の延床面積は本白書のその他の部分の延床面積と一致しない。

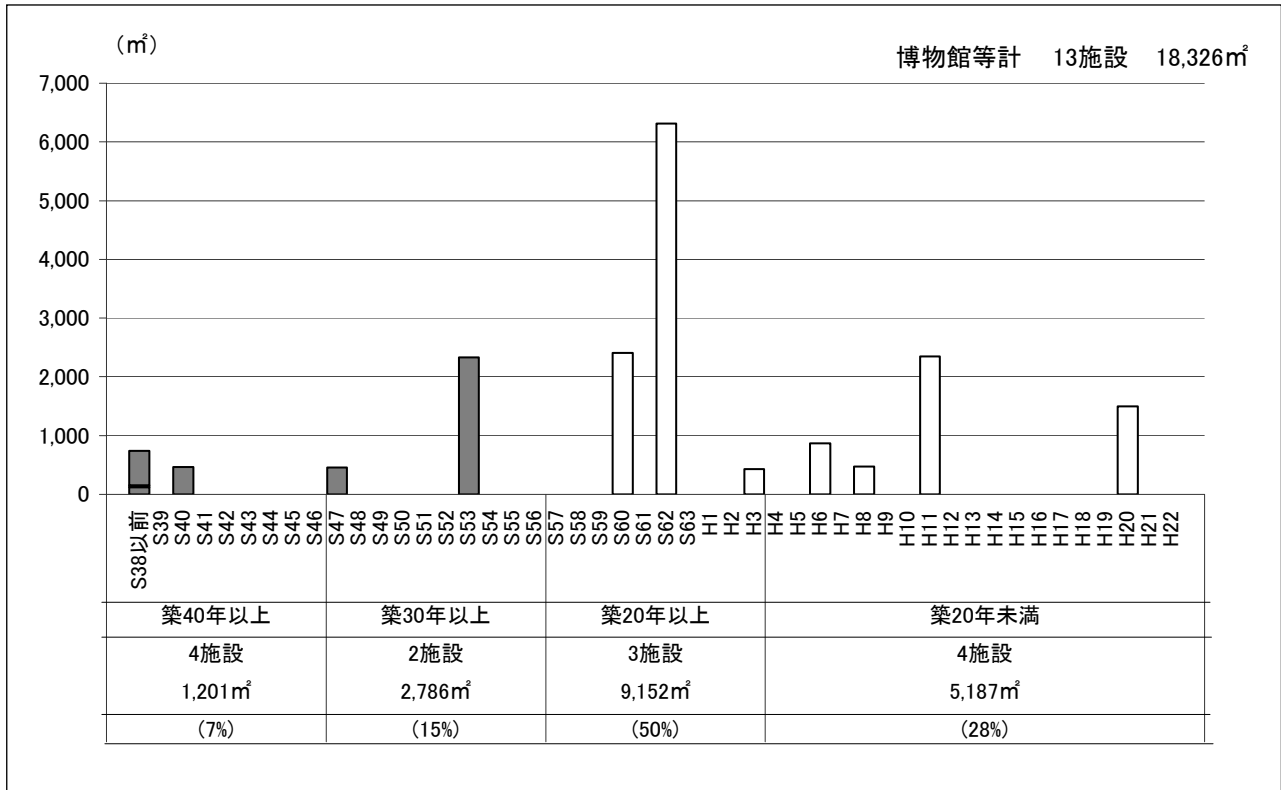
※人口1人当り延床面積は、平成21年10月1日現在の人口を元に市で算出した計算値。

(2) 建物状況

① 老朽化状況

- 岩槻藩遷喬館、浦和くらしの博物館民家園、旧高野家離座敷、旧坂東家住宅見沼くらしっく館は江戸時代の建造物を有している。また、岩槻郷土資料館についても昭和初期に建設された建造物を有している。これら歴史的建造物の耐震性、老朽化状況等については、把握の対象外とする。
- 市立博物館、浦和博物館は建築後 30 年以上、漫画会館は建築後 40 年以上を経過している。なお、老朽化状況については、各施設ごとの劣化診断等も含めて判断することが求められる。

図表6 築年別整備状況



② 機能改善（アスベスト）

- アスベスト対策については、全施設で対応が完了している。

③ 機能改善（バリアフリー）

- バリアフリー等への対応状況については、一部未実施の項目がある。

④ 環境負荷低減

- 自然エネルギー・太陽光発電、屋上緑化・壁面緑化、その他環境対応設備については、全般的に導入が進んでいない。

図表7 建物状況

施設名	①老朽化		②機能改善	③機能改善(バリアフリー)						④環境負荷低減			⑤維持管理費(千円)		
	建築年	経過年数		機能改善(アスベスト対策)	車いす用エレベーター	身障者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	自然エネルギー・太陽光発電	屋上緑化・壁面緑化	環境対応設備	光熱水費	修繕料
市立博物館	S53	33	●	●	●	●	●	●	●	×	×	×	5,208	25,605	14,069
岩槻郷土資料館	S5	81	●	-	×	●	×	×	×	×	×	×	592		
岩槻藩遷喬館	-		●	-	×	●	-	-	×	×	×	×	83		
浦和博物館	S47	39	●	×	×	×	×	●	×	×	×	×	1,225	1,108	504
浦和くらしの博物館民家園	H6	17	●	-	●	-	●	-	×	×	×	×	939	5,246	5,822
鴻沼資料館	H3	20	●	×	×	×	×	×	×	×	×	×	133		
旧高野家離座敷	-		●	-	-	-	-	-	-	×	×	×	25		
旧坂東家住宅見沼くらし館	H8	15	●	-	●	●	-	-	×	×	×	×	764	460	1,755
うらわ美術館	H11	12	●	●	●	-	●	●	●	×	×	×	12,294	2,401	7,857
大宮盆栽美術館	H20	3	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	3,936	16,878	40,223
漫画会館	S40	46	●	×	×	×	●	×	×	×	●	×	918	451	10,025
青少年宇宙科学館	S62	24	●	●	●	-	●	×	×	×	×	×	20,168		107,142
宇宙劇場	S60	26	●	●	●	●	●	●	×	×	×	▲	3,158	601	17,041

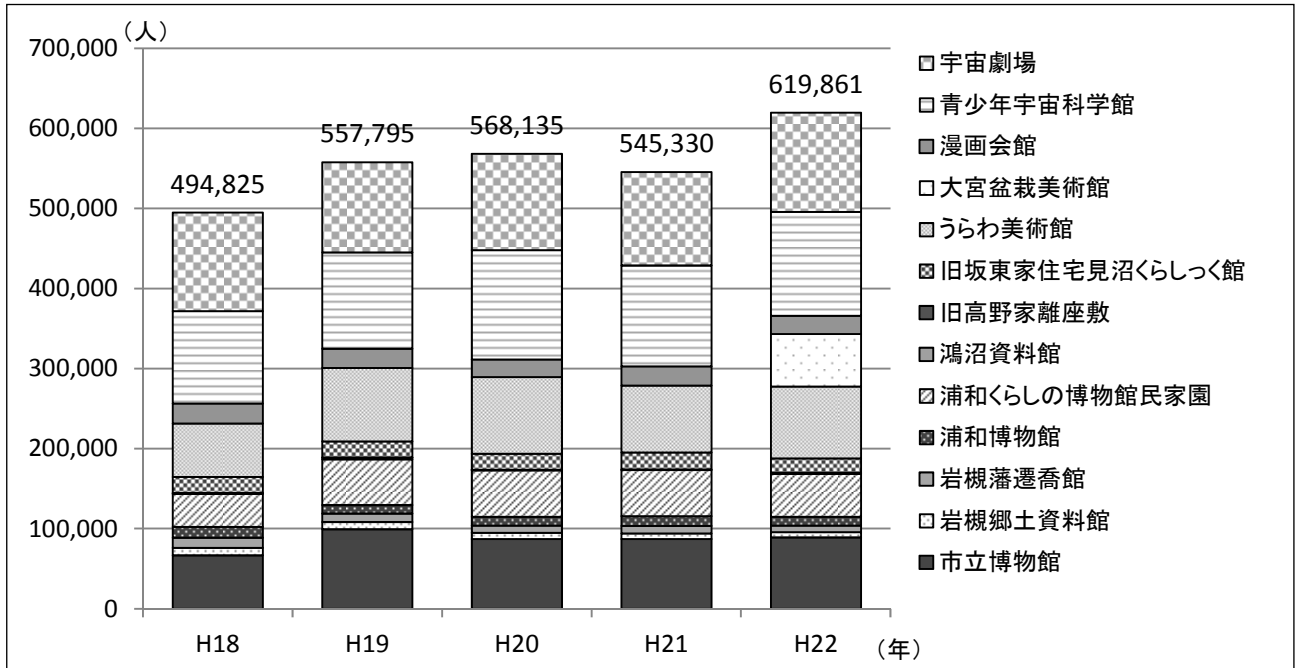
※ 「●…対応済」、「▲…対応中」、「-…対応不要」、「×…未対応」を表している。

(3) 利用状況

① 利用者数の推移

- 博物館等全体での利用者数は、61万9,861人（大宮盆栽美術館を含む。）であり、増加傾向にある。ただし、大宮盆栽美術館を除くと55万4,298人と横ばいである。
- 施設別の利用者数では、青少年宇宙科学館が最も多く、年間12万9,464人となっている。

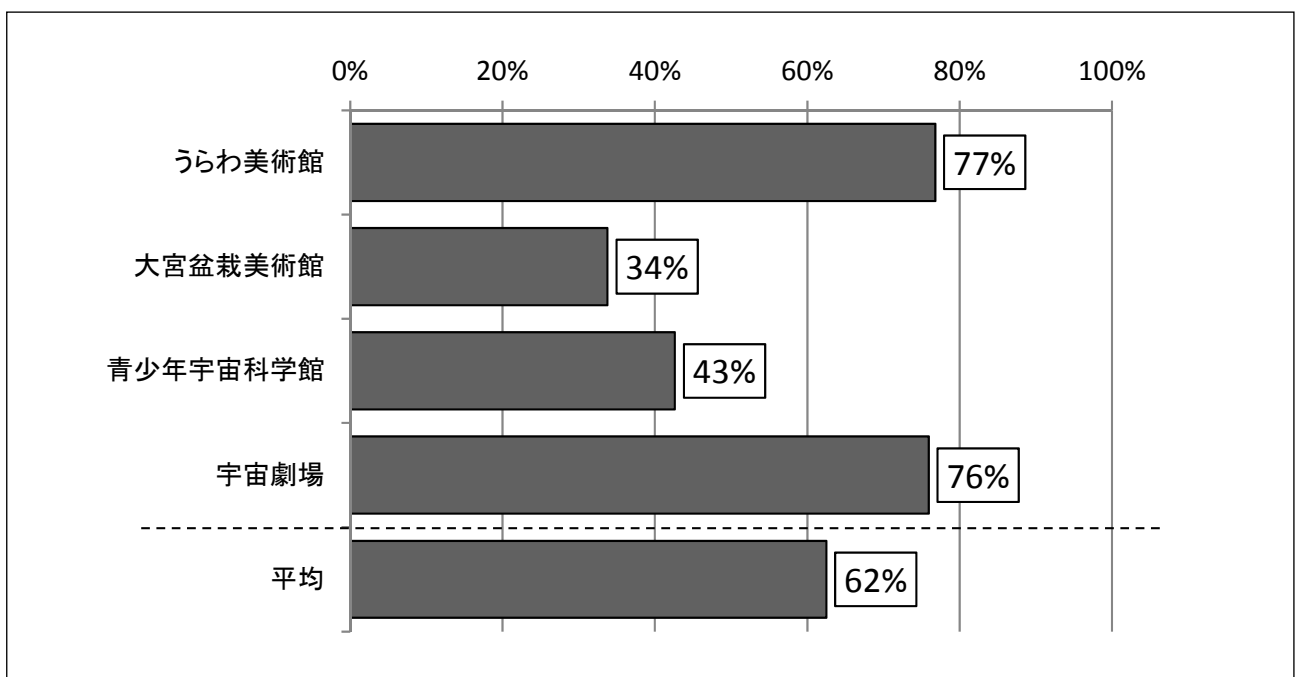
図表8 利用者数の推移（施設別）



② 会議室等の稼働率

- うらわ美術館、宇宙劇場の稼働率は70%を超えている。
- 4施設の平均稼働率は、62%である。

図表9 会議室等の稼働率



(4) 運営状況

① 運営方式

- 運営方式については、宇宙劇場が指定管理者制度を導入している以外は、市直営となっている。

図表10 運営方式一覧

分類	施設名	指定管理者名	指定期間	(年)	選定方法
博物館・資料館	市立博物館	直営			
	岩槻郷土資料館	直営			
	岩槻藩遷喬館	直営			
	浦和博物館	直営			
	浦和くらしの博物館民家園	直営			
	鴻沼資料館	直営			
	旧高野家離座敷	直営			
	旧坂東家住宅見沼くらしっく館	直営			
美術館等	うらわ美術館	直営			
	大宮盆栽美術館	直営			
	漫画会館	直営			
科学館等	青少年宇宙科学館	直営			
	宇宙劇場	(財)さいたま市文化振興事業団	H22.4～H26.3	4	非公募

② 運営日数、運営時間

- 各施設とも年末年始が休館である他、基本的に博物館等は月曜日、休日の翌日（旧高野家離座敷は月～金曜日）、うらわ美術館、漫画会館、青少年宇宙科学館は月曜日、大宮盆栽美術館は木曜日、宇宙劇場は水曜日、休日の翌日（集会室等は第4日曜日）が休館となっている。

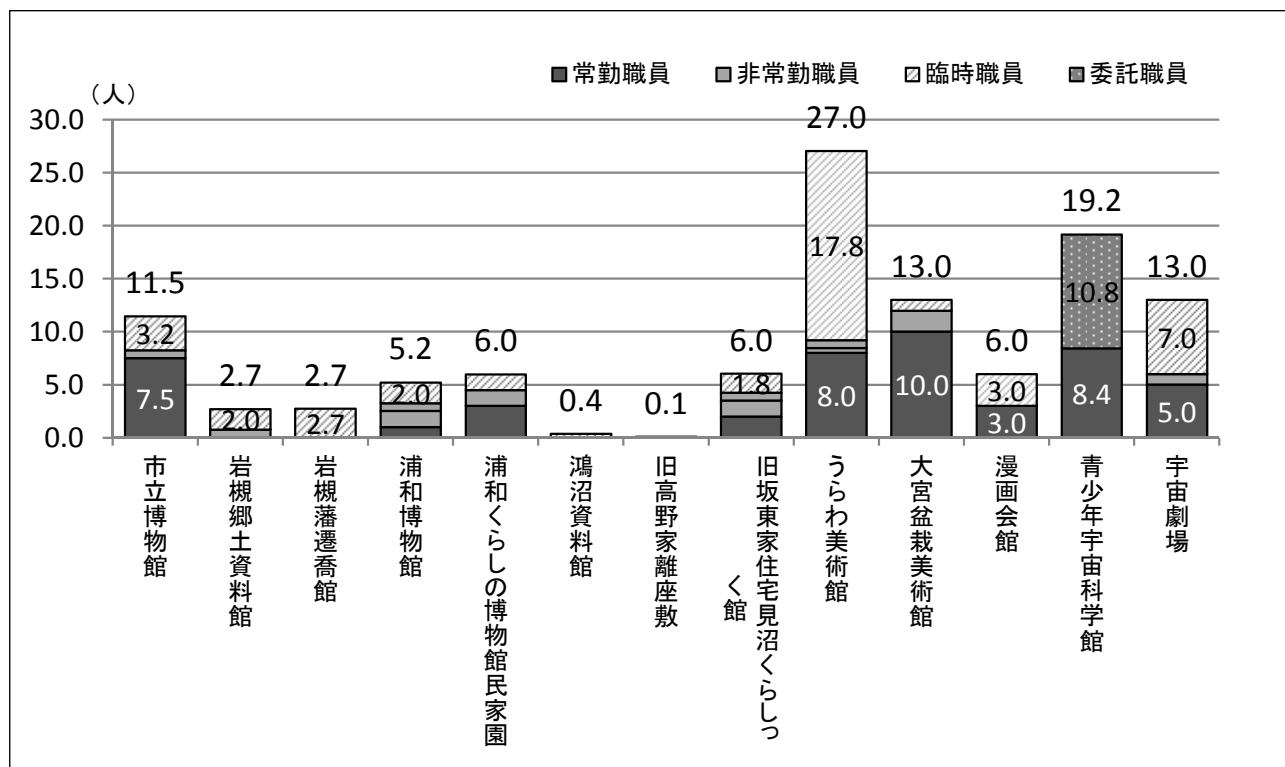
図表11 運営日数・運営時間

	市立博物館	岩槻郷土資料館	岩槻藩遷喬館	浦和博物館	浦和くらしの博物館民家園	鴻沼資料館	旧高野家離座敷	旧坂東家住宅見沼くらしっく館	うらわ美術館	大宮盆栽美術館	漫画会館	青少年宇宙科学館	宇宙劇場
運営日数	290日	298日	298日	281日	296日	250日	94日	299日	258日	295日	303日	304日	357日
運営時間	9:00～16:30	9:00～16:30	9:00～16:30	9:00～16:30	9:00～16:30	9:00～12:00	9:00～16:30	9:00～16:30	10:00～20:00	9:00～16:30	9:00～16:30	9:00～17:00	9:00～21:00

③ 運営人員

- 1施設当たり約0.1人～約27人の運営人員となっている。

図表12 運営人員



④ 利用1人当たり総コスト

「(6) コスト状況」参照

⑤ 利用1件当たり総コスト

「(6) コスト状況」参照

⑥ 床面積1㎡当たり総コスト

「(6) コスト状況」参照

⑦ 総コストに占める使用料等収入の割合

「(6) コスト状況」参照

(5) 防災状況

① 耐震性

- 市立博物館、岩槻郷土資料館、浦和博物館、漫画会館の4施設が旧耐震基準の建物となっている。
- 市立博物館、岩槻郷土資料館、浦和博物館については、耐震診断未実施となっている。漫画会館については、耐震診断の結果、耐震補強が必要な状況にある。

② 地域防災計画での位置付け

- 地域防災計画において、全施設が対象外施設となっている。

③ 避難場所としての機能

- 一部施設で冷暖房完備、代替電源設備等があるほか、付加機能は少ない。

④ 耐風水害性

- 浦和くらしの博物館民家園、鴻沼資料館の2施設は、洪水ハザードマップにおける各施設の浸水深度が「浸水深1.0m～2.0m」のD判定となっている。

図表13 防災状況一覧

施設名	耐震性		地域防災計画での位置付け					避難場所としての機能								耐風水害性		
	耐震診断	耐震補強	災害対策本部	避難場所	応急給水場所	医療救護所	拠点備蓄倉庫	避難場所運営委員会の	備蓄の有無	通信設備	簡易トイレ	マンホールトイレ	調理設備	代替電源設備	冷暖房設備		入浴施設	収容可能スペース(m ²)
市立博物館	未実施	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A
岩槻郷土資料館	未実施	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A
岩槻瀧邊香館	対象外	不要	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	A
浦和博物館	未実施	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A
浦和くらしの博物館民家園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲	-	-	D
鴻沼資料館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	D
旧高野家離座敷	対象外	不要	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
旧坂東家住宅見沼くらしっく館	対象外	不要	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	▲	▲	-	A
うらわ美術館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A
大宮盆栽美術館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	▲	-	A
漫画会館	実施済	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A
青少年宇宙科学館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A
宇宙劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A

※「○…指定または保有」、「▲（冷暖房）…施設の一部に保有」、「▲（入浴施設）…シャワー（温水）のみ保有」を表している。

(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

- 市民文化施設の総コストの総計は 12 億 7,963 万円であり、1 施設当たり平均は 9,843 万円である。
- 総コスト 12 億 7,963 万円のうち、維持管理費は 4 億 8,154 万円、事業運営費は 6 億 8,639 万円、減価償却費は 1 億 1,170 万円である。また、12 億 7,963 万円のうち、指定管理委託料は 1 億 1,595 万円 (9.1%) となっている。
- 年間収入の合計は 7,536 万円 (総コストの 5.9% に相当) で、1 施設当たり平均は 580 万円である。

図表14 施設別総コスト

I. 現金収支を伴うもの
【コストの部】

(千円)

コストの部	市立博物館	岩槻郷土資料館	岩槻藩遷喬館	浦和博物館	浦和くらしの博物館民家園	鴻沼資料館	旧高野家離座敷	旧坂東家住宅見沼くらしっく館	うらわ美術館	大宮盆栽美術館	漫画会館	青少年宇宙科学館	宇宙劇場	計
維持管理費	25,605	0	0	1,108	5,246	0	0	460	2,401	16,878	451	0	601	52,751
修繕料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,230	0	0	0	9,230
工事請負費	5,330	592	83	1,577	1,017	133	25	875	12,302	4,016	918	20,168	3,158	50,195
光熱水費・燃料費	14,069	0	0	504	5,822	0	0	1,755	7,857	40,223	10,025	107,142	17,041	204,439
建物管理委託料	1,979	0	0	249	214	0	0	340	1,134	3,384	1,864	55,869	20,870	85,903
使用料及び賃借料	347	0	0	0	0	0	0	0	18,252	3,431	155	0	56,840	79,025
その他	47,330	592	83	3,438	12,299	133	25	3,431	41,946	77,161	13,413	183,179	98,511	481,543
維持管理費計	69,718	7,073	2,048	17,627	35,145	827	156	27,221	90,737	87,524	30,433	71,590	59,180	499,279
事業運営費	63,982	0	0	4,114	13,344	0	0	4,645	44,100	15,233	0	8,639	33,052	187,109
人件費(概算)	133,699	7,073	2,048	21,741	48,489	827	156	31,866	134,837	102,757	30,433	80,229	92,232	686,388
事業運営費計	181,029	7,665	2,131	25,179	60,788	960	181	35,298	176,784	179,918	43,846	263,408	190,743	1,167,930
現金収支を伴うコスト計														
【収益の部】														
使用料(利用料収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	7,985	13,463	0	10,851	28,509	60,808
その他	820	2	0	73	424	3	0	63	3,597	3,269	0	5,786	512	14,549
収益計	820	2	0	73	424	3	0	63	11,581	16,731	0	16,637	29,020	75,357

II. 現金収支を伴わないもの
【コストの部】

減価償却費	14,236	0	0	2,786	0	2,639	0	0	26,795	9,153	2,817	38,564	14,714	111,704
-------	--------	---	---	-------	---	-------	---	---	--------	-------	-------	--------	--------	---------

III. 総括

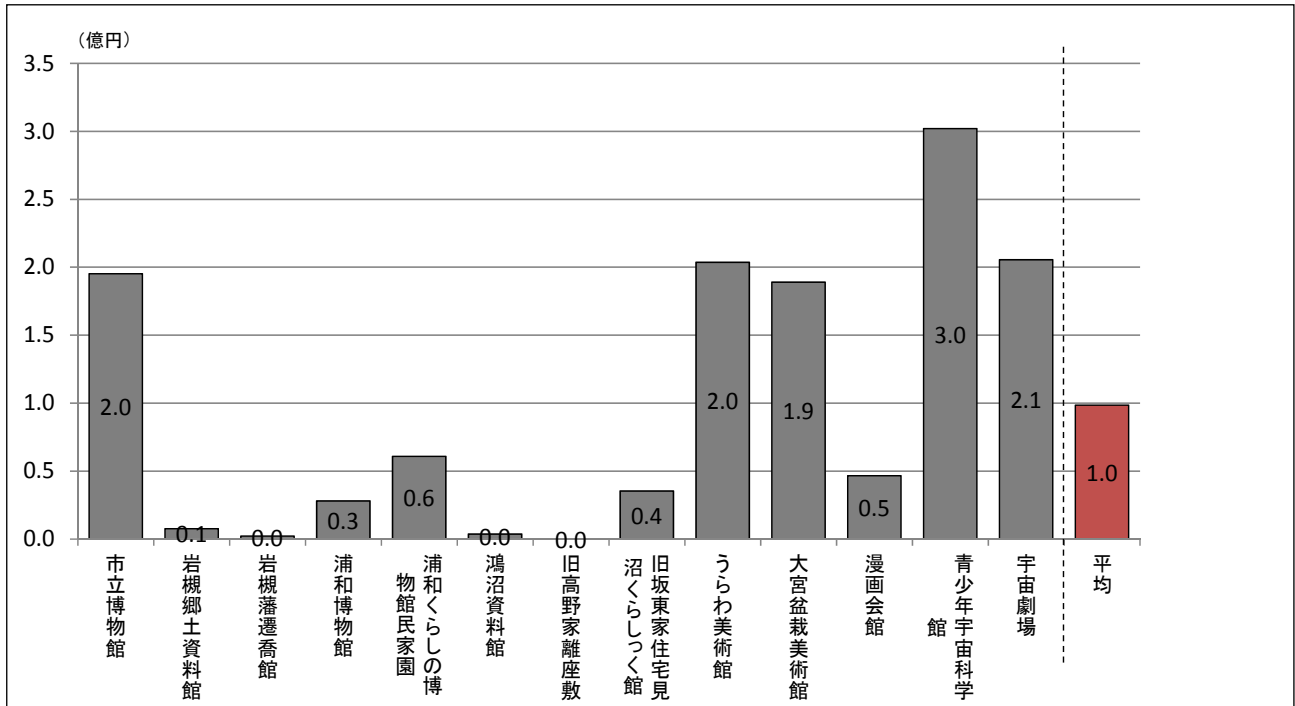
コストの部合計(総コスト)	195,265	7,665	2,131	27,965	60,788	3,599	181	35,298	203,579	189,071	46,663	301,972	205,457	1,279,634
収支差額	194,445	7,663	2,131	27,892	60,364	3,596	181	35,234	191,997	172,340	46,663	285,335	176,437	1,204,278

(参考)

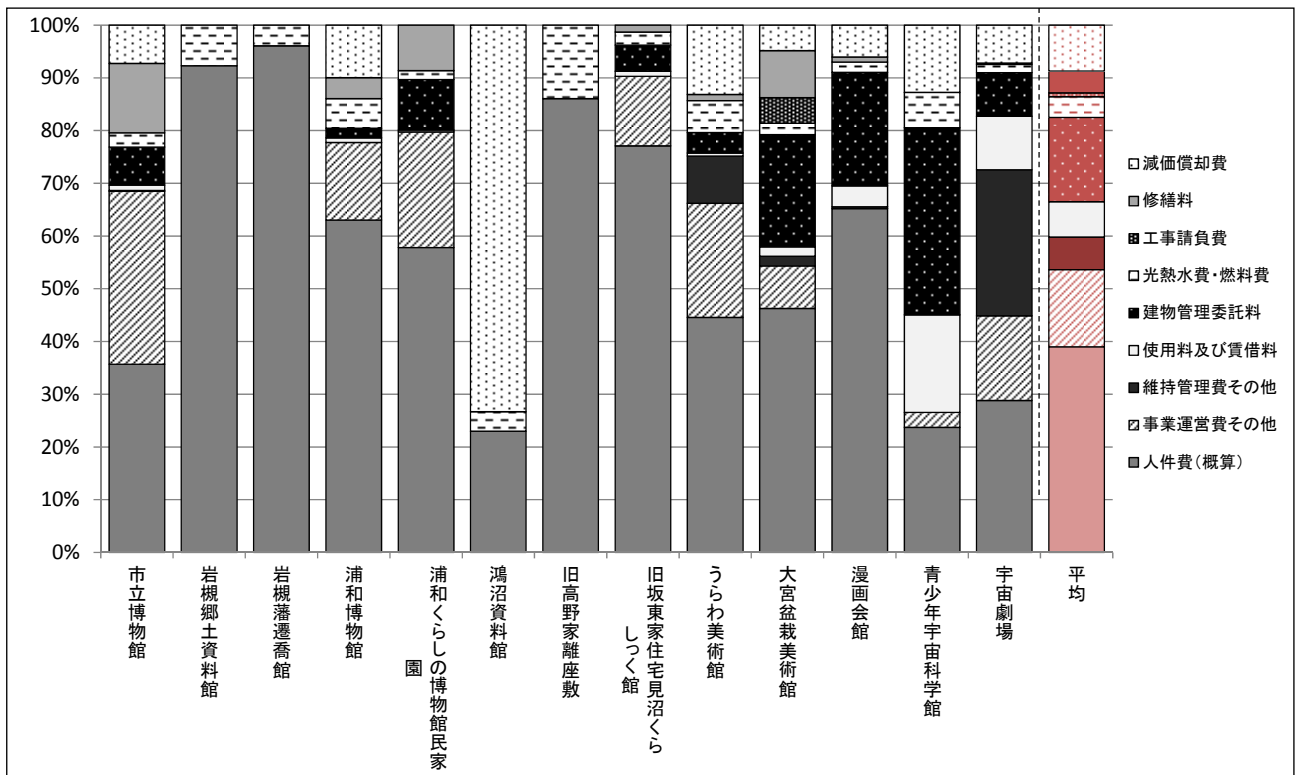
指定管理者委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115,947	115,947
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---------	---------

- 施設別の総コストは、旧高野家離座敷の 18 万円～青少年宇宙科学館の 3 億 197 万円となっている。

図表15 施設別総コスト



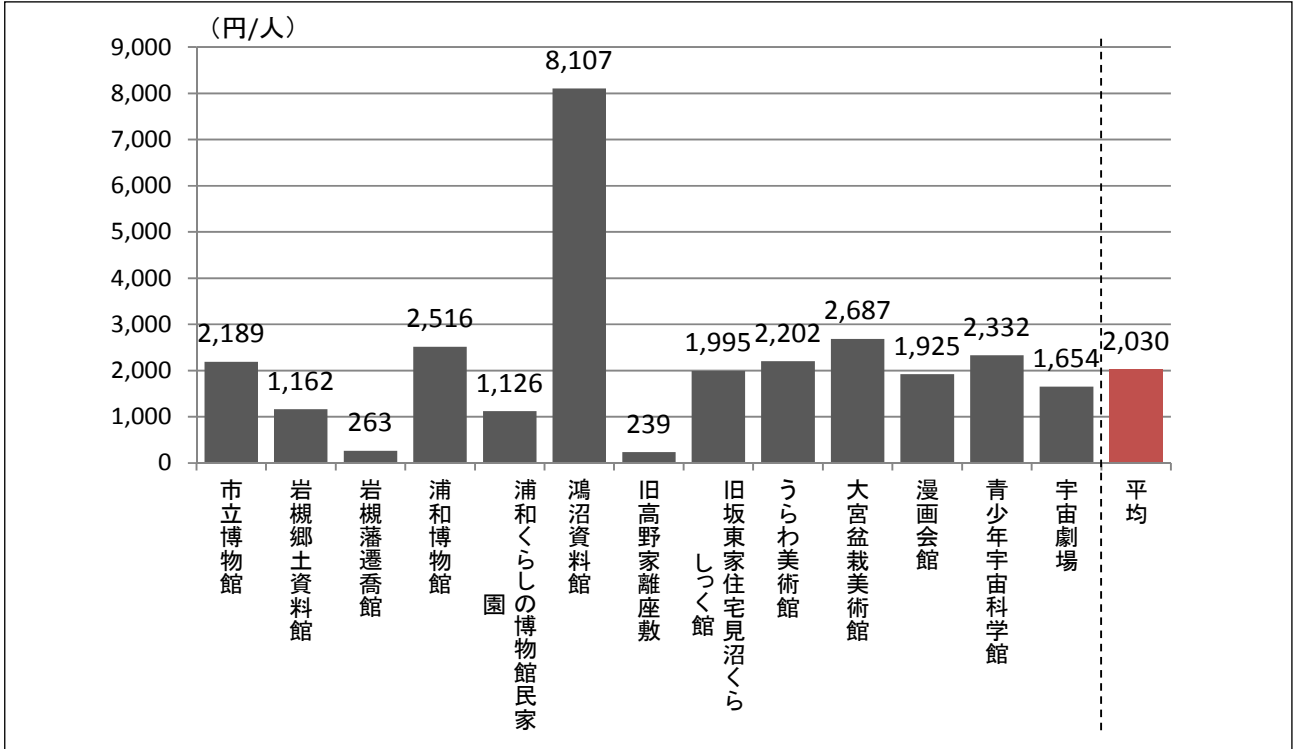
図表16 施設別総コスト (構成比)



② 利用当たり総コスト／床面積 1㎡当たり総コスト

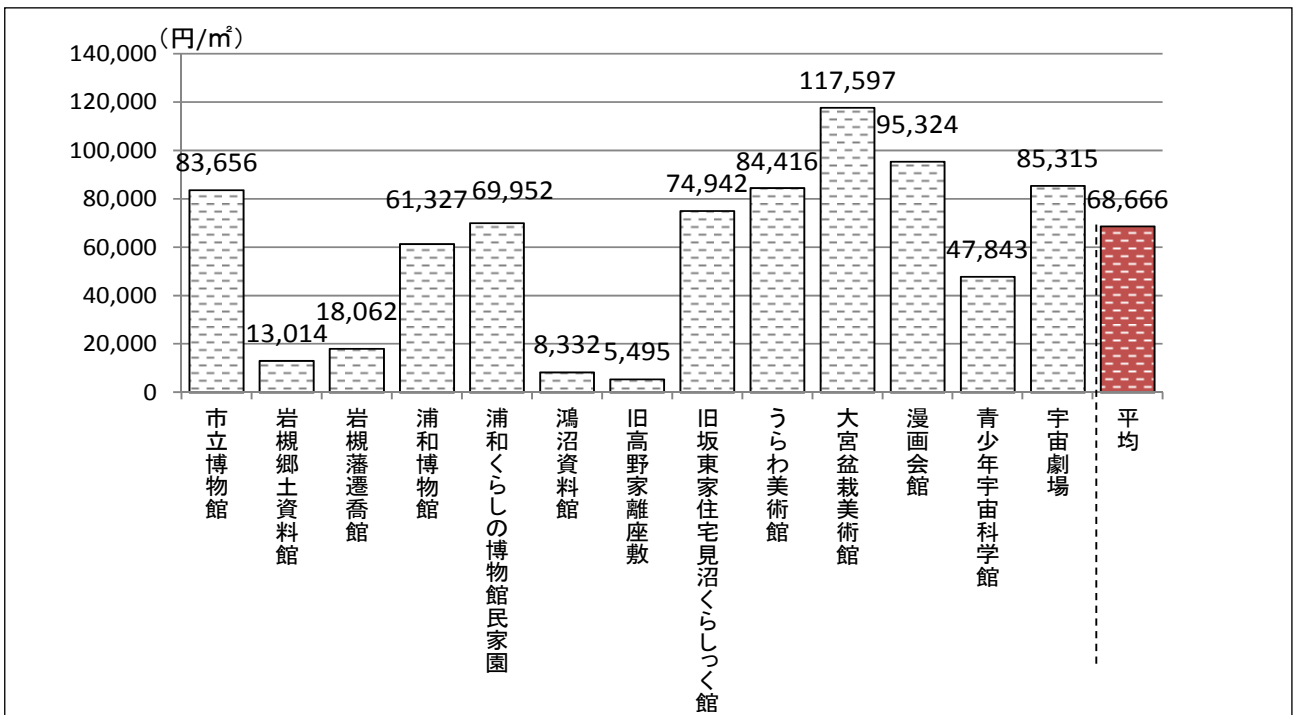
- 博物館等の利用 1人当たり総コストは、平均 2,030 円である。
- 博物館等の床面積 1㎡当たり総コストは、平均 6万 8,666 円である。

図表17 利用 1人当たり総コスト



※「維持管理費(臨時)」(工事請負費、設計委託費、備品購入費)については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

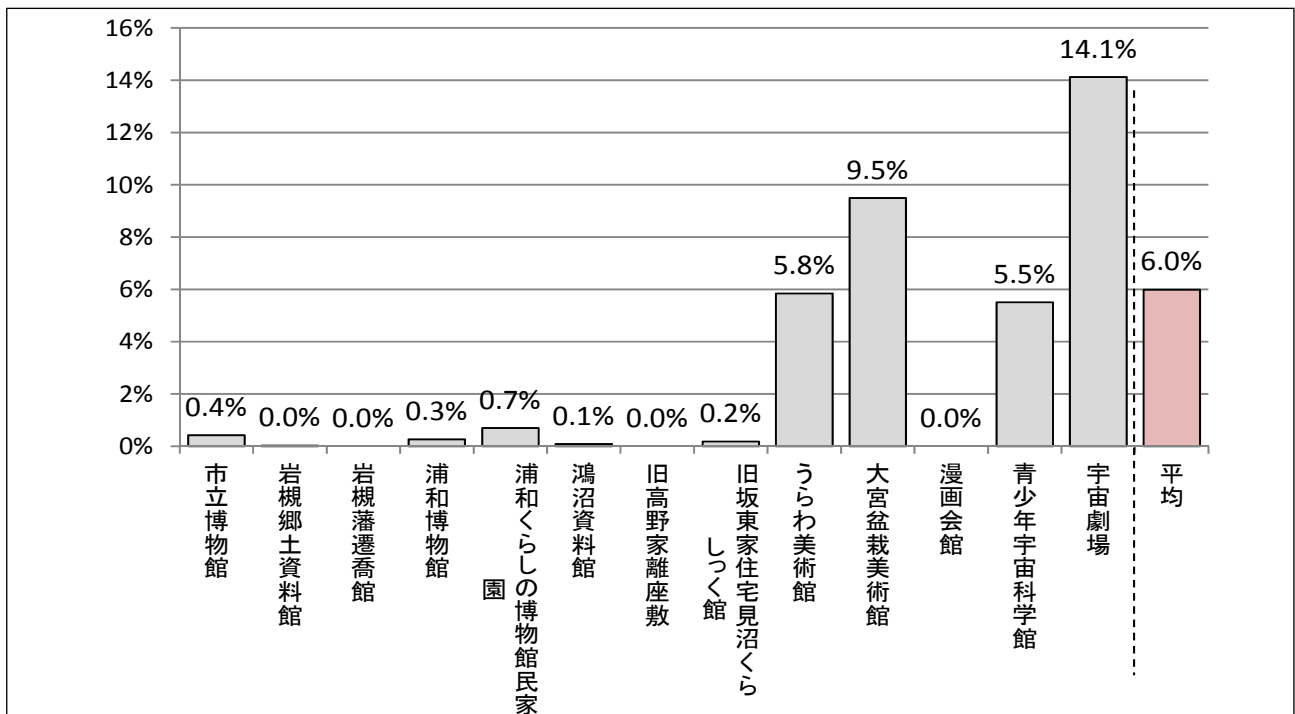
図表18 床面積 1㎡当たり総コスト



※「維持管理費(臨時)」(工事請負費、設計委託費、備品購入費)については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

- 博物館等の総コストに占める使用料等収入の割合は、平均6.0%である。

図表19 総コストに占める使用料等収入の割合

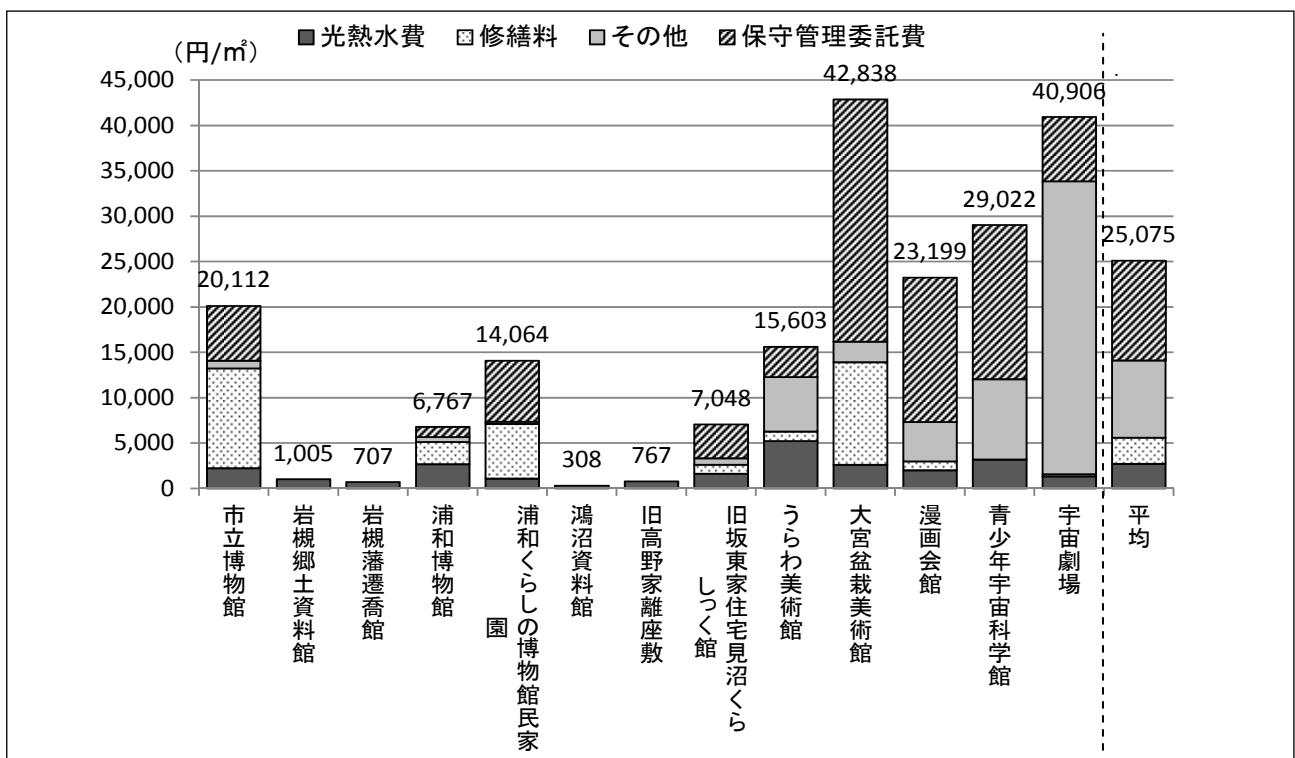


※「維持管理費(臨時)」(工事請負費、設計委託費、備品購入費)については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

③ 維持管理

- 維持管理経費として、光熱水費・修繕費・保守管理委託費・その他を把握した。
- 博物館等の床面積1㎡当たり維持管理費は、平均2万5,075円である。

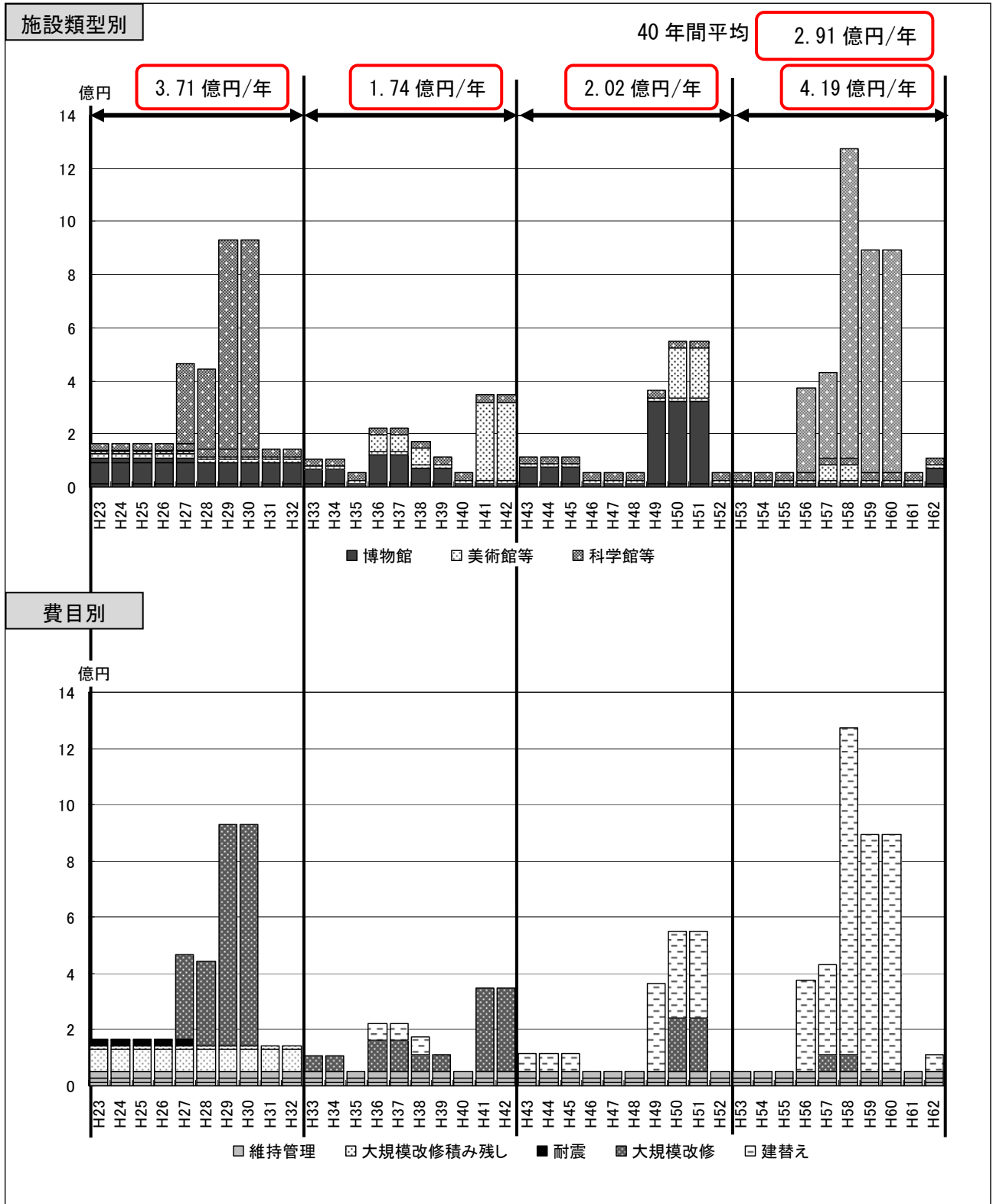
図表20 床面積1㎡当たり維持管理費状況



④ 今後の建替え・改修に係るコスト

- 今後必要なコストは、最初の10年間で年平均3.71億円、次の10年間で年平均1.74億円、次の10年間で年平均2.02億円、次の10年間で年平均4.19億円となる。40年間トータルの年平均コストは、2.91億円であり、現状の維持・更新コスト0.62億円の約4.7倍のコストが必要となる。

図表21 今後の建替え・改修に係るコスト



施設類型	施設分類	施設数
博物館等	【大分類】 市民利用施設 【中分類】 市民文化・社会教育系施設 【小分類】 博物館等	13施設

評価軸	評価内容	評価データ・評価の着眼点	評価基準		
			A	B	C
① 施設状況	計画との整合	配置計画・整備計画との整合	計画どおりの整備	ほぼ計画どおりの整備	計画より遅れている又は計画がない
	機能規模・機能バランス	施設類型別の機能別平均延床面積との比較	各機能とも概ね平均延床面積にある	平均延床面積を上回る機能がいくつかある	平均延床面積を上回る機能が多い
	施設の数	—	—	—	—
	施設の規模	人口1人当たりの延床面積	他市平均の90%未満	他市平均の90%～110%	他市平均の110%より大きい
	効率的な施設の活用	施設の複合化状況	30%以上の施設が複合化されている	30%未満の施設が複合化されている	複合化された施設はない
② 建物状況	老朽化状況	築年別の建物の延床面積の割合	過半が20年未満の建物である	過半が20年以上の建物である	過半が30年以上の建物である
	アスベスト対策	対応状況	対策済み	対策中	未対応
	バリアフリー化	基準適合義務の対応状況	対応済み	未対応施設が30%以下	30%を超える施設で未対応
	環境負荷低減	自然エネルギー・太陽光発電、屋上・壁面緑化、その他の環境対応設備の導入状況	導入済み	未導入施設が30%以下	30%を超える施設で未導入
③ 利用状況	利用の推移	利用者数の推移	増加	横ばい	減少
	稼働率・定員充足率等	稼働率	60%を上回る	40～60%程度	40%を下回る 80%を上回る
④ 運営状況	運営方式	指定管理者制度等の導入状況	全て導入済み	50%以上の施設で導入済み	導入施設が50%未満
	運営時間	夜間・土日の運営体制	全ての施設で夜間・土日も開館している	一部の施設で夜間・土日も開館している	全ての施設で夜間・土日も開館していない
	利用単位当たりの総コスト	利用1人当たりのコストのバラツキ	施設間に差が無い	平均より20%以上のバラツキがある	平均より50%以上のバラツキがある
	面積当たりの総コスト	延床面積1㎡当たりのコストのバラツキ	施設間に差が無い	平均より20%以上のバラツキがある	平均より50%以上のバラツキがある
	収入の割合	総コストに占める使用料等収入の割合	20%を上回る	20%～5%	5%未満
⑤ 防災状況	耐震性	新耐震基準・耐震対策済みの建物の状況	適合	対策中	対策が必要
	地域防災計画での位置付け	避難場所等としての位置付け	80%以上の施設で位置付けがある	50%以上の施設で位置付けがある	位置付けがある施設が50%未満
	避難場所としての機能	必要な機能の整備状況	80%以上の施設でいずれかの付加機能がある	50%以上の施設でいずれかの付加機能がある	いずれかの付加機能がある施設が50%未満
	耐風水害性	ハザードマップ上の位置	80%以上の施設で浸水深0m	50%以上の施設で浸水深0m	浸水深0mの施設が50%未満
⑥ コスト状況	維持管理	維持管理のベンチマーク（市民利用施設、行政施設全体の平均との比較。光熱水費、修繕費、保守管理委託費、その他）	妥当（市平均を下回る）	一部改善・対応の必要がある（市平均の100%～130%）	改善・対応の必要がある（市平均の130%以上）
	今後、建替え、改修に係るコスト	年当たり将来コストと現状との比較	現状の1.2倍未満	現状の2倍未満	現状の2倍以上

※A:個別評価でAが過半、C:個別評価でCが過半、B:それ以外

合計延床面積
18,326㎡ (@1,410㎡)

評価内容	総合評価	評価結果
ほぼ公共施設適正配置方針通りの整備状況となっている。	B	
会議室系諸室を有している施設が8施設あり、特に、宇宙劇場、青少年宇宙科学館のものが大きい。展示系の諸室について平均規模を上回る施設は8施設あり、特に、青少年宇宙科学館、浦和美術館、市立博物館のものが大きい。和室、研究室、ホールについては備えている施設は限られる。		
人口1人当たりの延床面積は、政令市平均が0.039㎡であるのに対し、0.015㎡と小さい(38%)。		
複合化されている施設はない(0%)。	B	<p>総合評価コメント</p> <p>1. 施設の充足、配置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館・資料館については、「さいたま市公共施設適正配置方針」に基づき、新規整備は行わず、市立博物館を中心に展示などの質的な充実を図ることとしている。 ・全市レベルの施設であるが、合併前の旧市単位で設置されているため、重複した機能をもつ施設もある。 ・人口1人当たりの延床面積については、他の政令指定都市と比較すると平均を下回っている。 ・「さいたま市行財政改革推進プラン2010」において、次のとおり改革の方向性を示している。 ＊青少年科学館と宇宙劇場のあり方について、他市の状況を参考に、検討体制を整備し、委員会を設置する。また委員会の結果をもとに市民からの意見を聴取し、新体制移行に向けた準備を行い、新体制を整備する。 ＊市立博物館、民家園については、展示や講座の質を高め利用者の増加を図るとともに、ボランティアの導入を進める。 ＊うらわ美術館については、指定管理者制度の導入を含めた管理運営計画を策定し、段階的に業務の委託化を行う。 <p>2. 施設の改修・更新状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・築20年以上経過している施設が過半を占め、そのうち築40年以上経過している施設が4施設、築30年以上経過している施設が2施設あり、これら施設の老朽化対策が今後必要となる。 ・改修・更新にかかる将来コスト試算では、当初10年間のコストが現状の6.0倍、今後40年平均のコストが4.7倍となることが予測される。 <p>3. 利用・運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は増加傾向にある。 ・稼働率を把握できる4施設について、平均は62%であり、比較的高い数字を示している。 ・宇宙劇場には指定管理者制度を導入しているが、その他の施設は市直営である。 ・利用単位当たりのコストにおける施設間の差については、利用1人当たりのコストでは平均値に対して最大4.0倍と大きい。 <p>4. 防災対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いずれの施設についても避難場所に指定されていないが、多くの人員を収容できるスペースを有する施設については、避難場所としての機能を担える可能性がある。
築40年以上が4施設(1,201㎡)、築30年以上が2施設(2,786㎡)、築20年以上が3施設(9,152㎡)、築20年未満が4施設(5,187㎡)となっている(築20年以上71%)。		
全施設とも実施済み。		
全ての項目において対応がなされているのは3施設であり、4施設については、多くの項目において対応がなされていない。なお、旧高野家離座敷については、全ての項目について対応は不要である(69%)。	A	
全ての項目について導入がなされているのは大宮盆栽美術館のみで、他には、漫画会館が一部の項目が導入済みとなっている。全般的に導入が進んでいない(92%)。		
増加傾向にあり、最近5年間で49万人から62万人に増加している。		
稼働率を把握可能な4施設について、平均は62%となっている。うらわ美術館は77%、宇宙劇場は76%と比較的高い数字を示している。	C	
宇宙劇場のみが指定管理者制度を導入している(8%)。		
いずれの施設についても土日も開館している。夜間については、1施設が21:00まで開館している。		
利用1人当たりコストは、全体平均が2,030円であるのに対し、コストが最大の施設は8,107円であり、全体平均の3.99倍と、施設間のコストの差は大きい(12%~399%)。	B	
全体平均が68,666円であるのに対し、コストが最大の施設は117,597円であり、全体平均の1.71倍となっている。施設間のコストの差は大きい(8%~171%)。		
全体平均は6.0%である。		
4施設は耐震補強が未実施である。そのうち3施設は耐震診断が未実施である。	B	
いずれの施設についても避難場所等としての位置付けはなされていない(0%)。		
ほとんどの施設が冷暖房設備を有している。しかし、代替電源設備を有しているのは4施設、調理設備を有しているのは1施設にとどまる。また、入浴施設(シャワーのみ)を有している施設も2施設にとどまる(85%)。		
ほとんどの施設で浸水深0mとなっている(85%)。	C	
延床1㎡当たりの維持管理コストは25,075円で、全体平均の290%となっている。		
年当たりの将来コストについて今後40年間で10年ごとにみると、10年目までが3.71億円(6.0倍)、20年目までが1.74億円(2.8倍)、30年目までが2.02億円(3.3倍)、40年目までが4.19億円(6.8倍)となっている。現状の2.8倍~6.8倍となる。		

市民文化・社会教育系施設 その他施設

(1) 施設状況

① 概要

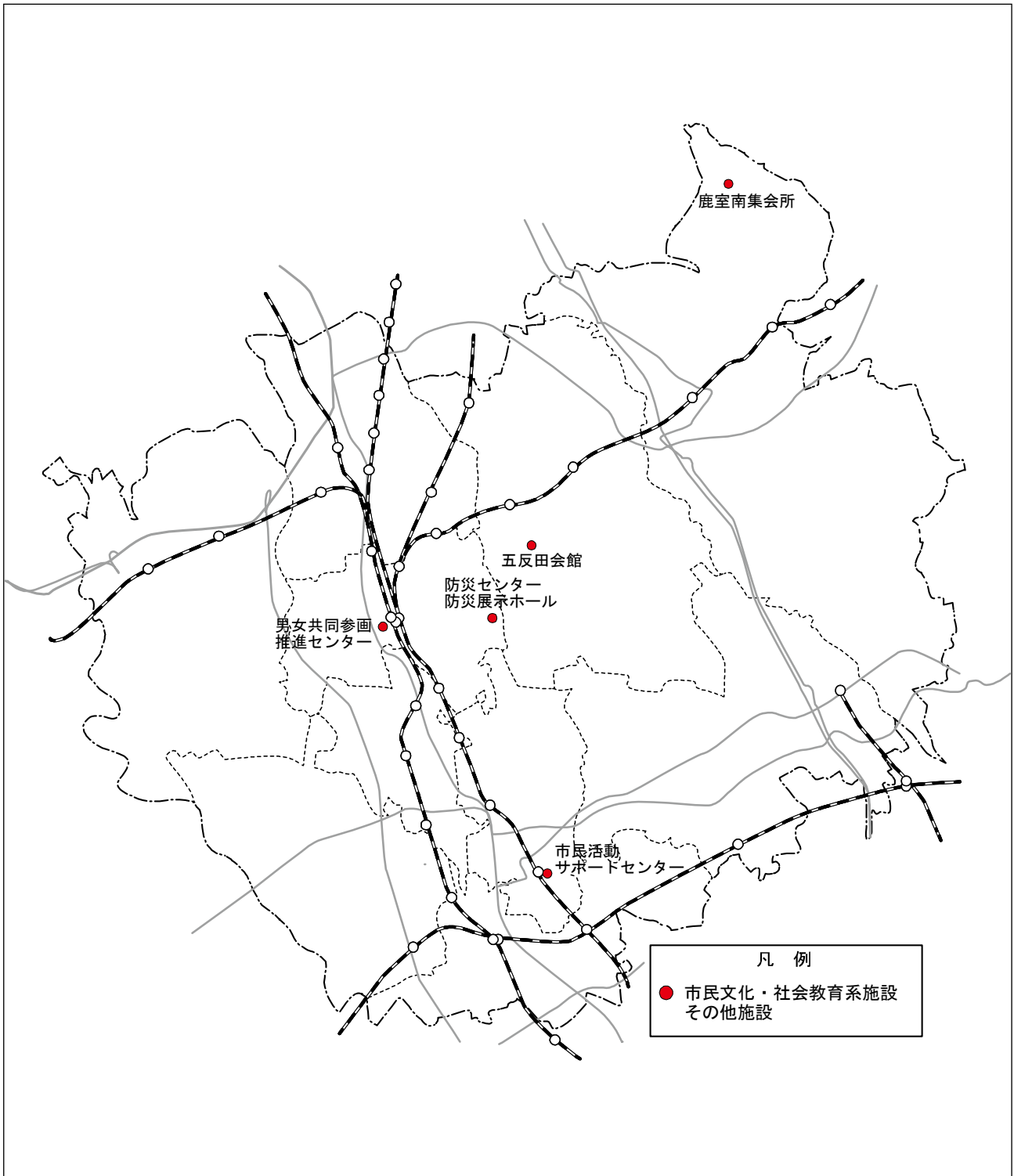
- 市民活動サポートセンターは、さいたま市市民活動サポートセンター条例に基づき、市民活動を支援し、その活性化を図るための拠点施設として、浦和駅東口駅前ビルのコムナーレ内に設置されている。
- 男女共同参画推進センター（愛称：パートナーシップさいたま）は、さいたま市男女共同参画推進センター条例に基づき、男女共同参画社会の形成を推進するための拠点施設として、大宮駅西口のシーノ大宮センタープラザ内に設置されている。
- 防災センター防災展示ホールは、さいたま市防災センター条例に基づき、災害に関する知識の普及及び防災意識の高揚を図るとともに、災害応急活動の拠点となる施設として、防災センター内に設置されている。
- 五反田会館及び鹿室南集会所は、さいたま市人権教育集会所条例に基づき、同和問題を始めとした様々な人権問題の解決を図るための人権教育推進の場として設置されている。

図表1 施設一覧

施設名	延床面積 (㎡)	建築年	開設年	主な機能	併設施設
市民活動サポートセンター	3,232	H17	H19	ミーティングスペース、交流スペース、ラウンジ、印刷作業室、多目的展示コーナー、資料閲覧コーナー	浦和消費生活センター、国際交流センター、中央図書館、浦和コミュニティーセンター
男女共同参画推進センター	563	H16	H16	交流コーナー、情報・資料コーナー、会議室、印刷コーナー、プレイルーム	生涯学習総合センター、桜木公民館、桜木図書館
防災センター防災展示ホール	939	S63	H2	展示ホール、多目的ホール	大宮消防署
五反田会館	378	S61	S62	レクリエーションホール、実習室、集会室、和室	
鹿室南集会所	123	S47	S47	和室、調理室、会議室	

※ 建築年とは、建築着工年のことをいい、一番古い棟の年を記載している。

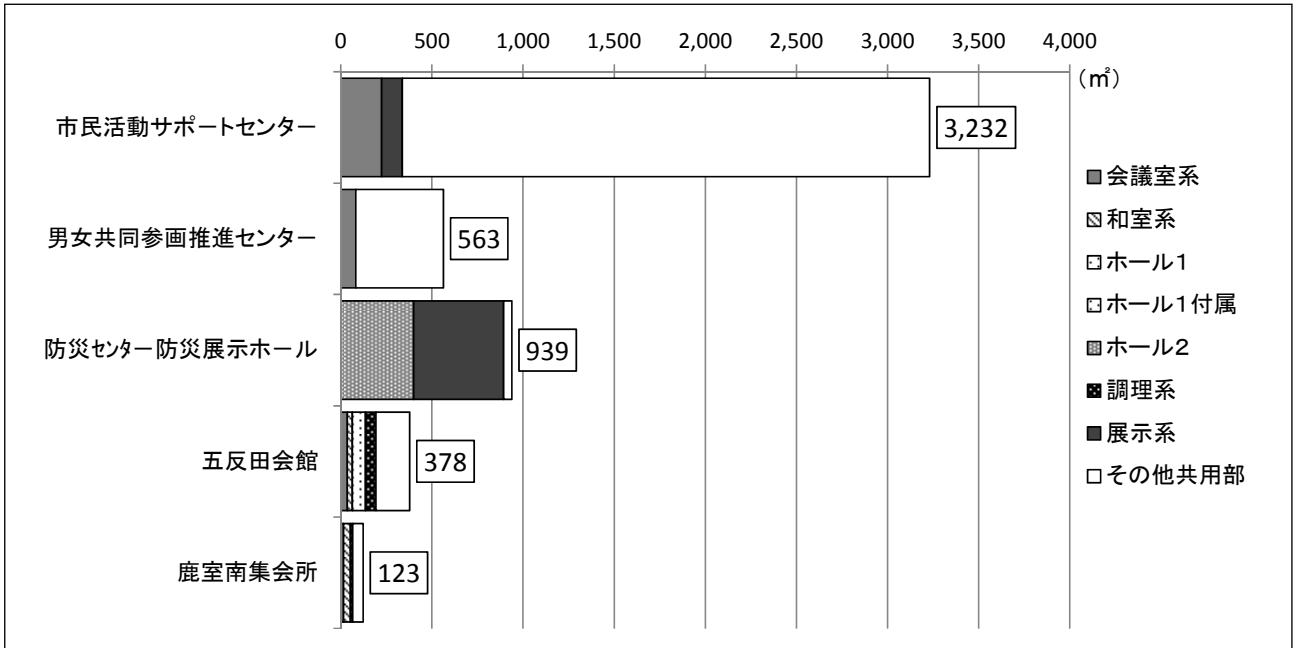
図表2 市民文化・社会教育系施設 その他施設 位置図



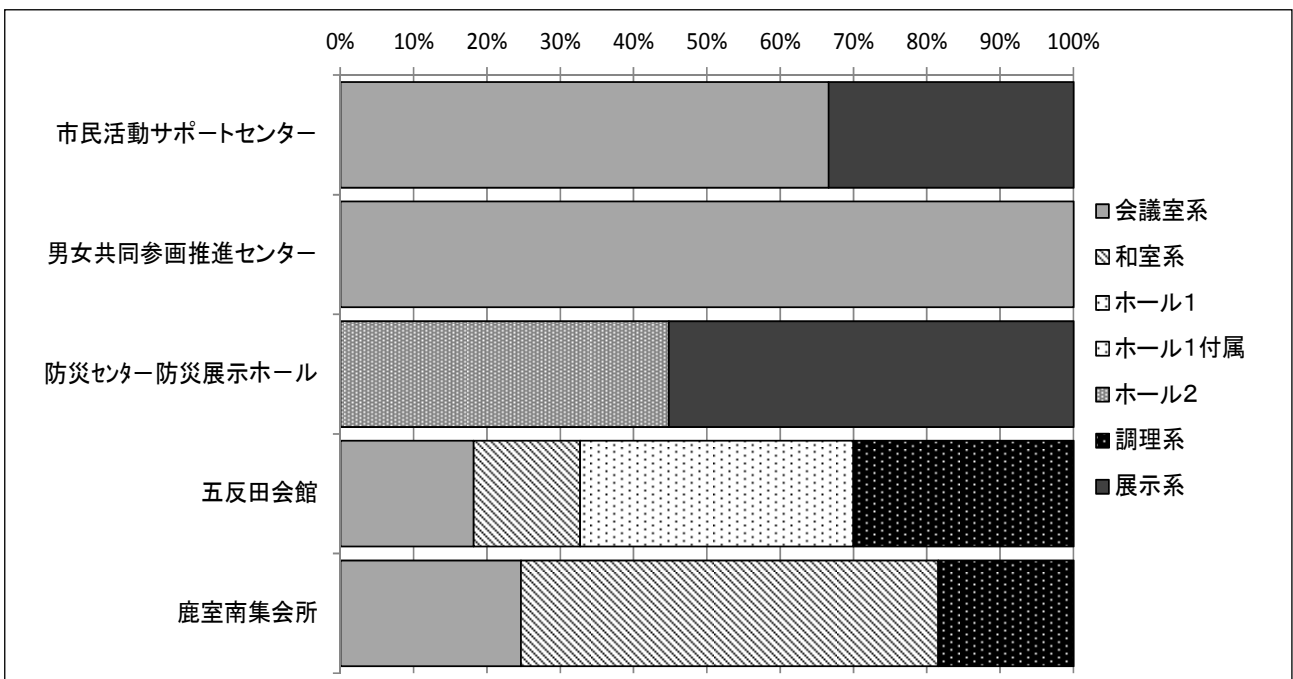
② スペース構成

- 市民活動サポートセンターは、ミーティングスペースやラウンジ、交流スペース、資料閲覧コーナーのほか、パソコンコーナーや印刷作業室を備えている。
- 男女共同参画推進センターは、会議室のほか、会議室利用時の託児設備としてのプレイルーム、交流コーナーや情報・資料コーナーを備えている。
- 人権教育集会所は和室・調理室を備えており、このうち五反田会館は、ホールを有している。

図表3 各施設別のスペース構成



図表4 各施設別のスペース構成比



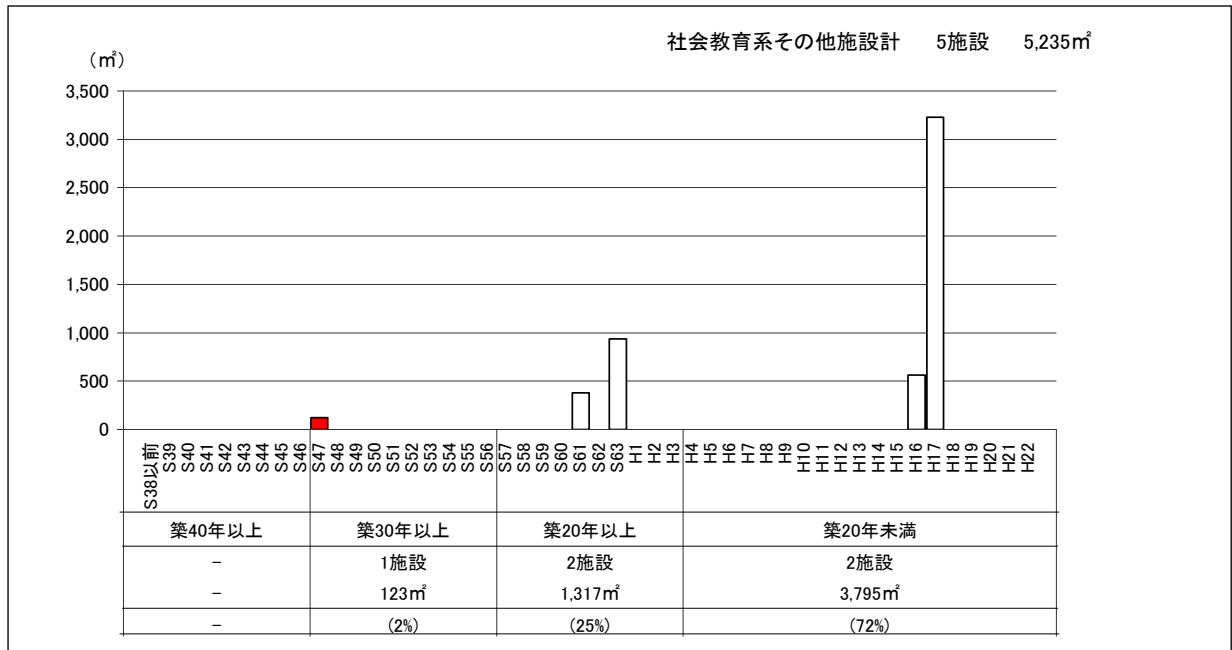
※ 倉庫、機械室、通路等の共用スペースを除く。

(2) 建物状況

① 老朽化状況

- 市民活動サポートセンター、男女共同参画推進センターの2施設は、建築後10年未満の比較的新しい施設であり、再開発ビル内に整備されている。防災センター防災展示ホールは、建築後23年を経過している。鹿室南集会所のみ、建築後30年以上経過した施設となっている。なお、老朽化状況の判断については、築年数に加え、各施設の劣化診断等も含めて判断することが必要となる。

図表5 築年別整備状況



② 機能改善 (アスベスト)

- アスベスト対策については、全施設で対応が完了している。

③ 機能改善 (バリアフリー)

- バリアフリー等への対応状況は、一部未実施の項目がある。

④ 環境負荷低減

- 自然エネルギー・太陽光発電、屋上緑化・壁面緑化、その他環境対応設備については、一部未実施の項目がある。

図表6 建物状況

施設名	①老朽化		②機能改善	③機能改善(バリアフリー)						④環境負荷低減			⑤維持管理費(千円)		
	建築年	経過年数	機能改善(アスベスト対)	車いす用エレベータ	身障者用トイレ	車いす用トイレ	自動ドア	手すり	点字ブロック	自然エネルギー・太陽光発電	屋上緑化・壁面緑化	環境対応設備	光熱水費	修繕料	建物管理委託料
市民活動サポートセンター	H17	6	●	●	●	●	●	-	●	●	●	●	11,654	127	6,197
男女共同参画推進センター	H16	7	●	●	●	-	-	●	●	×	×	●	666		
防災センター防災展示ホール	S63	23	●	●	●	●	×	×	×	×	×	●	6,981	1,926	57,713
五反田会館	S61	25	●	×	●	●	●	●	●	×	×	×	1,203	1,585	2,413
鹿室南集会所	S47	39	●	×	×	×	×	●	×	×	×	×	100		629

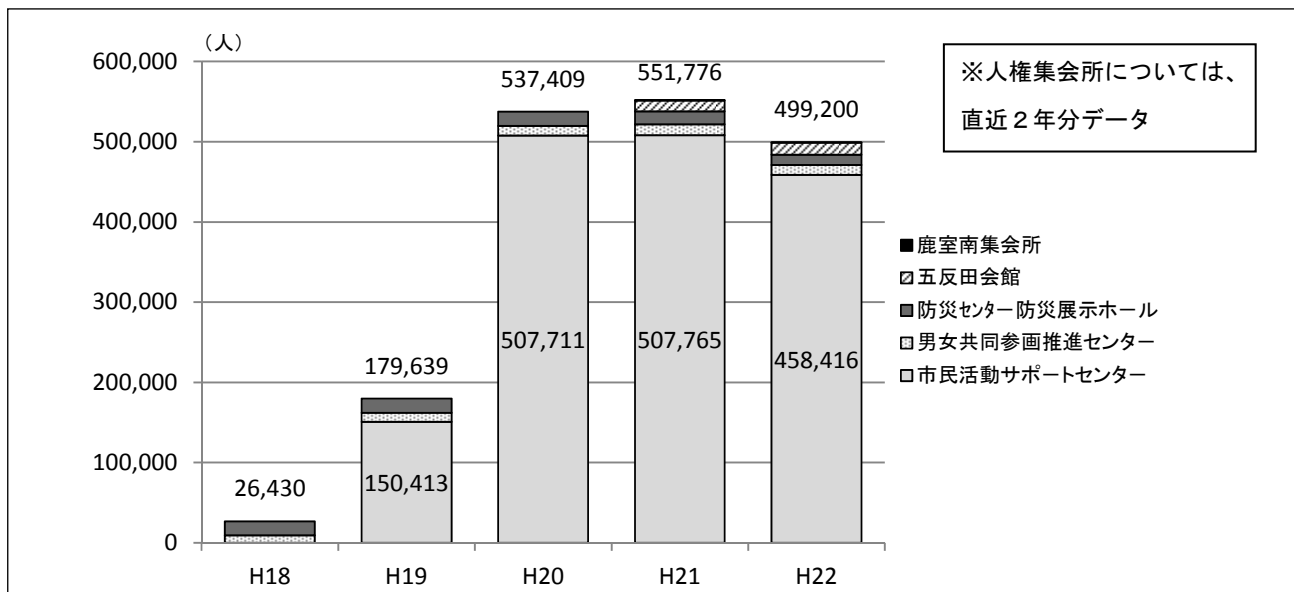
※ 「●…対応済」、「▲…対応中」、「-…対応不要」、「×…未対応」を表している。

(3) 利用状況

① 利用者数の推移

- 5施設全体の利用者数は市民活動サポートセンター開設後の平成20年、21年をみると、54万人程度であり、総利用者数は、49万9,200人で平成21年度(2009年度)より約10%減少している。施設別の利用者数では、市民活動サポートセンターの利用者が年間45.8万人と全体の約92%を占めている。
- 男女共同参画推進センターの利用者数は、会議室等の利用者や相談者数等の合計であり、交流コーナーや情報・資料コーナー等の利用者数は把握していない。

図表7 利用者数の推移(施設別)



(4) 運営状況

① 運営方式

- 運営方式については、市民活動サポートセンターのみ指定管理者制度を導入しており、その他4施設については市直営となっている。

図表8 運営方式一覧

施設名	指定管理者名	指定期間	(年)	選定方法
市民活動サポートセンター	(特非)さいたま NPO センター	H19.10~H23.3	3.5	公募
男女共同参画推進センター	直営			
防災センター防災展示ホール	直営			
五反田会館	直営			
鹿室南集会所	直営			

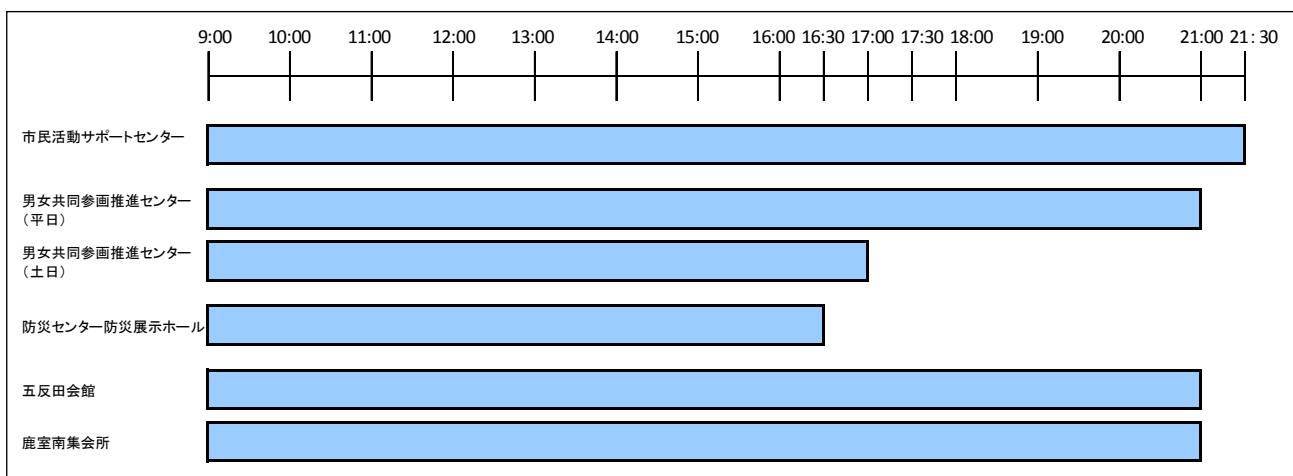
② 運営日数、運営時間

- 各施設とも年末年始が休館である他、基本的に男女共同参画推進センターは第4日曜日、防災センター防災展示ホール・鹿室南集会所は月曜日、祝日が休館となっている。
- 運営時間については、市民活動サポートセンターは9時~21時30分まで、防災センター防災展示ホールは9時~16時30分までとなっている。男女共同参画推進センターは平日9時~21時、休日(土曜日、日曜日、祝日)9時~17時となっている。人権集会所2施設は、9時~21時となっている。

図表9 運営日数

	市民活動サポートセンター	男女共同参画推進センター	防災センター防災展示ホール	五反田会館	鹿室南集会所
運営日数	356日	347日	284日	279日	37日

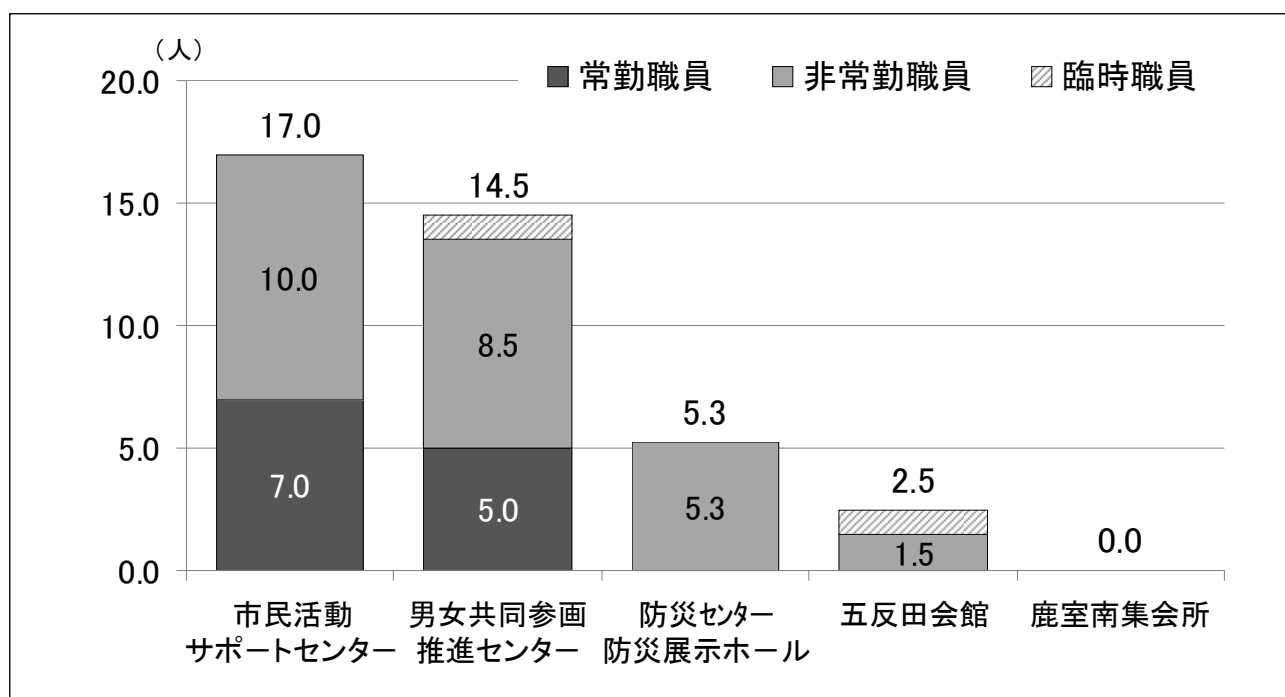
図表10 運営時間



③ 運営人員

- 1施設当たり約5人～約19人の運営人員となっている。
- 市民活動サポートセンターは指定管理職員、防災センター防災展示ホールは再任用職員により運営されている。
- 男女共同参画推進センターについては、臨時職員等（臨時職員、非常勤の事業コーディネーター、非常勤の婦人相談員）が配置されている。
- 鹿室南集会所は、他施設等の職員が出張して対応している。

図表11 運営人員



④ 利用1人当たり総コスト

「(6) コスト状況」参照

⑤ 床面積1㎡当たり総コスト

「(6) コスト状況」参照

⑥ 総コストに占める使用料等収入の割合

「(6) コスト状況」参照

(5) 防災状況

① 耐震性

- 鹿室南集会所が旧耐震基準の建物であり、耐震診断未実施となっている。(平成23年(2011年)4月に建替え後の施設を開設した。)

② 地域防災計画での位置付け

- 地域防災計画において、全施設が対象外施設となっている。

③ 避難場所としての機能

- 5施設とも付加機能が少ない。

④ 耐風水害性

- 防災センター防災展示ホールは、洪水ハザードマップにおける各施設の浸水深度が「浸水深 1.0m~2.0m」のD判定となっている。

図表12 防災状況一覧

	耐震性		地域防災計画での位置付け					避難場所としての機能									耐風水害性	
	耐震診断	耐震補強	災害対策本部	避難場所	応急給水場所	医療救護所	拠点備蓄倉庫	避難場所運営委員会の有無	備蓄の有無	通信設備	簡易トイレ	マンホールトイレ	調理設備	代替電源設備	冷暖房設備	入浴施設		収容可能スペース(m ²)
市民活動サポートセンター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	A
男女共同参画推進センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	A
防災センター防災展示ホール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	401	D
五反田会館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	A
鹿室南集会所	未実施	未実施	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	A

※「○…指定または保有」、「▲(冷暖房)…施設の一部に保有」、「▲(入浴施設)…シャワー(温水)のみ保有」を表している。

(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

- 市民文化・社会教育系施設 その他施設の総コストの総計は3億9,195万円であり、1施設当たり平均は7,839万円である。
- 総コスト3億9,195万円のうち、維持管理費は1億9,003万円、事業運営費は1億6,805万円、減価償却費は3,387万円である。また、3億9,195万円のうち、指定管理委託料は5,200万円(13.2%)となっている。
- 年間収入の合計は897万円(総コストの2.3%に相当)で、1施設当たり平均は179万円である。

図表13 施設別総コスト

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

(千円)

コストの部		市民活動サポートセンター	男女共同参画推進センター	防災センター 防災展示ホール	五反田会館	鹿室南集会所	計
維持管理費	修繕料	127	0	1,926	1,585	0	3,637
	工事請負費	0	0	0	0	58,979	58,979
	光熱水費・燃料費	11,654	666	7,576	1,203	128	21,228
	建物管理委託料	6,197	0	57,713	2,413	629	66,953
	使用料及び賃借料	0	0	1,336	521	75	1,932
	その他	22,488	12,595	49	989	1,181	37,303
維持管理費 計		40,467	13,261	68,600	6,712	60,992	190,032
事業運営費	市職員人件費(概算)	41,278	71,745	25,742	3,816	0	142,581
	その他	10,722	9,039	747	2,841	2,118	25,467
事業運営費 計		52,000	80,784	26,489	6,657	2,118	168,048
現金収支を伴うコスト 計		92,467	94,045	95,090	13,369	63,110	358,080

【収益の部】

使用料	2,033	536	0	0	0	2,569
その他	229	6,154	0	16	0	6,400
収益 計	2,262	6,690	0	16	0	8,969

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費	19,745	5,328	5,737	2,310	752	33,871
-------	--------	-------	-------	-------	-----	--------

III. 総括

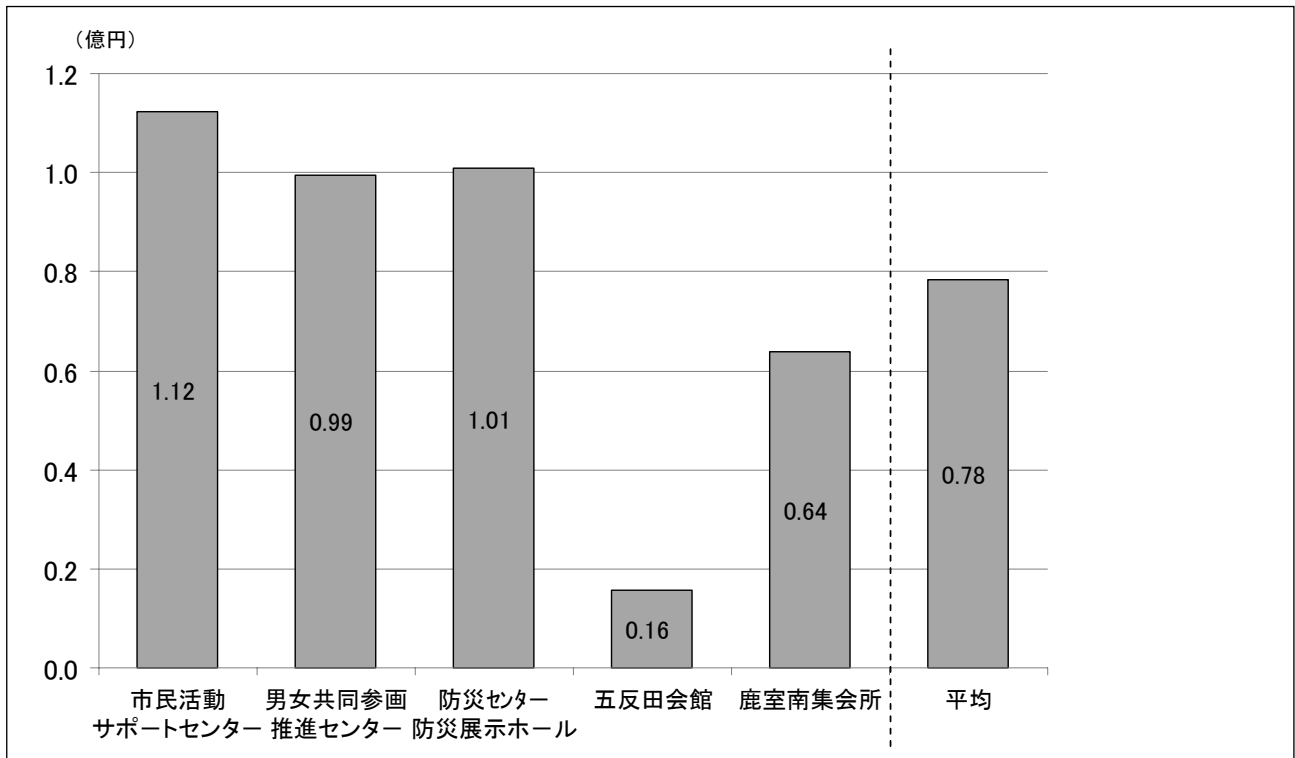
コストの部合計(総コスト)	112,212	99,373	100,827	15,678	63,861	391,951
収支差額	109,950	92,683	100,827	15,662	63,861	382,982

(参考)

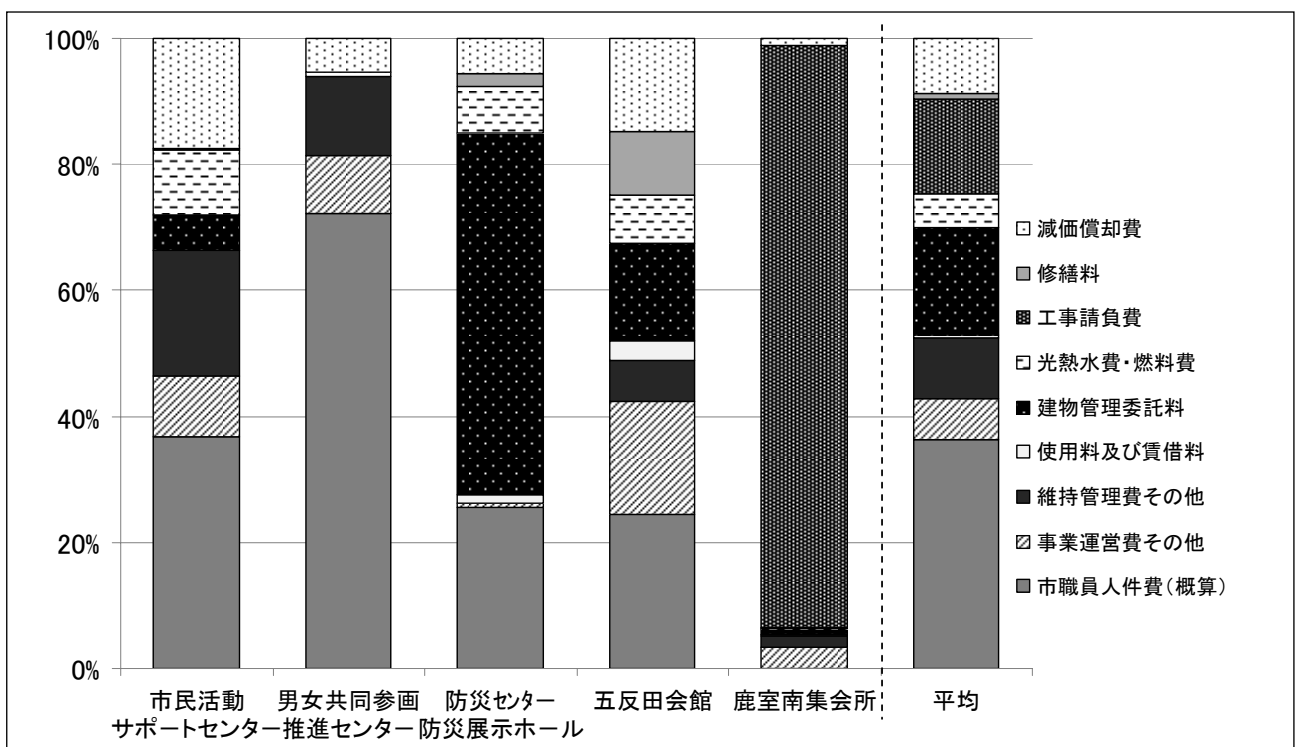
指定管理者委託料	52,000	0	0	0	0	52,000
----------	--------	---	---	---	---	--------

- 施設別の総コストは、五反田会館の 1,568 万円～市民活動サポートセンターの 1 億 1,221 万円となっている。
- 鹿室南集会所は、平成 22 年度（2010 年度）に建替え工事を行っている。

図表14 施設別総コスト



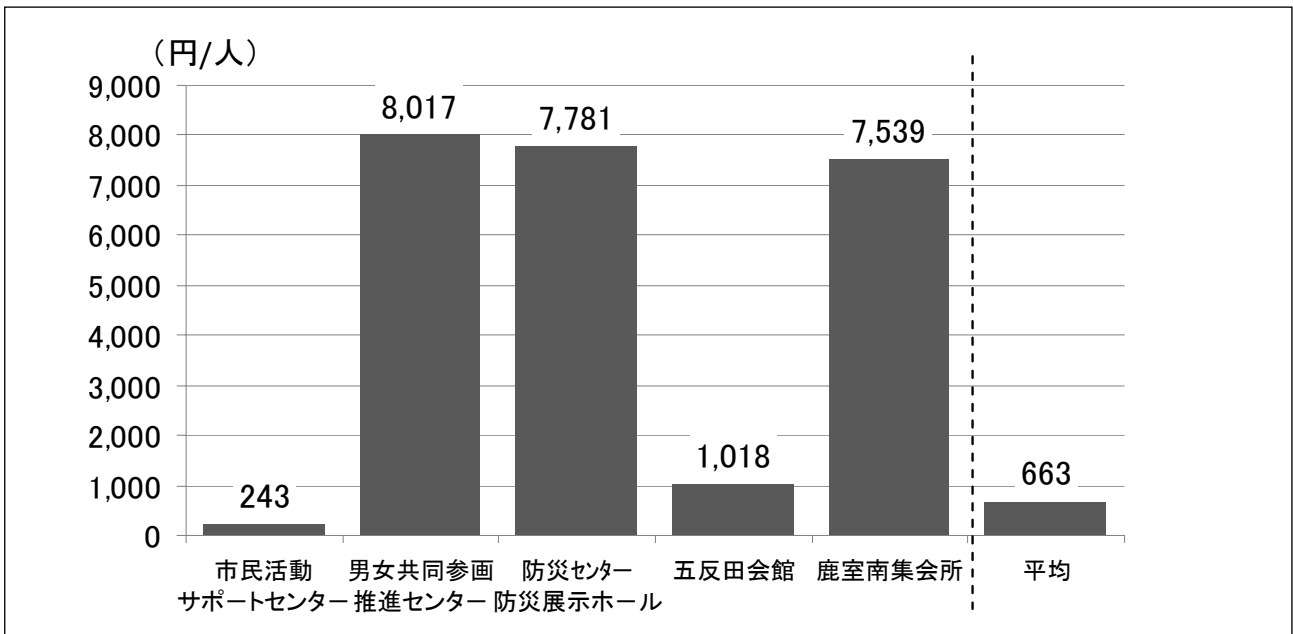
図表15 施設別総コスト（構成比）



② 利用当たり総コスト／床面積 1㎡当たり総コスト

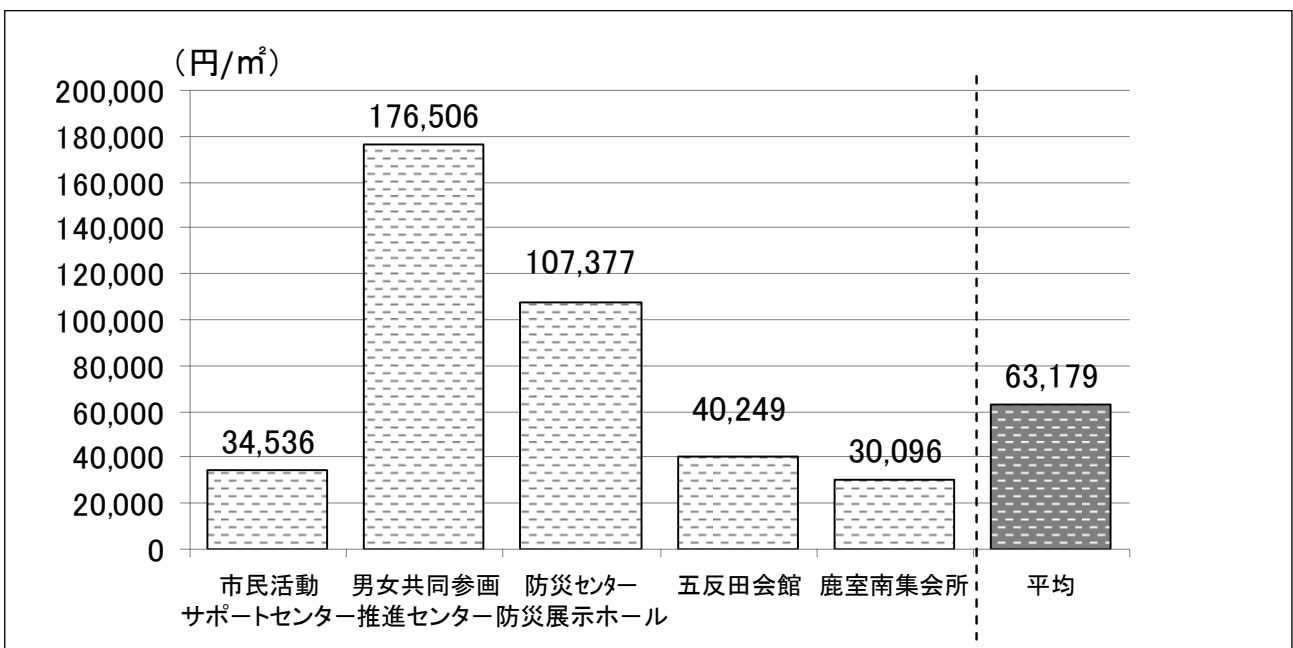
- 市民文化・社会教育系施設 その他施設の利用 1 人当たり総コストは、平均 663 円である。
- 市民文化・社会教育系施設 その他施設の床面積 1 ㎡当たり総コストは、平均 6 万 3,179 円である。

図表16 利用 1 人当たり総コスト



※「維持管理費（臨時）」（工事請負費、設計委託費、備品購入費）については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

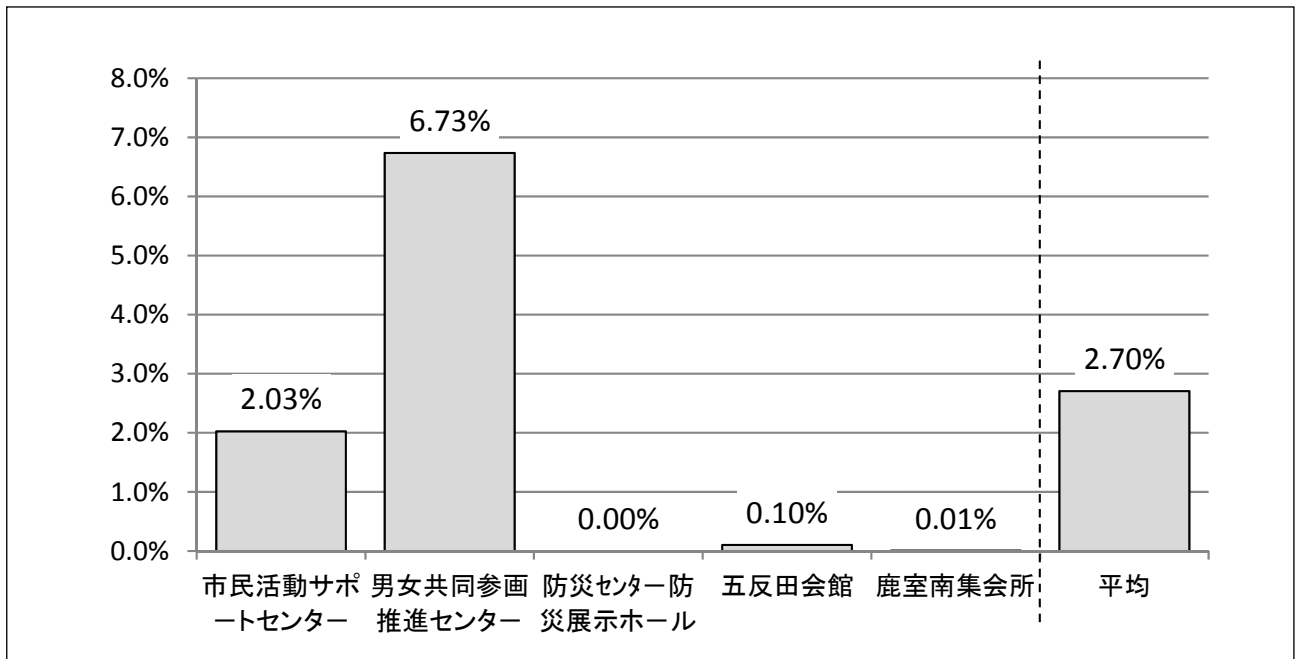
図表17 床面積 1㎡当たり総コスト



※「維持管理費（臨時）」（工事請負費、設計委託費、備品購入費）については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

- 市民文化・社会教育系施設 その他施設の総コストに占める使用料等収入の割合は、平均 2.70% である。

図表18 総コストに占める使用料等収入の割合

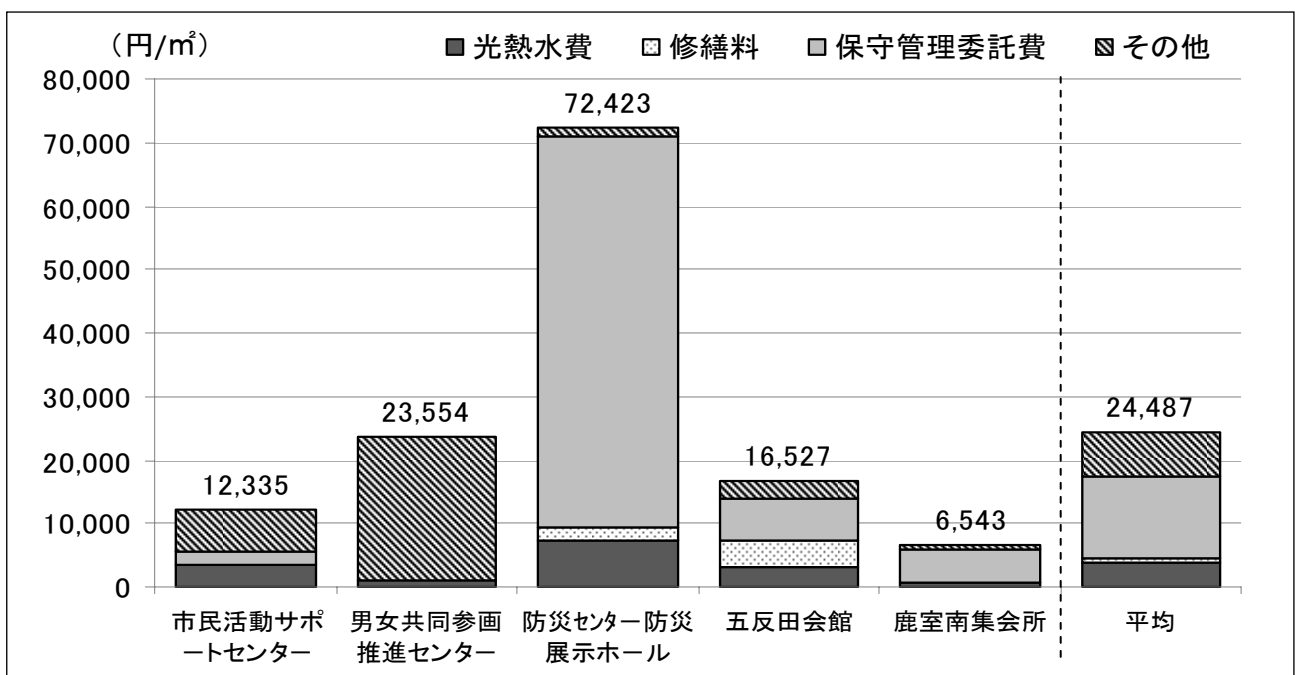


※「維持管理費（臨時）」（工事請負費、設計委託費、備品購入費）については、経常的な管理・運営コストとはみなさず、総コストから差し引いて計算している。

③ 維持管理

- 維持管理経費として、光熱水費・修繕費・保守管理委託費・その他を把握した。
- 市民文化・社会教育系施設 その他施設の床面積 1 m²あたり維持管理費は、平均 2万 4,487 円である。

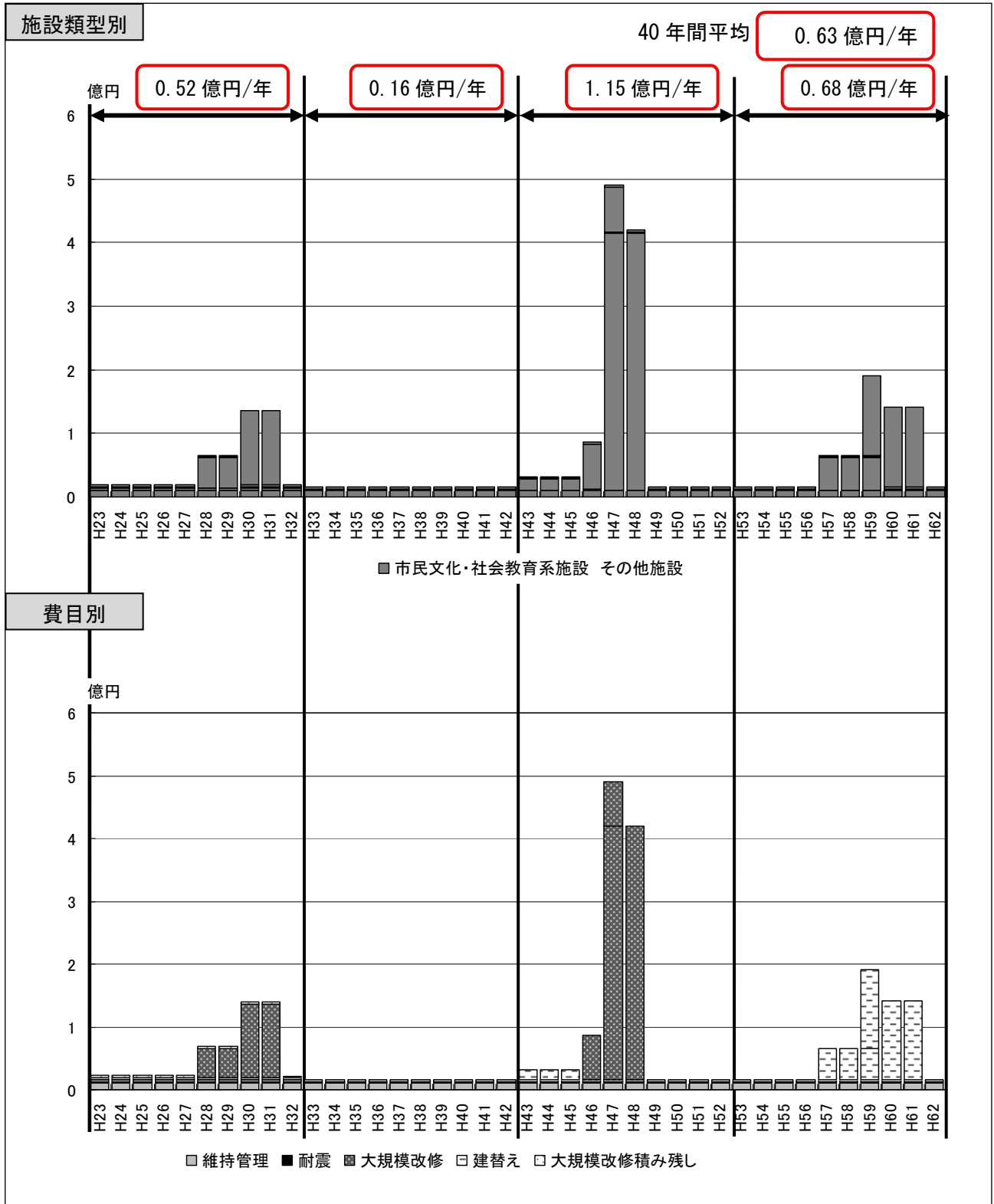
図表19 床面積 1 m²あたり維持管理費状況



④ 今後の建替え・改修に係るコスト

- 今後必要なコストは、最初の10年間で年平均0.52億円、次の10年間で年平均0.16億円、次の10年間で年平均1.15億円、次の10年間で年平均0.68億円となる。40年間トータルの年平均コストは、0.63億円であり、現状の維持・更新コスト0.63億円の約1.0倍のコストが必要となる。

図表20 今後の建替え・改修に係るコスト



施設類型		施設分類		施設数
市民文化・社会教育系施設 その他施設		【大分類】 市民利用施設 【中分類】 市民文化・社会教育系施設 【小分類】 その他施設		5施設

評価軸	評価内容	評価データ・評価の着眼点	評価基準		
			A	B	C
① 施設状況	計画との整合	配置計画・整備計画との整合	計画どおりの整備	ほぼ計画どおりの整備	計画より遅れている又は計画がない
	機能規模・機能バランス	施設類型別の機能別平均延床面積との比較	各機能がとも概ね平均延床面積にある	平均延床面積を上回る機能がいくつかある	平均延床面積を上回る機能が多い
	施設の数	—	—	—	—
	施設の規模	—	—	—	—
	効率的な施設の活用	施設の複合化状況	30%以上の施設が複合化されている	30%未満の施設が複合化されている	複合化された施設はない
② 建物状況	老朽化状況	築年別の建物の延床面積の割合	過半が20年未満の建物である	過半が20年以上の建物である	過半が30年以上の建物である
	アスベスト対策	対応状況	対策済み	対策中	未対応
	バリアフリー化	基準適合義務の対応状況	対応済み	未対応施設が30%以下	30%を超える施設で未対応
	環境負荷低減	自然エネルギー・太陽光発電、屋上・壁面緑化、その他の環境対応設備の導入状況	導入済み	未導入施設が30%以下	30%を超える施設で未導入
③ 利用状況	利用の推移	利用者数、利用件数の推移	増加	横ばい	減少
	稼働率・定員充足率等	稼働率	—	—	—
④ 運営状況	運営方式	指定管理者制度等の導入状況	全て導入済み	50%以上の施設で導入済み	導入施設が50%未満
	運営時間	夜間・土日の運営体制	全ての施設で夜間・土日も開館している	一部の施設で夜間・土日も開館している	全ての施設で夜間・土日いずれも開館していない
	利用単位当たりの総コスト	利用1人当たりのコストのバラツキ	施設間に差が無い	平均より20%以上のバラツキがある	平均より50%以上のバラツキがある
	面積当たりの総コスト	延床面積1㎡当たりのコストのバラツキ	施設間に差が無い	平均より20%以上のバラツキがある	平均より50%以上のバラツキがある
	収入の割合	総コストに占める使用料等収入の割合	20%を上回る	20%～5%	5%未満
⑤ 防災状況	耐震性	新耐震基準・耐震対策済みの建物の状況	適合	対策中	対策が必要
	地域防災計画での位置付け	避難場所等としての位置付け	80%以上の施設で位置付けがある	50%以上の施設で位置付けがある	位置付けがある施設が50%未満
	避難場所としての機能	必要な機能の整備状況	80%以上の施設でいずれかの付加機能がある	50%以上の施設でいずれかの付加機能がある	いずれかの付加機能がある施設が50%未満
	耐風水害性	ハザードマップ上の位置	80%以上の施設で浸水深0m	50%以上の施設で浸水深0m	浸水深0mの施設が50%未満
⑥ コスト状況	維持管理	維持管理のベンチマーク（市民利用施設、行政施設全体の平均との比較。光熱水費、修繕費、保守管理委託費、その他）	妥当（市平均を下回る）	一部改善・対応の必要がある（市平均の100%～130%）	改善・対応の必要がある（市平均の130%以上）
	今後、建替え、改修に係るコスト	年当たり将来コストと現状との比較	現状の1.2倍未満	現状の2倍未満	現状の2倍以上

※A:個別評価でAが過半、C:個別評価でCが過半、B:それ以外

合計延床面積
5,235㎡ (@1,047㎡)

評価内容	総合評価	評価結果
<p>ほぼ公共施設適正配置方針通りの整備状況となっている。</p> <p>会議室系の諸室を有しているのは市民活動サポートセンター、男女共同参画推進センター及び人権教育集会所で、規模に差がみられる。また、ホールを有しているのは防災センター防災展示ホールのみである。展示系の諸室を有しているのは市民活動サポートセンター及び防災センター防災展示ホールで、規模に差がみられる。</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>3施設が複合化されている(60%)。</p>	B	<p>総合評価コメント</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設の充足、配置状況 <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画推進センターは市内に1施設、人権教育集会所は市内に2施設であり、規模、立地の点から重複はみられない。 施設の改修・更新状況 <ul style="list-style-type: none"> 築30年以上経過している施設が1施設ある。(現在は建替えを終えている。) 利用・運営状況 <ul style="list-style-type: none"> 利用者数については横ばいの傾向にある。 すべての施設が市直営である。 利用単位当たりのコストにおける施設間の差については、利用者1人当たりのコストが平均値に対し最大12.2倍と大きい。 防災対応 <ul style="list-style-type: none"> いずれの施設についても避難場所に指定されていないが、避難場所としての機能を担える可能性がある。
<p>築30年以上が1施設(123㎡)、築20年以上が2施設(1,317㎡)、築20年未満が2施設(3,795㎡)となっており、築20年未満が72%と比較的新しい。</p> <p>全施設とも実施済み。</p>	B	
<p>防災センター防災展示ホール、人権教育集会所2施設については、未対応項目がある(60%)。</p> <p>市民活動サポートセンターについては全ての項目で導入済みであるが、他の施設については、未対応項目が多い(80%)。</p>	B	
<p>利用者数については、平成21年度から平成22年度で減少している。</p> <p>—</p>	C	
<p>市民活動サポートセンターは指定管理者制度を導入している(20%)。</p> <p>いずれの施設についても土日も開館している。夜間については、防災センター展示ホールを除き21:00もしくは21:30まで運営をしている。</p>	C	
<p>利用1人当たりコストは、全体平均が663円であるのに対し、コストが最大の施設は8,017円であり、全体平均の12.09倍と、施設間のコストの差は大きい(37%~1209%)。</p> <p>全体平均が63,179円であるのに対し、コストが最大の施設は176,506円であり、全体平均の2.79倍となっている。施設間のコストの差は大きい(48%~279%)。</p> <p>全体平均は2.7%である。</p>	C	
<p>鹿室南集会所のみ耐震性が確保されていない。</p> <p>いずれの施設についても避難場所等としての位置付けはなされていない(0%)。</p>	B	
<p>5施設ともに冷暖房設備を有している。代替電源設備については、男女共同参画推進センター及び防災センター防災展示ホールの2施設にとどまる。調理設備は2施設、入浴施設は1施設のみ(100%)。</p> <p>ほとんどの施設が浸水深0m(80%)。防災センター防災展示ホールのみ1.0m~2.0mとなっている。</p>	B	
<p>延床1㎡当たりの維持管理コストは24,487円で、全体平均の284%となっている。</p> <p>年当たりの将来コストについて今後40年を10年ごとにみると、10年目までが0.52億円(0.8倍)、20年目までが0.16億円(0.3倍)、30年目までが1.15億円(1.8倍)、40年目までが0.68億円(1.1倍)となっている。</p> <p>現状の0.3倍~1.8倍となる。</p>	B	

